

L.M./PROTOTYPE VARIABLE FORM MOBILE SUIT V2-GUNDAM

Specifications

Height:15.5m

Standard Weight:11.5t

Full Equipment Weight:15.5t

Generating Power:7,500kw

Thruster:Minovsky Drive Unit×2,18,700kg×2,4,420kg×7

Armor-Meter:42

Armor Materials:Gundam Alloy&Super Ceramic Composite

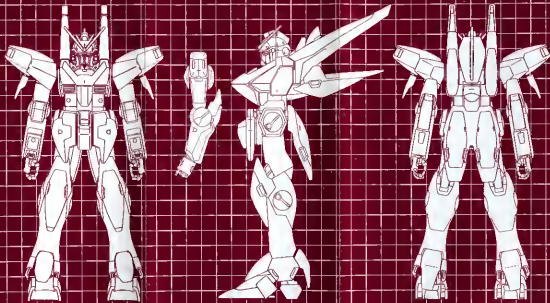
Armaments:Vulcan Gun×2

Beam Saber×2 (2)

Beam Shield×2

Beam Rifle With Multiple Launcher

Hard Point10



LM314V21

ヴィクトリー2ガンダム



LM314V21

V2 GUNDAM

ヴィクトリー2ガンダム

機動戦士ガンダム MS大図鑑

PART.10

【 ザンスカール戦争編 】



DAM



V2コアフューター

V2CORE FIGHTER

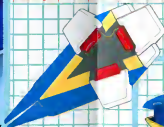


V2ヘッド

V2-HEAD

メガビームシールド

MEGA BEAM SHIELD



マルチブルランチ付きビームライフル

**BEAM RIFLE WITH
MULTIPLE
LAUNCHER**



フィールド発生観

I FIELD GENELATOR

メガビームキャノン

MEGA BEAM CANNON



**MEGA BEAM
RIFLE**



UNDOAM WAR STORY

【第⑨章 ザンスカール戦国時代(下)】



1・大脱走

「マクドナルド」

宇宙世紀0153年、サイド2に興ったザンスカール帝国が地球への侵攻を開始する。弱体化した地球連邦軍は、対抗することができなかった。事態を憂いていた人々は、神聖軍事同盟「リガ・ミリティア」を結成しザンスカール帝国への抵抗活動を始めた。不法居住者の少年、ウツソ・エヴィンは、リガ・ミリティアとザンスカール帝国の戦いに巻き込まれていく。戦闘能力のセンスを認められたウツソは、リガ・ミリティアが開発した新型モビルスーツ（MS）Vガンダム・メインパイロットを勤めることになる。数々の戦闘を経験したウツソは、ザ

ビームローターに続く機動機関であるアインラッド。巨大な車輪は、MSがそのまま乗り込むことができる。ゲドラフはアインラッドの使用を前提として開発された。

GI



ンスカールの衛星要塞カイラス・ギリを攻略する戦闘に参加する。なんとかカイラスギリを陥落させるが、戦いの中でウツソは、幼馴染の少女、シャクティ・カリンがザンスカール帝国に連れさられたことを知る。シャクティを連れ戻すために、ウツソはオデロら仲間たちとともにザンスカールへ潜入した。救出行の中、シャクティが帝国女王マリアの娘であったという衝撃の事実が明らかになる。リガ・ミリティア戦闘隊の助けもあり、ウツソたちはシャクティの奪回に成功する。リーンホースJr.は戦闘中に傷を負い、サイド2の中のマケドニアに拿捕されてしまう。そこにも執拗なザンスカールの追撃軍が現われた。



2・勝利の翼

√2ガンダム

リオンホースJr.を逃がすためにウツソは、ザンスカールの追撃軍に捕らえられてしまう。命からがら逃げ出したウツソを、新型MS、√2ガンダムが待っていた。√2ガンダムのパワーは、ザンスカールのMSをはるかに凌駕し、またたくまに敵機を粉砕した。リガ・ミリティアの勝利のための新たな希望が誕生したのだ。だが、ザンスカル帝国でも地球侵攻の新たな計画が立てられていた。すでに地上での実戦テストを繰り返していた車輪型の機動兵器、ガリクソンのノウハウを活かしたモトラッド艦隊が完成したのだ。

ミノフスキードライブを搭載する初のMSとして誕生したV2ガンダム。ミノフスキードライブの余剰エネルギーは、光りの羽根のごとくVの字を描く。



地上を蹂躪することを目的とした艦艇である。ザンスカール帝国を発した艦隊は、月面へ集結していた。同じころ、エンジン不調のため、リオンホースJrは月面へ不時着する。物資補給と情報収集のため、仲間とともに月面都市に入ったウツソは、ザンスカールの情報部に追われていた女性を助けた。この女性にはウツソの母親、ミューラ・ミゲルであった。母子は久しぶりの再会を果たす。その一方で、ザンスカール軍の意図を知ったシヤクティはそれを止めるために、ザンスカールへ戻ろうとする。地球へ向けて発進しようとするモトラッド艦隊に対して、リガ・ミリティアは必死の攻撃をかける。



3・恐怖の車輪

モトラッド艦隊

モトラッド艦隊が地上に舞い降りた。巨大な車輪は、文字どおり無人の野を行くがごとく、建造物を蹂躪していく。そして、すべてのものが瓦礫と化したとき、新たな秩序を持って理想郷を築こうというのがザンスカール帝国の思惑である。リガ・ミリティアは、ザンスカールの野望を打ち砕くため、地球連邦軍の援助を得られぬまま孤軍で立ち向かっていった。だが、戦力の差は大きく、決定的な打撃を与えられない。MSのジェネレータを暴走させる核攻撃でさえモトラッド艦の進路を阻むことはできなかった。さらに、敵艦にはシャクティばかりか

今までの常識ではかりしれない艦隊構造をしているモトラッド艦。提唱者のドッカー・イクの思惑どおり、地球圏の人々はど肝を抜かれた。



ウツソの母ミューラまでもが
囚われてしまう。ウツソたち
は、必死の思いで救出作戦を
展開する。シャクティはなん
とか助け出すことができたも
の、ミューラを助け出すこ
とはできなかった。ザンスカ
ールは、ミューラを生身のま
ま楯にしてV2ガンダムに戦
いをしかけてきた。母親を人
質にとられるという卑劣な作
戦に、ウツソはなすすべがな
い。なんとか助けられると思
ったその一瞬、ウツソの目の
前でミューラは殺されてしま
う。戦いの終わった後もウツ
ソは茫然自失のままだった。
そして、戦いの間隙について、
ザンスカール帝国と地球連邦
の間に停戦協定が結ばれる。



4・決戦の宇宙

リガ・ミリエア

ザンスカールと地球連邦の間の停戦協定はあくまでもかりそめのものであったようだ。停戦状況を利用して、ザンスカールは地上攻略の最終的な切り札を軌道上に完成させつつあった。いくつもの輪を組み合わせたようなその巨大な建造物は、「天使の輪Ⅱエンジンエル・ハイロウ」と呼ばれていた。最終決戦のため宇宙へと引き上げていくザンスカール艦隊を追って、リガ・ミリエアの部隊も再び宇宙へと上がる。その前に強力なビーム砲を備えた新型MSザンネックが待ち構えていた。ザンスカールの防壁はいよいよ厚く、リガ・ミリエアの戦力

超長射程の強力な荷粒子砲と、それを稼働させるための巨大な粒子加速機を装備した試作MSザンネック。高々度から地表を攻撃できる能力を持っている。



だけではこれを覆すことは不可能のように思えた。しかし、ついに連邦軍がこの戦いに参戦する。リガ・ミリティアの指導者であるジン・ジャハナムが連邦軍の説得に成功したのだ。ウツソたちもジン・ジャハナムと会見をする。ジン・ジャハナムと出会ったウツソは驚愕する。ジン・ジャハナムとはウツソの父親、ハンゲルグ・エヴィンであった。久しぶりの父子の再会であったが、戦場の指揮官とパイロットの間では常に心の交流がかけられるわけではなかった。ウツソはその状況を快く思っていないが、仲間たちとともに決戦の宇宙へ飛び立つていく。その行く手には完成したエンジェル・ハイロウがあやしげな明滅を繰り返していた。



5・天使たちの昇天

エンジェル・ハイロウ

エンジェル・ハイロウは、ザンスカール帝国が造り上げた巨大なサイコミュ要塞である。内部に乗り込んだサイキッカーたちの思念を集中させることにより、人間の戦闘衝動を鎮静化させ、幼児退行現象を引き起こす。帝国の宰相、フォンセ・カガチはこれを全人類に対して施そうとしているのだ。だが、帝国士官であるタシロの企てた反乱により、マリア女王は死んでしまう。「戦争をなくす」というカガチの言葉を信じてシャクティは、母親である女王マリアにかわりエンジェル・ハイロウのキールームへと入っていった。シャクティを救いカガチ

専用のジェネレータを内蔵する巨大なビームキャノン運用することを前提に開発されたMSゴトラタン。事実上、ザンスカル最後のMSとなった。



の野望を打ち砕くため、ウツソと仲間たちは最後の戦いに望む。戦闘の中、リガ・ミリティアのメンバーたちが、そしてオデロまでもが倒れていく。激戦を越えてエンジェル・ハイロウはその巨大な姿を大気圏の中へと移していた。カガチのかわりに支配者たらんとするクロノクルをウツソは倒した。だが、エンジェル・ハイロウは制御不能に陥り、構造体が剥がれていく。崩壊していく巨大な輪の中で、愛するクロノクルを殺され夜叉と化したカテジナと、ウツソの戦いが展開していた。ウツソはザンスカルとの戦争の象徴たるカテジナとの闘いにけりをつけ、キールームのシヤクティを救い出すことができるのだろうか。

VICTORY TWO GUNDAM

MS名鑑

▼LM314V21 VICTORY TWO GUNDAM



▲LM314V23 V2 BUSTER GUNDAM

V2 バスター



頭頂高：15.5m 本体重量：
13.8t 全備重量：19.9t 装
甲材質：ガンダリウム合金スーパ
ーセラミック複合材 汎用可変型



頭頂高：15.5m 本体重量：
11.5t 全備重量：15.9t 装
甲材質：ガンダリウム合金スーパ
ーセラミック複合材 汎用可変型

V2 アサルト



頭頂高：15.5m 本体重量：
12.3t 全備重量：19.1t 装
甲材質：ガンダリウム合金スーパ
ーセラミック複合材 汎用可変型



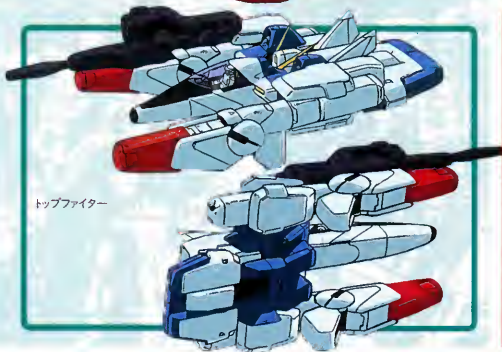
▶VICTORY TWO BUSTER GUNDAM~VICTORY TWO ASSAULT GUNDAM▶

▲LM314V24 V2 ASSAULT GUNDAM

ヴィクトリーガンダム

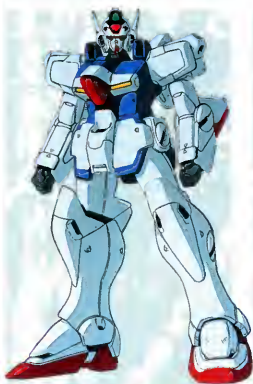
▶LM312V04 VICTORY GUNDAM

VICTORY GUNDAM



△LM312V06 VICTORY GUNDAM HEXA

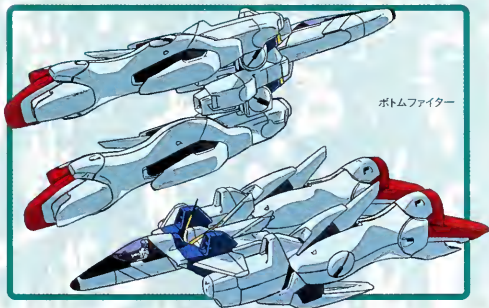
Vガンダム・ヘキサ



頭頂高:15.2m 本体重量:7.6t
全備重量:17.7t 装甲材質:
ガンダリウム合金スーパーセラミ
ック複合材 汎用可変型



頭頂高:15.2m 本体重量:7.6t
全備重量:17.7t 装甲材質:
ガンダリウム合金スーパーセラミ
ック複合材 汎用可変型



ボトムファイター

VICTORY GUNDAM HEXA

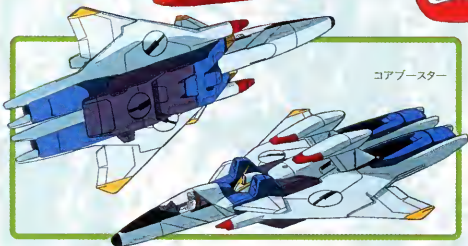
Vダッシュガンダム

▶LM312V04+SD-VB03A VICTORY DASH GUNDAM

▶VICTORY DASH GUNDAM▶



頭頂高:15.2m 本体重量:9.2t
 全備重量:20.8t 装甲材質:
 ガンダリウム合金スーパーセラミ
 ック複合材 汎用可変型



コアブースター

▲LMIII03 GUNBRASTER

ガンブラスター



頭頂高:14.9m 本体重量:7.6t
全備重量:21.3t 装甲材質:
ガンダリウム合金スーパーセラミ
ック複合材 汎用量産型

▲LMIII02 GUN EZ

ガンイージ



頭頂高:14.9m 本体重量:7.6t
全備重量:18.6t 装甲材質:
ガンダリウム合金スーパーセラミ
ック複合材 汎用量産型

ジャベリン



頭頂高:14.5m 本体重量:8.1t
全備重量:16.5t 装甲材質:
ガンダリウム合金セラミック複合
材 汎用量産型

▶GUN EZ~JAVELIN▶

▲RGM-122 JAVELIN

▼ZM-S24G GEDLAY

ゲドラフ



アインラッド



ブルッケング

▼ZM-S21G BRUCKENG



頭頂高：14.1m 本体重量：13.9t 全備重量：25.1t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 地上用量産型



頭頂高：13.8m 本体重量：6.9t 全備重量：17.4t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 地上用量産型

▲ZM-S06S ZOLOAT

ゾロアット



頭頂高:14.5m 本体重量:8.2t
全備重量:19.8t 装甲材質:
チタン合金ネオセラミック複合材
宇宙用量産型

▲ZM-S06G ZOLLIDIA

ゾリディア



頭頂高:14.7m 本体重量:9.8t
全備重量:20.9t 装甲材質:
チタン合金ネオセラミック複合材
地上用量産型

ゾロ



頭頂高:14.8m 本体重量:8.9t
全備重量:21.2t 装甲材質:
チタン合金ネオセラミック複合材
地上用量産型

▲ZM-S08G ZOLO

リグ・シャッコー



▲ZM-S22S RIG-SHOKEW

頭頂高:15.9m 本体重量:8.2t
全備重量:18.5t 装甲材質:
ハイチタン合金ネオセラミック複
合材 汎用量産型

ドムットリア



▼ZM-S27G DOMUTLIA

頭頂高:14.8m 本体重量:8.2t
全備重量:19.9t 装甲材質:
ハイチタン合金ネオセラミック複
合材 地上用量産型

トムリアット



ヘリコプター形態



▼ZM-S09G TOMLIAT

頭頂高:15.0m 本体重量:8.6t
全備重量:20.7t 装甲材質:
チタン合金ネオセラミック複合材
汎用量産型

▲ZMT-S28S GENGAOZO

ゲンガオゾ



頭頂高：17.3m 本体重量：14.3t 全備重量：35.9t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 試作型

▲ZM-S20S JABACO

ジャバコ



頭頂高：15.7m 本体重量：9.9t 全備重量：18.2t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 汎用量産型

◀JABACO~GOTTRLATAN▶

▲ZMT-S33S GOTTRLATAN

ゴトラタン



頭頂高：15.9m 本体重量：11.1t 全備重量：24.9t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 試作型

▲ZMT-S29 ZANNECK

ザンネック



頭頂高：19.4m 本体重量：16.7t 全備重量：38.2t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 試作型

リグ・コンティオ



頭頂高：16.3m 本体重量：10.7t 全備重量：21.4t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 試作型

▼ZMT-S34S RIG-CONTIO

コンティオ

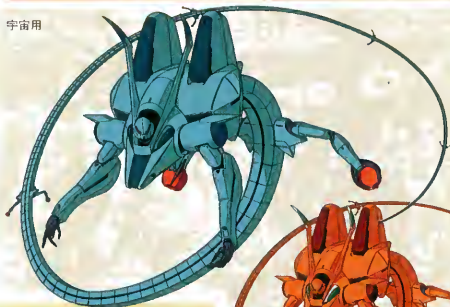


頭頂高：16.1m 本体重量：10.9t 全備重量：21.8t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 宇宙用量産型

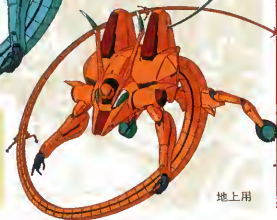
▼ZMT-S14S CONTIO

ドッゴーラ

宇宙用



全長：369.3m 本体重量：51.9t 全備重量：146.3t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 試作型



地上用

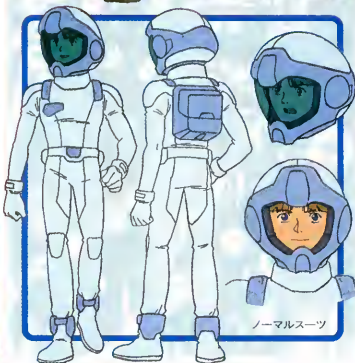
▼ZMT-A31S DOGGORLA

▶CONTIO~DOGGORLA▶

▲USO-EWIN

ウッソ・エヴィン

VガンダムからV2ガンダムに乗り移ったウッソは、エンジェル・ハイロウ宙域で最後の戦いに挑む。声：坂口大助



ノーマルスーツ

NEW GUNDAM

キャラクター名鑑

▲USO-EWIN▶

シャクティ・カリン

▶ SHAHKT-KAREEN

▶ SHAHKT-KAREEN ~ KARLMANN-DUKARTUSE ▶

▶ FLANDERS



カサレリアで暮していた
ウッソの幼なじみの少女。
実はザンスカール帝国女王
マリアの実子であった。
声：黒田由美



ハロ



ウッソ愛用のA
1モジュール。つ
ねにウッソのそば
につく

▶ HALLO

KARLMANN-DUKARTUSE ▶

フランダース



シャクティの愛犬。多
少、おっちょこちょいだ
が、忠犬ではある。

ベスバのウィック空
襲によって孤児になった
赤ん坊。
声：こおろぎさとみ



カルルマン・ドゥカートゥス

◀ ODELO-HENRIK

オデロ・ヘンリーク



孤児3人組のリーダー格。調子のいい性格をしており、ウッソの影響でMSに乗るようになる。声：中田雅之

◀ ODELO-HENRIK ~ WARREN-TRACE ▶

▶ WARREN-TRACE

ウォレン・トレイス



ベスバの空襲で孤児となった3人組のひとり。緊張すると発熱するという体質をしている。声：松本梨香



スージー・リレーン



孤児3人組の紅一点。ギロチンを目撃し、恐怖症となっている。声：こおろぎさとみ

宇宙家族の子供たち



左からソフィア・イエリネス、トマーシュ・マサリク、エリシャ・クランスキー、マルチナ・クランスキー、カレル・マサリク、プラスタ・イエリネス

太陽電池衛星ハイランドに暮らしている子どもたち。成り行き上ホワイトアークに収容され、ベスパとの戦いに参加する。トマーシュ：関智一、カレル：小林優子、エリシャ：柳沢三千代、マルチナ：吉田古奈美

▶SUZY-RELANE

▶SUZY-RELANE~SPACE KIDS▶

▶SPACE KIDS

▶ MARBET-FINGERHAT

マーベット・フィンガーハット



リガ・ミリティアのテストパイロット。Vガンダムをウツソに託し、ホワイトアークを指揮する。声：白石文子

シュラク隊



左からヘレン・ジャクソン、ギー・リー、ジュンコ・ジェンコ、マヘリア・メルル、コニー・フランシス、ケイト・ブッシュ

リガ・ミリティアの中で中核を成す戦闘部隊。MSガンイージを駆る。
ろざさとみ、ヘレン：深見梨加、ギー：荒木香恵、マヘリア：まるたジュンコ：小林優子、コニー：こおまり、ケイト：安達忍

▶ SHRIKE

▶ MARBET-FINGERHAT~SHRIKE▶

▶ JUCA-MEILASCH

ユカ・マイラス



全滅した連邦軍艦隊の生き残り。人員の減ったシュラク隊に組み込まれた。声：田中敦子

▶ MIRIERA-KATARN

ミリエラ・カタン



エンジェル・ハイロウでの決戦前にシュラク隊に組み込まれたパイロット。声：日高奈留美

▶ FRANCESCA-OHARA

フランチェスカ・オハラ



人員の減ったシュラク隊に補充要員として組み込まれたパイロット。声：石川寛美

▶ OLIVER-INOE

オリファー・イノエ



シュラク隊を率いるリガ・ミリティアの戦闘隊長。声：園部啓一

◀ROMERO-MARVALL

ロメロ・マラバル



リガ・ミリティアのメカ開発関係に携わっている。Vガンダムの整備も担当。声：茶風林

▶ESTER-CHAVARRI

エステル・チャバリ



リガ・ミリティアの連絡役、まとめ役を勤める女傑。口調もかなり豪快。声：達依久子

▶LEONID-ALMODOVAR

レオニード・アルモドバル



オイ・ニュング伯爵につぐ副リーダー。伯爵の死後、リーダー的立場に就く。声：中田譲治

▶OTIS-ARKINS

オーティス・アーキンス



リガ・ミリティアの中で補佐役的立場で行動している。メカの整備もこなす。声：坂東尚樹

クロノクル・アシャー

▼CRONICLE-ASHER



マリア・ピア・
アーモニア

▼MARIA-PURE-ARMONIA



ザンスカール帝国の象徴たる女王。シャクティの実の母親でもある。声：篠原恵美



モトラッド艦隊を指揮し地球浄化作戦を展開するベスバの青年士官。声：檀臣幸

▶CRONICLE-ASHER~ MARIA-PURE-ARMONIA▶

▲FUALA-GLIFON

ファラ・グリフォン



タシロに救われ、MSパイロットとして再登場したベスバの女性士官。声：折笠 愛

▲KATEJINA-LOOS

カテジナ・ルース



「マリア主義」に賛同し、ベスバのパイロットとなった。声：渡辺久美子

▲DUKER-IO

ドゥカー・イク



モトラッド艦隊を発案した、バイク乗りの魂を持つベスバの士官。声：中田和宏

▲FONSE-KAGATIE

フォンセ・カガチ



ザンスカール帝国の実質的指導者であるガチ党の党首。声：大矢兼臣

メカニック名鑑

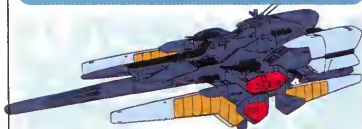
ホワイトアーク



▲WHITE-ARK

リガ・ミリティアの小型艇。小型ながら4機のMSを搭載でき、艦首にはメカ粒子砲を装備している。ウッソら少年少女のベースとなる艦艇。

リーンホースJr.



▲REIN FORCE-Jr

カイラス・ギリ戦で捕獲した戦艦を改装したもの。同じ戦いで傷ついたリーンホースのかわりにリガ・ミリティアの主要戦艦として使用されることになる。

ビルゲナウ



▲BIR KNAU

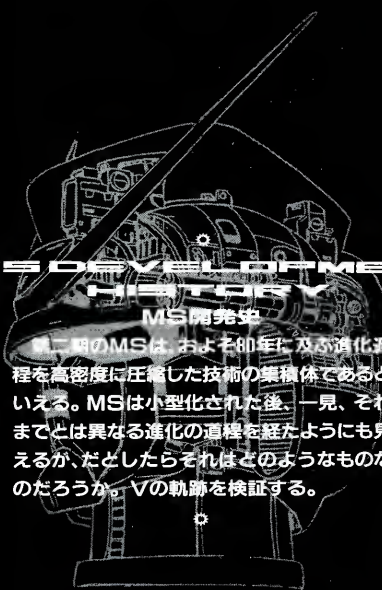
ベスバの試作MA。MA独自の機動性に加え、接近戦をも重視され開発された。翼の部分に装備されたクローアームが接近戦で威力を発揮する。

リシテア



LITHTHEA▲

ドッカー・イクの発案をもとに建造された、モトラッド艦隊を構成する巡洋艦。艦の前後に巨大な車輪をもち、この車輪で地上を走行する。



MS DEVELOPMENT HISTORY

MS開発史

第二期のMSは、およそ80年に及ぶ進化過程を高密度に圧縮した技術の集積体であるといえる。MSは小型化された後、一見、それまでとは異なる進化の道程を経たようにも見えるが、だとしたらそれはどのようなものなのだろうか。Vの軌跡を検証する。

ザンスカール戦争時のMS

宇宙世紀0153年に登場したMSは、その背景とする開発企業が特定しにくいものとなっている。

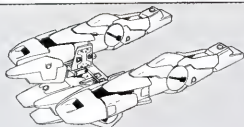
これは、0100年代以降のMS生産自体が鈍化していたことと、0130年代以降の、アナハイム・エレクトロニクス（以下A・E）による寡占状態の解消とも関連があるといわれている。

A・Eは、一年戦争の後にMS生産の主導権を掌握し、その後のMSの開発を一手に担っていた。そのことによる功績や利点も数多くあったのだが、この状況を懸念する勢力が連邦軍内部にも他のメーカーや業界全体でも存在していた。これは、単純に経済的な側面からばかりでなく、主

な発注元である連邦軍の事情と、全体としての業界の健全化を求める必要性が認識され始めたからでもある。

例えば、生産の独占による各種装備の規格統一化は功績の筆頭に挙げられているが、そのことによる関連業種の一極集中は現実には起きていたし、A・Eの系列ばかりが利益を独占するという状況は、健全な経済状態とはいえない。だからこそ、業界全体の要望を受ける形で、連邦軍はサナリイの設立を始めとするMS産業全体のリストラクションを画策したのである。

この状況は、A・Eにおいても深刻に受け止められたらしく、A・Eサイドでも企業姿勢に変化が見られるように



V2 トップリム



トップリム



V2 ボトムリム



ボトムリム

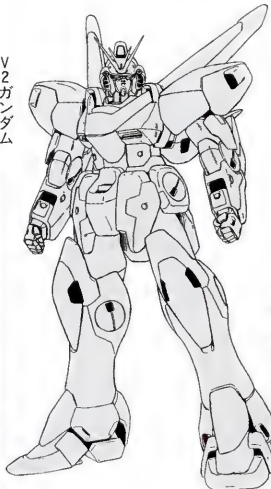


V2 コアファイター



コアブースター

V2ガンダム

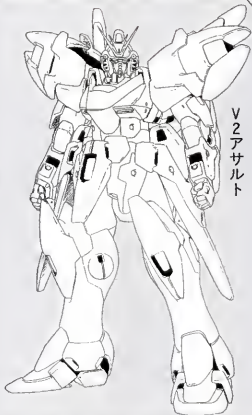


なった。まず、連邦軍の兵器受注の最大手であることを維持するものの、周辺企業へのOEM供給や、対抗企業との共存共栄の方策を模索し始めたのである。事実、当時はMSの総生産台数は減少していたし、MS産業自体を壊滅させてしまつては元も子もないからだ。これはMS産業界全体にも波及し、生産設備や設

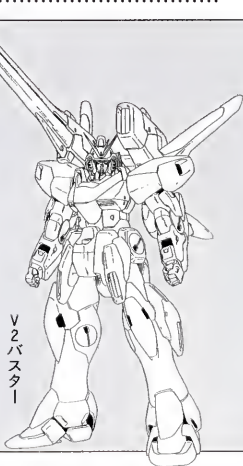
計の特徴の平均化と並行して、開発拠点の分散化が推進された。

ところがこれらの事情は、クロスボーン・バンガードの決起やザンスカールの勃興に大きく寄与する結果を招いてしまった。それは単純に生産メーカーを特定できないということのみならず、ゲリラ的な戦力調達を可能としたのだ。

V2アサルト



V2バスター



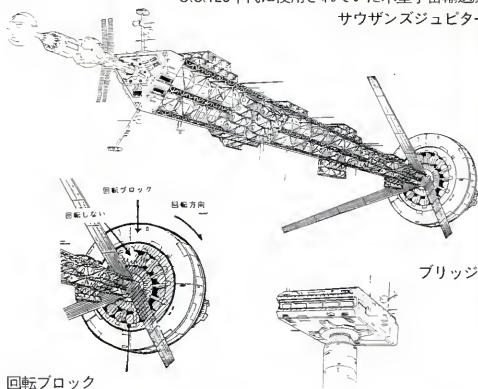
ベスパMSの展開

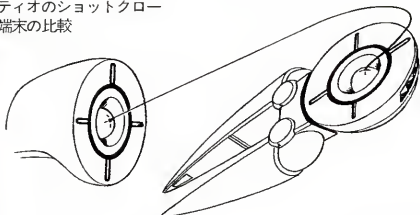
ザンスカール帝国が開発、投入したMSの多くは、事実上接收されたベスパ施設の母体であるサナリイ系の機体が多いと言われているが、それはあくまでも、帝国軍成立の状況から推し図られた過程に過ぎない。この時期のMSは、その機能や形状からメーカーを特定することは困難であり、また、ザンスカールの戦略からすれば、特定のメーカーに偏向した取引は考えにくいと思われる。

カガチの構想による最終兵器エンジェル・ハイロウの建造は、かつて彼が所属していた木星船団に主導されており、その開発、調達は、サイド3の宙域で行われていたとする説もある。そのことから考え

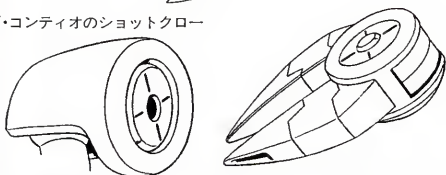
れば、アナハイムに吸収されたジオニック社を始めとして、ツイマッド社やMIPなどという解体されたはずの企業体の介入もあったかもしれない。一年戦争の後、ジオン公国が究明、所有していたサイコミュ技術のほとんどは連邦軍に回収されたと言われているが、依然として秘匿されている技術もあったという。そのことの傍証として、エンジェル・ハイロウに導入されたサイコミュのコンセプトの独自性と、その規模を上げることができる。エンジェル・ハイロウの持つ機能は、いまだ未解明の側面が多いのだが、根本的に既存のいかなるサイコミュ兵器の特徴とも相容れないことは明白だろう。

U.C.120年代に使用されていた木星宇宙輸送艦
サウザンズジュピター



コンティオのショットクロー
攻撃端末の比較

リグ・コンティオのショットクロー



コンティオのものと比べ、リグ・コンティオのものは(無線式)に見えるが...

だとすれば、ザンスカールはエンジェル・ハイロウの他にもサイコミュ兵器を開発している可能性は充分に考えることができる。

ザンスカール製のMSは、コンティオのショットクローを始めとする有線式の攻撃端末や、ザンネックのザンネックベース、ゲンガオゾのヴァリアブルビームランチャーなど、その機能だけに着目すれば、あたかもサイコミュ兵器であるかのような動作を、こともなげに実行している。

これらの攻撃端末やサブフライトシステムの挙動は、真の意味でのサイコミュの存在を示唆してはいないが、かつて簡易サイコミュとして採用されたインコム並のインターフェイスの介在は十分に考えることができる。これらの機

能自体をしてサイコミュであると断じることとはできないが、
「サイコミュ」がエンジェル・ハイロウクラスの威力と規模を持てるのなら、サイコミュ自体がもう少し洗練、あるいは進化した形で存在していることも考えられる。ことに、超高度からラゲン基地を攻撃したザンネックなどは、その稼動に際して、音波としてではなく、戦場に鈴の音を響き渡らせたという。これなど、一年戦争時に開発されたMAエルメスの事例を想起させずにはいない。逆に、その手段を持つ技術者たちが、決戦兵器に最も優秀なマンマシンインターフェイスであるサイコミュを採用しないことこそ考えにくいだろう。ただし、これは憶測の域を出ないことは言うまでもない。

ベスパの試作MS

ベスパによる地球進攻は、サイド2統合作戦と並行して進められていた。それは決して両面作戦を行う余裕があったためではなく、なんらかの形で連邦軍に対してアドバンテージをとり、戦略をより有利に展開し、短期決戦を可能とするための窮余の策だったのである。

ラゲーン基地に配備されていたイエロージャケットは、基本的には試作MSの試験運用部隊であったが、実戦部隊でもあり、地球進攻の橋頭堡としての任務も負わされていたので新兵器の開発と同時に地球上の反ザンスカール勢力を牽制しなければならなかった。これらの任務は確かに困難ではあったが、連邦軍の動

向に変化がない限り可能なはずであった。さらに、多少の抵抗運動があったとしても、カイラスグリーの静止衛星軌道への定着により、一挙に殲滅できるはずであった。

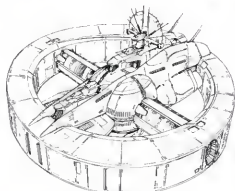
カイラスグリーの使用そのものはザンスカールの基本戦略ではなかったが、あまりにも陥落するのが早すぎた。カガチはエンジェル・ハイロウを本格的に投入するまで時間を稼がなければならなくなった。エンジェル・ハイロウの完成はもとより、それを移送し、稼動させ、護衛するためのMSや艦艇の開発、生産も行わなければならぬ。休戦協定はその時間を捻出し、連邦軍の展開を停滞させるために締結されたのである。

ベスパ製のMSは非常に高性能であり、当時の連邦軍に配備されていた機種とは比べ物にならない。しかし、それは連邦軍が本格参入しない場合であって、連邦の物量を圧倒できるものではなかった。

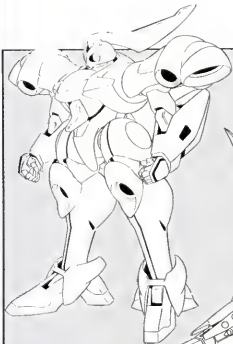
リガ・ミリティアとの連係を決定した連邦軍の主力艦隊の参入はベスパに戦略の変更を余儀なくさせたのである。

ベスパのMS開発は、基本的に試作機を実戦に投入して、その性能を評価するという事が多い。イエロージャケットのような試験部隊が編成されたのも、そういった方針によるものだった。実際、試験投入である程度問題が出たとしても、それはその後の調整でどうにかできていたのだ。エンジェル・ハイロウ作戦の進展に伴って、全部署からあらゆ

る兵器が掻き集められた。この時期に実戦に投入された新型MSの多くは、以前から開発されていたものも、新規に開発されたものも、すべからず実戦に投入された。特に、ザンネック、ゲンガオゾ、ゴトラタンなどといった機体は、コンテリオの強化型とひと目で判るリグ・コンテリオと違い、ほぼ完璧に新規で開発されていた試作MSなのである。



A・Hは強力な戦闘艦でもあった。



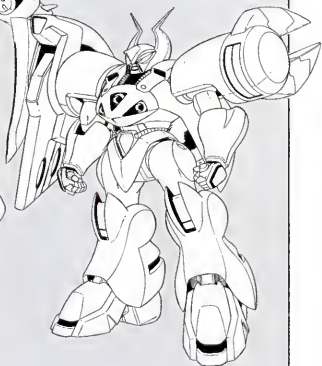
ZMT-S33S ゴトラタン



ZMT-S29S ザンネック



ZMT-S28S ゲンガオゾ



ZMT-S34S リグ・コンディオ

リガ・ミニティアのMS

V2ガンダムの胸部から背部にかけてVの字型に装備されているミノフスキードライブユニット（以下、MDU）は、通常の燃焼型の機動装置とは根本的に異なる推進装置である。スペック上では亜光速までの加速が可能であり、最大では20Gにおよぶ機動が可能であるとされている。

この装置の副次的な効果として、光の翼と呼ばれる荷電粒子ビームの形成があげられる。これは急激な移動や機動を行う場合に顕著となり、意図的にそのビームのみを作り出すこともできる。

この光の翼はビームサーベル（以下、B・SA）やビームシールド（以下、B・SH）の形成するビームとほぼ同等

の効果を持っており、最大稼動では1キロに及ぶビーム帯を形成することもできる。

MDUそのものは、サーベルやシールドとは根本的に異なる構造を持つが、そのビームのエネルギーゲインが桁違いに大きいことをのぞけば、その特性はほぼ同等であり、物理的な特性もほとんど同じである。二基のユニットから放出されるビーム粒子は互いに干渉をおこし、双方から放出される重金属粒子が、互いのビーム刃の間で激しく飛び交っている。

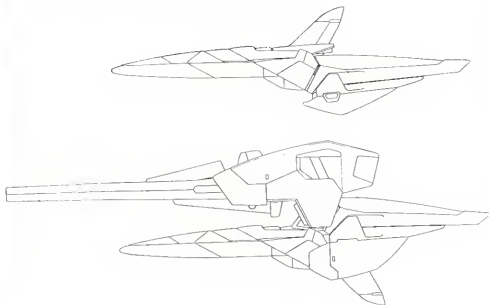
MSは本来、こういった電磁的な干渉を受けにくく作られている。しかしこのビーム帯の間では、超高速の金属粒子や電氣的な干渉波が、電磁

MDUによるフィールド形成概念図



ミノフスキードライブユニットから発生するフィールドが、その中間で強力な推進力を発生させる。ユニットの自由度があがれば、それだけフレキシブルにベクトルを調節することができるようになるわけだ。

V2.V2バスターコアファイター対比図



バスターユニットによってMDUの装着位置が変更されており、MS形態時の突撃姿勢に対応できるようになっているのが判かる。

的、物理的なプロテクトを突破してしまうため、各種の制御機器は深刻な影響を被る。

また、MDUから発生したビーム自体も、1フィールドなどの干渉をうけてしまう。通常のB・SHはコンピュータが展開領域を判断してからビームを展張させる。つまり、ビーム発生に先だって力場の形状が決定される。これは自機が損壊しないためのシステムなのだが、その若干のタイムラグのため、ビーム弾はともかく、実体弾によって破壊を被った機体もあるらしい。これはB・SHの原理的なウィークポイントとされていた。V2ガンダムは、B・SH発生機で、ある程度制御することができる。しかも、ビーム発生はタイムラグを発生させることなく、シー

ルドとして転用できる。

地球の大気圏上層まで降下したエンジェル・ハイロウの上でV2ガンダムが対ゴトラタン戦において見せた、あたかも翼をまとうかのような防御姿勢は、肘部のB・SHジェネレータで、光の翼を取り込み、機体の前面に回り込ませたのである。

この防御姿勢が、本来の設計段階から想定されていたのかどうか定かではないが、これもまた、Vガンダムが持つフレキシビリティの証明だといえることができるだろう。本来、スペック以上の機能を発揮するというのは、よほど作り込まれた機体が、かなりの熟練者でなければ不可能なものである。V2の場合は、その双方が相乗効果をもたらしたのだらう。

ヴィクトリー2ガンダム

リガ・ミリティアによって開発されたV2ガンダムは、MDUの搭載を前提とした機体であった。これは逆に言えば、V1にMDUが搭載できれば、Vダッシュのように、V1をベースとした改修機が存在を予感させるものである。

(一説には、月面のリガ・ミリティアのテクネウムという秘密工場において、Vセカンドといわれる新型改装機が開発されていたと言われている。そこには、アナハイムのエンジニアも出入りし、モトラッド艦隊の月面上陸に前後して急ピッチで開発が進められていたとも言われているが、その真偽は不明である)。

このことが示すように、Vガンダムは、非常にフレキシ

ビリティに富んだシステムを持つマシンであると考えることができよう。このフレキシブルさは、その運用についても言えることであり、アサルトやバスターといった追加装備を加える場合においても、MDUの自由度を向上させたり、追加装備が互いの装着部位と重複しない、つまり双方の装備を同時に装着することさえも可能としているなど、そのシステムティックな設計思想は驚嘆に値する。

ただし、追加装備という設計思想そのものは、初代ガンダムにまで遡れる伝統的な強化手法でもある。このコンセプトを見る限りにおいては、Vシリーズは紛れもなく正統なガンダムの系譜にあり、V

2の開発にA・Eが介入していた可能性も否定できない。

逆に、ベスバの前身である組織の母体とサナリイの関連を考えると、この闘いは、A・Eとサナリイが形を変えて技術戦争を行っていたという側面も否定できないだろう。無論、これは確定的な根拠があるわけでもなく、所詮は机上の空論ではある。

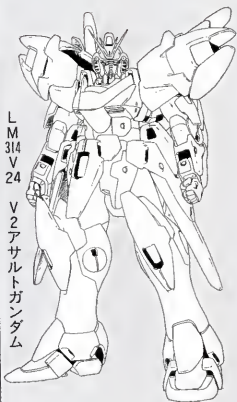
ちなみにリガ・ミリティアは、すでに十年以上前から、カリーンやテクネウムのような秘密工場を調達し始めていたといわれ、逆に、ザンスカール勅興との関連を指摘することもできるだろう。

V2ガンダムのために開発された武装強化パーツは、それ自体が部品として独立し、なおかつ互いを補完する機能を持っている。バスターバー

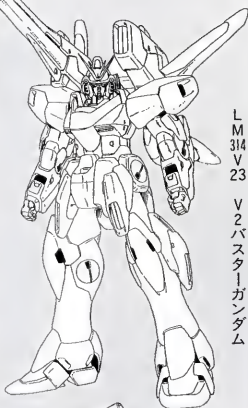
ツは主に長距離支援であり、アサルトパーツは近、中距離戦闘に対応している。V2ガンダムそのものは、史上最速ともいえる機動装備をもつが、その防御能力は必ず抜けて高いわけでもない。そこで、機体各所の装甲を強化するアサルトパーツは肩部に1フィードドジェネレータを装備し防御能力を向上させ、バスターパーツは、MDUの自由度を格段に向上させることで、増加した自重を相殺するほどの機動力を確保している。

実際の戦闘で使用されたかどうか定かではないが、V2ガンダムが双方の装備を同時に装着した場合、恐らくは、史上最強の機動兵器と呼べるほどの能力を発揮することだろう。V2はまさに、最強のガンダムなのだといえる。

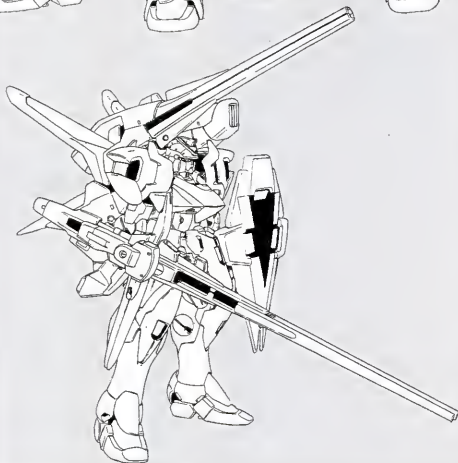
L M 314 V 24 V 2アサルトガンダム



L M 314 V 23 V 2バスターガンダム



L M 314 V 23 / 24 V 2アサルトバスターガンダム



MS用語事典

MS用語事典 4

アドラステア近衛師団

アドラステア [ADRASTEIA]

モトラッド艦隊の旗艦。ベスバの士官ドゥカー・イクがザンスカール帝国の推進する地球浄化作戦のために開発を提案し、建造を推進したバイク型の大型戦艦。

その巨大な車輪によって、地上の人々や施設を、文字どおり蹂躪する。大気圏突入能力を持つ。

アンダーフック [Under-hook]

海底に向かって何階層にも連なる海底都市。宇宙植民都市（スペースコロニー）の建設技術を確立するプロトタイプ

プとして「閉鎖空間での都市生活の検証」という主旨のもと作られた。海上にある港湾施設によって外部との接触はある程度保たれているが、基本的には地上の他の地域との没交渉を身上とし、地球上での閉鎖環境を作りだすことができる。また、海底に敷設された透明チューブによるパイプラインで各種の施設と連絡しており、生活に必要なあらゆることは、すべて海面下の設備でまかなうことができる。

ウォームバイブレーション

[Warm Vibration]

エンジェル・ハイロウに収容された数万人ものサイキッカーの思念を増幅して発せられたウェーブ。人の戦闘衝動を鎮静化させる効果を持つ、シャクティの精神波により予定外の現象として発現した。

エンジェル・ハイロウ

[ANGEL HOLLOW]

ベスバが最終兵器として開発した巨大サイコミュ要塞。

ある特殊な能力を持つ人間をキーとして、収容した数万人からなるサイキッカーたちの思念を、統合、制御して発する。決戦時には、ウォーム・バイブレーションを放射した。

国際法

[The Laws of the International]

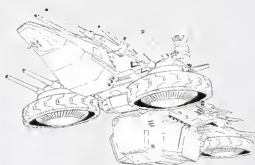
NBC兵器の使用禁止などを含む、投入兵器の規制や、捕虜の待遇、宣戦布告の形式や降伏調印の様式など戦場に

おける危険回避や、無秩序に戦線が拡大するのを抑止するために全地球規模で交わされた盟約。

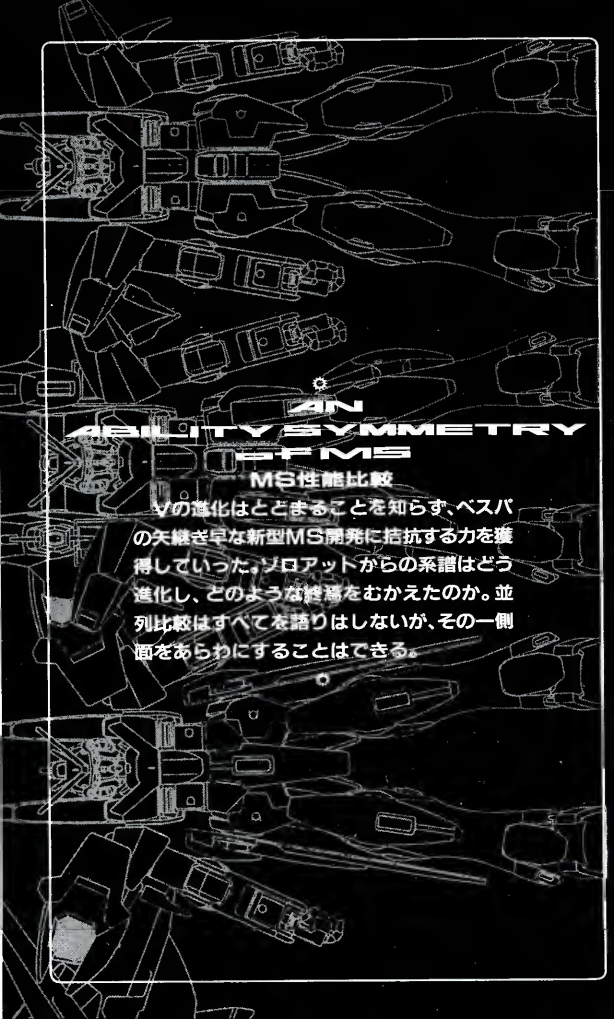
近衛師団

[Imperial Guards Division]

女王への絶対の忠誠を教え込まれ、訓練されたエリート兵士の集団。女王の身辺警護とザンスカール本国の防衛任務についている。



アドラステア

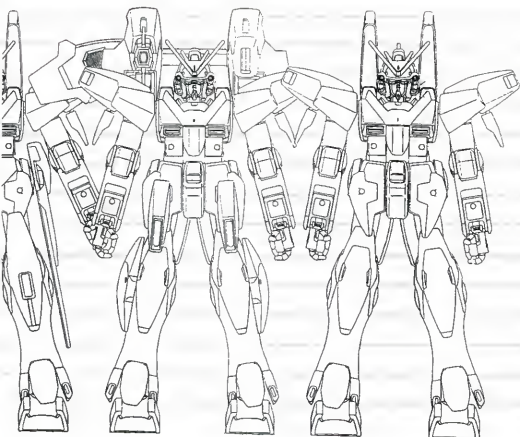


AN ABILITY SYMMETRY OF MS

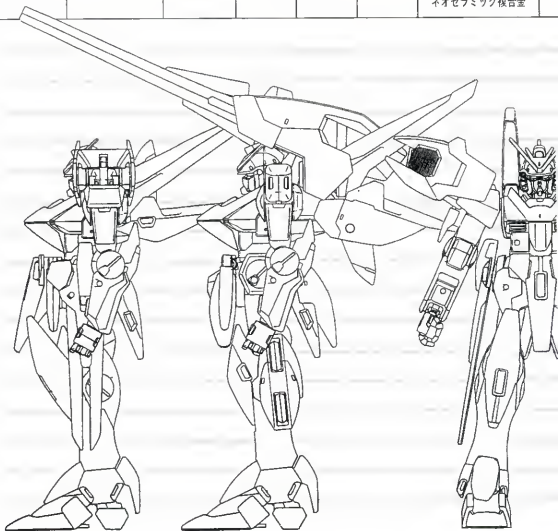
MS性能比較

Vの進化はとどまることを知らず、ベスバの矢継ぎ早な新型MS開発に拮抗する力を獲得していった。ソロアットからの系譜はどう進化し、どのような終焉をむかえたのか。並列比較はすべてを語りはしないが、その一側面をあらわにすることはできる。

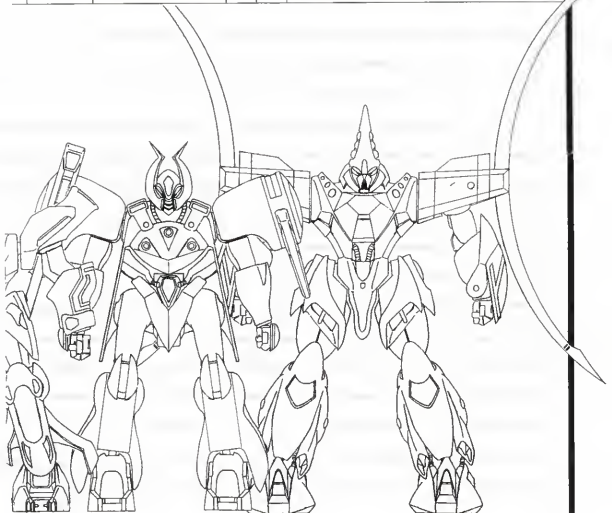
ジュネレータ	スラスター推力	アポジ	ハーフ	武装
7510kw	ミノフスキードライブ 2基 16700kg×2, 4770kg×7	46		頭部バルカン砲×2, ビームサーベル×2(2), ビームシールド×2, メガビームキャノン×1, スプレービームポッド×1, マイクロミサイルポッド×6, ハードポイント×8
7510kw	ミノフスキードライブ 2基 16700kg×2, 4770kg×7	46		頭部バルカン砲×2, ビームサーベル×2(2), ビームシールド×2, メガビームライフル×1, メガビームシールド×1, ヴェスパー×2, フィールド発生器×2, ハードポイント×10
3075kw	21110kg×2, 10050kg×4	20		ビームサーベル×1, ビームライフル×1
5420kw		18		ビームキャノン×1, ガトリングガン×1
4990kw×2	87200kg×2	26		メガ粒子砲×1, ビームキャノン×2,
5960kw×2	17800kg×6, 12250kg×7	28	6	メガ粒子砲×2, メガマシンキャノン×2, クローアーム×4
5960kw×2	54960kg×6, 20170kg×10 8500kg×2	1696		ビーム砲×10, ミサイルランチャー×2, 腕部ビームガン×2, テールビームガン×2



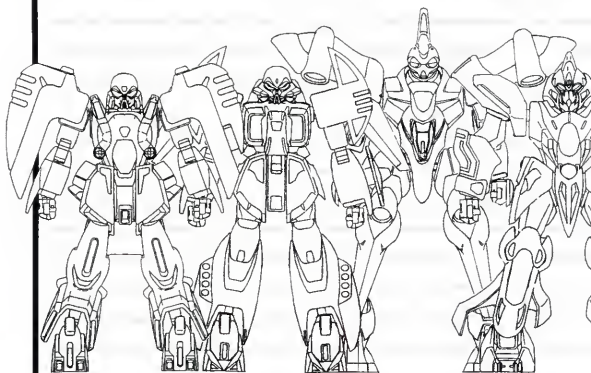
コードNo.	名称	英字スペル	頭頂高	本体重	全備重	装甲材質
LM314V24	V2バスター	V2-BUSTER	15.5m	13.8t	19.9t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合金
LM314V24	V2アサルト	V2- ASSAULT	15.5m	12.3t	19.1t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合金
RGM-109-M5	ヘビーガン	HERVY-GUN	15.6m	8.9t	22.3t	ガンダリウム合金
ZMT-A03G	ガリックソン	GALICSON	16.5m	11.3t	13.7t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZM-A05G	リカール	RECARL	50.6m	29.2t	41.5t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-A30S	ビルケナウ	BIRKNAU	22.3m	25.9t	45.3t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-A31S	ドッゴーラ	DODGORE	369.3m	51.9t	146.3t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金



ジュネレータ	スラスタ推力	アポジ	ハードP	武装
4990kw	37460kg×2	28	2	ヒートロッド×2, ビームサーベル×2, ビームシールド×2, ビームライフル×1
5570kw	27040kg×2	15	2	ビームサーベル×2, ビームライフル×1, アインラッド×1, ビームシールド×2 (アインラッドに機能あり)
5440kw	12250kg×3, 12080kg×2	31		ビームサーベル×2, ビームシールド×2, ビームライフル×1,
5960kw	11370kg×2, 10540kg×2, 8000kg×4	31		ビームメイス×2, ビームシールド×2, ビームライフル×1, マルチプルビームランチャー×5
6310kw	41990kg×2, 17800kg×1, 12250kg×4	40		頭部ショットバイト×2, ビームマホーク×2, ビームローター×1, ビームライフル×1, 4連マルチポッド×2
5570kw×2	41060kg×2, 30870kg×2, 10270kg×2	52		胸部ミサイルランチャー メガビームキャノン×1, ビームサーベル×2, ビームシールド
6170kw	10270kg×2, 7770kg×5, 5370kg×8	17		頭部ビームカッター, ビームトンファー×2, ビームシールド×2, メカビームキャノン, 6連マイクロミサイルポッド×2, ハードポイント×2
6500kw	32330kg×3	24		ビーム内蔵式ショットクロウ×1, 胸部ビーム砲×3, ビームシールド×2, ビームサーベル×2, ヴァリアブルビームランチャー



コードNo.	名称	英字スペル	頭頂高	本体重	全備重	装甲材質
ZM-S20S	ジャバコ	JABACO	15.7m	9.9t	18.2t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZM-S21G	ブルッケング	BRUCKENG	14.1m	13.9t	25.1t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZM-S24G	ゲドラフ	GEDLAV	13.8m	6.9t	17.4t	チタン合金 ネオセラミック複合金
ZM-S27G	ドムットリア	DOMUTTLIA	14.8m	8.2t	19.9t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-S28S	ゲンガオゾ	GENGAOZO	17.3m	14.3t	35.9t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-S29S	ザンネック	ZANNECK	19.4m	16.7t	38.2t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-S33S	ゴトラタン	GOTTRLATAN	15.9m	11.1t	24.9t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金
ZMT-S34S	リグ・コンティオ	RIG-CONTIO	16.3m	10.7t	21.4t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合金



MS用語事典△5

サイキッカーブルース

サイキッカー [PSYCHICER]

エンジェル・ハイロウに数万人も収容されたサイキック能力を有した人々。ウォームバイブレーションのもととなる思念を発する。

サンノセ・ファクトリー

[SANNOSE FACTORY]

ベスバに捕獲されたVガンダムが、調査のために持ち込まれた民間工場。

ジャンヌダルク

[JEANNE-D'ARC]

地球連邦軍宇宙艦隊の旗艦。ラーカイラム級の同型艦で、リガ・ミリティアと共同

戦線をはるためにハンゲルグ・

エヴィン、ムバラク將軍を乗

せハイランドでリガ・ミリテ

ィア艦隊と合流した。

シユバッテン [SHUBATTEN]

カイラス・ギリール艦隊を失

ったタシロ・ヴァゴが、エン

ジェル・ハイロウの作戦に平

行して編成した艦隊名および

その旗艦。アマルテア級の戦

艦である。

ジン・ジャハナム

[JIN-JAHANAM]

リガ・ミリティアの指導者

といわれる人物の名称で、こ

の名を持つ人物は複数存在し

ているといわれている。

タルマシアン [TALMATIAN]

リガ・ミリティア艦隊の襲

撃を受けカイラス・ギリール艦

隊から離脱したスクイード2

の改装艦。ムッターマ・ズガ

ン艦隊の旗艦として就役する。

タンピロ [TAMPICO]

メキシコ湾岸に位置する都

市のひとつ。地球に着水した

モトラッド艦隊が海底を航行

し上陸した地点。

トッリ・アーエス隊

[TORRI-ARES CORPS]

エンジェル・ハイロウの機

能検証のために出撃したMS

部隊。

ビッグ・キャノン

[Big Cannon]

衛星軌道上から地球上の拠

点を攻撃できる能力を持った

カイラス・ギリールの主砲。リ

ガ・ミリティア艦隊との戦闘

で奪取される。

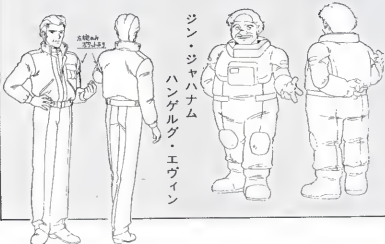
ブルース [Blue Three]

エンジェル・ハイロウにサ

ィキッカーを収納するための

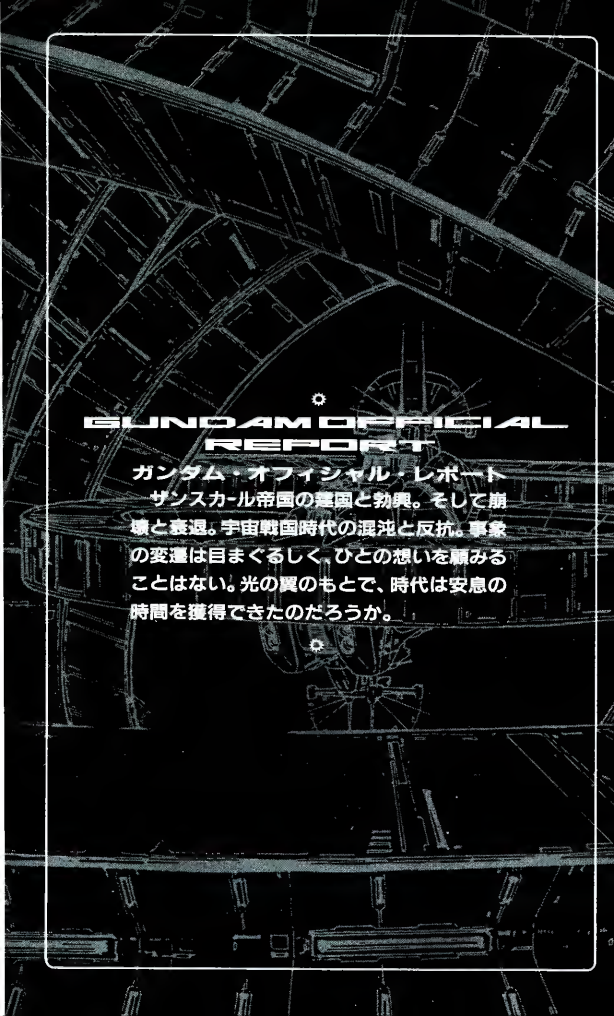
中継として使われた島1号ク

ラスの球状コロニー。



ジン・ジャハナム

ハンゲルグ・エヴィン



◉

GUNDAM OFFICIAL REPORT

ガンダム・オフィシャル・レポート
ザンスカル帝国の建国と勃興。そして崩
壊と衰退。宇宙戦国時代の混沌と反抗。事象
の変遷は目まぐるしく、ひとの想いを顧みる
ことはない。光の翼のもとで、時代は安息の
時間を獲得できたのだろうか。

◉

歴史

History

U.C.0153

宇宙世紀150年代

宇宙世紀0150年代は、

総括すれば宇宙戦国時代と呼ばれている。ザンスカール帝国のように地球圏に覇を唱えるコロニーもあったが、多くは自主独立を標榜するだけで、地球連邦との全面戦争も辞さないというほど強硬な意思表示は行われていなかった。

当時、連邦政府は、その最高意思決定機関である中央議會を月面のフォン・ブラウン市に移転していたが、これらの情勢に対して、なんらの反応もなかったと言われている。軍事的な状況で言えば、独立を宣言したコロニーの多くは、連邦軍の駐留部隊を接収したり、払い下げ品を独自に調達するなどの行動もあつたようだが、実質的には、ザンスカ

ール帝国の独立に呼応して連邦からの独立を宣言したコロニーが大半であるようだ。しかし、これらのコロニーにしてもザンスカールに従っているというわけではなく、あくまでも独立コロニーとしての立場を標榜している。

サイド2のマケドニアを例にとれば、コロニーには宇宙世紀0110年代に量産されたMSヘビーガンなどが配備されているが、すでに耐用年数を越えた機体も多く、ほとんどが独自改装を施したマケドニア仕様の機体となつていて、軍事力としての勢力はさほど大きなものではない。リガ・ミリティアのリーンホースJr.を拿捕し、搭載された機体などを整備していたの

も、それらの旧式装備を刷新しようとしてのことらしい。

実際には、救援を求めてきたリガ・ミリティアをザンスカールに引き渡すよりは、自軍の戦力として温存し、サイド2内での発言力強化に結び付けようという思惑があつたようだ。さらに、この部隊を拘束することによって、帝国との関係を有利にしておこうという判断もあつたという。

この状況が、他のコロニーにも波及していたのか、あるいはサイド2だけの傾向なのかは判然としないが、地球への武力侵攻を行うという状況があつたことは事実であり、ザンスカールとサイド3、あるいは木星船団の結託もありえるという情勢は、まさに、宇宙戦国時代と呼べるものであつたといえるだろう。

年・月・日 | 事柄

1957・10・04	人類初の人工衛星、打ち上げ成功（ソ連）
1961・04・17	有人人工衛星成功（ソ連）
1969・07・20	アポロ11号、月面着陸成功（アメリカ）
1969	G・K・オニール博士ら、スペースコロニー構想を発表
1975・07	米ソの宇宙船ドッキングに成功
1976・07	バイキング号、火星陸面の写真撮影に成功
1980・11	ヴォイジャー一号が土星探査に成功
1982・04	フォークランド紛争勃発
1986・01	スペースシャトルチャレンジャー号爆発事故
1992	バイオ・スフィア実験開始
U・C 0001	宇宙移民開始をもって宇宙世紀に移行。地球総人口90億突破
0027	初の月面恒久都市、フォンブラウン市完成
0040	総人口の40%（約50億人）宇宙への移民を完了
0045	小惑星ユノー（ルナツー）月軌道に定着。サイド3にミノフスキー物理学会設立
0050	総人口は110億、うち90億が宇宙に移民
0055	シャロンホルスト・ブッホ、ブッホ・ジャンク・インク創業
0058	ジョン・ズム・ダイクン、サイド3独立宣言。ジョン共和国樹立、国防隊発足
0059	サイド3に対し連邦政府による経済圧力
0060	連邦軍、60年代軍備増強計画発動（特に宇宙艦隊の統制）ルナツー軍事基地化
0062	ジョン国防隊、国軍へ昇格
0068	ジョン・ズム・ダイクン死亡。次期首相にデギン・ソド・ザビ
0069・08・15	ジョン公国宣言。デギン・ソド・ザビ公王に。ジョン派は追放
0070・03	公国軍、ミノフスキー効果の検証実験に成功
0070・05	公国軍、メガ粒子砲を完成
09	連邦軍、70年代軍備増強計画によるサラミス、マゼラン級の新型宇宙艦艇就役
12	サイド7建設のため、ルナツーを月軌道の反対側へ移動
0071	ジョン公国軍兵器開発局、ミノフスキー粒子散布下における新型兵器の開発に着手。ミノフスキー物理学応用による小型核融合炉の1号機完成
0072	ジョン公国、アステロイドベルトに小惑星基地アクシズを建設
0073	公国軍、新型兵器1号機完成。MS-01、モビルスーツ（MS）と呼称
0074・02	公国軍、ミノフスキー型核融合炉搭載のMS-05ザクIの試作型ロールアウト
0075・05	公国軍、MS-05ザクIの実戦型ロールアウト。
07	公国軍、ムサイ級軽巡洋艦の一着艦就役。
0076	公国軍、地球進攻作戦を前提とした局地戦用MSの開発に着手
0078・01	公国軍、ザクの強化型、MS-06ザクIIの量産開始
05	サイド7第1号コロニー、未完成ながら移民開始
10	ジョン公国、國家総動員令発令
0079・01・03	一年戦争勃発。ジョン公国、地球連邦政府に対し独立を宣言。宣戦布告と同時にサイド1、2、4へ奇襲敢行。NBC兵器無差別投入。コロニーの落下により、大規模な気象変動を惹起。（1/3〜1/10までの戦艦を一週間戦争と呼ぶ）
01・11	サイド6中立宣言
01・15	ルウム戦役。連邦軍宇宙艦隊敗北。公国軍は艦隊司令のレビル将軍を捕縛
01・31	南極条約締結
02・07	公国軍、地球進攻作戦開始。地上の約三分の二を制圧。その後、戦局は膠着
03	公国軍、占領地域の施設を使い戦力を増強
04	連邦軍、新型MSと専用強襲母艦の開発・建造を目的としたV作戦及び喪失した宇宙艦艇の量産を主目的としたビンソン計画を同時に発動
05	宇宙要塞ソロモン完成
06	公国軍、宇宙要塞ア・バオア・クー、ソロモン、月面基地グラナダを結んだ本土防衛ライン完成。フラナガン機関設立
07	連邦軍、ビーム兵器の小型化に成功。連邦軍の新造艦ホワイトベース（WB）進宙。RX-78ガンダム試作第1号機、ロールアウト
08	連邦軍製試作型MS、サイド7で最終テスト開始。北米オーガスタ連邦軍基地においてRX-78NT-1開発開始
09・18	公国軍特務部隊サイド7強襲。コロニー内部で史上初のMS同士の戦闘。WB、破壊を免れたMSを収容し南米のジャブロー基地に向け出航
10	連邦軍の各工場でMSの量産開始。公国軍、対抗のため新型機を次々に実戦配備。フラナガン機関、サイココミュニケーションシステムの試作型を開発
10・04	ニューヨーク市において地球攻撃軍司令官ガルマ・ザビ戦死
10・06	ギレン・ザビ、全地球規模の大演説を展開
11・07	連邦軍、オデッサ作戦始動。3日間の戦いの末、連邦軍の勝利に終わる。これによって地球上のミリタリーバランスは一変する（連邦軍、11月後半から量産型MS、RGM-79ジムの実戦配備を開始）

ガンダム・オフィシャル・レポート

ザンスカール帝国

ZANSCALE

U.C.0153

ザンスカール帝国

ザンスカール帝国の成立は、当時再燃していた宇宙移民者による自治権獲得の流れを加速し、多くのコロニーに波及した。そしてその流れは、宇宙戦国時代とも呼べる状況を生み出していった。

マリア主義の語る理想は、人々の耳に心地よく、多くの賛同者も生み出していた。そしてザンスカールは、その理想を実現するため地球圏制覇に乗り出した。

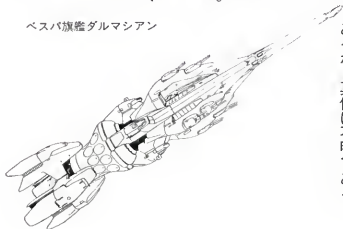
ザンスカールの凶刃は、確かに多くの血を流した。しかし、それは情性の中で漫然と時を重ねるだけの人類が、漠然と持っていた危機感が生み出したのかも知れなかった。逆に、人類全体の欲求が戦争を呼び、その歪を正すために

招いたのが、この状況だったとしても不思議ではない。ザンスカールは、その状況に、ほんのちよつと手を貸しただけなのかも知れない。

ザンスカール帝国は、事実上、木星帰りのフォンセ・カガチが成立させた国家だといえる。その成立は非常に急激であり、それによって発生する軋轢を糊塗するため、カガチはマリア主義を利用し、ギロチンによる粛正を強行した。軍事的な規模は、確かに連邦軍との全面戦争を構えられるほどではなかったにしても、ベスパが擁するMSは、性能的には連邦軍に配備されるMSをはるかに凌駕しており、非常に効率的に戦略を展開できたのだとされる。

ザンスカール帝国は、その独特の戦略によって、連邦の干渉を避けながら地球への侵攻さえも実現させた。これは、休戦協定などに際しての地球連邦との裏取引なども含み、連邦軍の干渉を取り付けた後に行われていたという説もあるが、真偽は不明である。

ベスパ旗艦ダルマシアン



年・月・日

事柄

0079・11・30	公国軍、連邦軍司令部ジャブロー攻撃失敗。公国軍地上戦力の瓦解始まる
12・14	連邦軍、星1号作戦発動
12・05	連邦軍、アフリカ、北米で公国軍掃討戦を展開
12・21	公国軍特務部隊、連邦軍北極基地襲撃
12・24	ソロモン攻略作戦開始。公国軍敗退。宇宙攻撃軍司令官ドズル・ザビ中将戦死
12・30	デギン公王、ソーラ・レイ・システムにより死亡。連邦軍、レビル艦隊を喪失
12・31	ア・バオア・クー陥落
0080・01・01	一年戦争終結。月のグラナダにおいて地球連邦とジオン共和国間で終戦協定締結
01～	デラーズ、アクシズ行きを拒む公国軍残党を糾合、艦隊再編成
03	デラーズ艦隊、暗礁空域に移動。緊留基地「灰の園」設置開始
06	アフリカ戦線の旧公国軍、武装解除（あくまで連邦軍の公式発表）
0081・03・14	ブッホ・コンツェルン、利益の公共還元として職業訓練校を設立
03・28	公国軍残党、小惑星基地アクシズに到着
05・05	ドズル・ザビ夫人（ゼナ）アクシズで病死
08・15	デラーズ・フリート、「ジオン公国国慶節」を機にゲリラ活動開始
10・13	連邦軍再建計画が連邦議会でも可決
10・20	連邦軍再建計画の一環として「ガンダム開発計画」始動
11	デラーズ・フリート、アクシズとの共闘を確認
0082・04	連邦軍、極秘裡にニュータイプ研究機関設立
05	第一次コロニー再生計画実施。サイド4からサイド3へ修復可能なコロニー移送
12	デラーズ・フリート、「灰の園」内の工場プラントでM Sの開発開始
0083・01	デラーズ・フリート、「ガンダム開発計画」察知
03	デラーズ・フリート、反抗作戦を立案。反連邦勢力との関係強化
05	デラーズ・フリート、M S-21 Cの生産を開始
07・30	「星の屑」作戦計画立案
08・09	アクシズの指導者マハラジャ・カーン死亡
08・11	ハマーン・カーン（当時16歳）ミネバ・ザビの摂政に就任
09	アクシズ、新合金「ガンダリウム・ガンマ」の開発に成功
09・18	A Eのフォン・ブラウン工場でR X-78GP02Aロールアウト
09・29	同工場でR X-78GP01及びFb（フルバーニアン）用換装部品ロールアウト
10・04	同工場でR X-78GP03ロールアウト
10・07	アルビオン、A Eのフォン・ブラウン工場でGP01、GP02Aを受領。重力下試験のためオーストラリアの連邦軍トリントン基地へ向け出航
10・09	ガトー少佐、アフリカに降下。地上の公国軍残党と合流
10・13	アルビオン、トリントン基地に到着。核弾頭ごとGP02Aが強奪される
10・14	ガトー少佐、GP02Aとともにアフリカ方面へ脱出。アルビオン追撃開始
10・16	アルビオン、アフリカへ到着。ジオン基地の探索開始
10・23	GP02AはHLVで軌道上へ脱出。キンバライド基地降伏
10・25	シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参加
10・28	アナハイムの大型ドック艦ラビアンローズにおいてGP03のトライアル開始
10・31	デラーズ宣言。地球全域にデラーズ・フリートの宣戦布告放送
11・01	第二次コロニー再生計画実施。サイド1からサイド3へ修復可能なコロニー移送
11・02	アルビオン隊、月面都市フォン・ブラウンに到着
11・03	フォン・ブラウン市の資源搬入港にデラーズ・フリートの偽装連絡艦が入港
11・04	アルビオン、月引力圏を離脱しソロモン海へ
11・05	ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に向け「灰の園」を出航
11・07	ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に到着、待機
11・08	連邦軍戦艦バーミンガムがシーマ艦隊と交戦
11・10	4年ぶりに举行された連邦軍観艦式をデラーズ・フリートが襲撃。旗艦以下、参加艦艇の2/3が航行不能以上の損傷。同時に移送中の2基のコロニージャック。その内、1基が月に落下を開始。連邦軍の残存艦艇、コンベイ島を緊急出撃
11・11	デラーズ・フリート、アクシズ先遣隊からアクシズ製M Aノイエ・ジュール受領。コロニーは地球落下軌道へコースを変更。アルビオン、GP03と共に発達
11・12	先行したGP03、デラーズ・フリートと交戦。GP03とノイエ・ジュール交戦。地球落着コースに入ったコロニーにソーラ・システムIIを照射するも阻止できず
11・13	ソーラ・システムII、再び照射をするが阻止できず。コロニーは北米大陸に到着
11・23	一連のデラーズ紛争に結んだ軍事裁判開廷
12・04	ジャミトフ・ハイマン提唱によりティターンズ結成。旧公国軍残党狩り活発化。
0084・03・10	コロニー落下の真相とガンダム開発計画、共に公式記録より抹消
06・17	連邦議会、地球圏の現状維持を発表
07・08	ブッホ・コンツェルンの球形コロニー完成
09・21	シャア・アズナブル、地球圏に帰還。非合法で連邦軍の軍籍を得る
0085・07・31	30パンチ事件。ティターンズがサイド1・30パンチに毒ガスを注入し佐民を虐殺。反地球連邦運動（A・E・U・G）活発化

ザンスカールの崩壊

宇宙要塞カイラスギリによる地球狙撃作戦は失敗し、それに前後して、地上ベスパ勢力の瓦解が始まったと言われている。

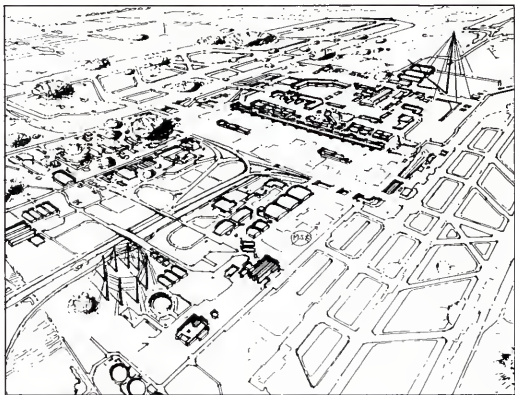
実際、東欧のラゲーン基地を始めとする各地の前線基地は、施設の維持以上の補給はうけることができなくなり、現地徴用にも様々な支障が出ていたらしい。さらに、モトラッド艦隊の地球への降下に前後する連邦政府との休戦協定が成立して後は、あからさまに地上勢力の撤退が行われたとさえ言われている。

その後、モトラッド艦隊の展開に伴って、地上に居住していたマリア主義者たちを徴発し、エンジェル・ハイロウ作戦への動員が行われたらしい。

しかし、その動きは連邦軍の一部勢力を蜂起させる結果を招き、エンジェル・ハイロウの存在が露見するに及んで、リガ・ミリティアの介入は避けられない情勢に陥った。

そしてザンスカール帝国は、リガ・ミリティアとの共同作戦をもって反抗に転じた地球連邦軍の主力艦隊との全面衝突への移行を余儀なくされてしまったのである。

ベスパはモトラッド艦隊やズガン艦隊などを展開し、本国の防衛もそこそこに、地球へ向けてエンジェル・ハイロウを進撃させた。しかし、ここに至って、ザンスカール帝国は、地球連邦軍の持つ物量という最大の武器の威力を改めて思い知らされることになる。



ラゲーン基地全景

- 0085-09-08 グリプス2、サイド7に建設される
 0086-02-06 アクシズ、地球圏に向けて発進
 0087-03-02 エウーゴ、グリプス1より試作MS3機を強奪
 04-29 連邦政府、木星エネルギー輸送船ジュピトリスの地球圏帰還をもって惑星開発計画の規模縮小を発表
 05-11 エウーゴ、地球連邦軍のジャブロー基地を攻撃
 06-29 ティターンズ、ホンコン・シティを襲撃
 08-10 ティターンズ、アポロ作戦発動。フォン・ブラウン市を襲撃
 08-17 エウーゴの指導者、ブレックス・フォーラ准将暗殺
 10-12 アクシズ、地球圏に帰還
 11-16 エウーゴ、ダカールの連邦議会を占拠。全世界にティターンズの実体を告発
 12-07 ティターンズ、グリプス2のコロニーレーザーでサイド2・18パンチを破壊
 12-14 ティターンズ、サイド2・21パンチを毒ガス攻撃。住民は全員死亡
 0088-01-18 アクシズ、ゼダンの門の旧ア・バオア・クーを破壊
 02-02 エウーゴ、メールシュトローム作戦発動。艦隊戦によりグリプス2を占拠
 02-22 エウーゴ、アクシズ、ティターンズによる艦隊戦。ティターンズ敗北。コロニーレーザー一壊。エウーゴ、戦力の過半数を喪失。シャア・アズナブル行方不明
 ティターンズ教導部隊の一部青年将校が“ニューディサイズ”を標榜し蜂起
 02-24 ネオ・ジオン、各サイドに制圧部隊を派遣
 03-23 連邦軍、ニューディサイズ討伐隊前衛艦隊α任務部隊を編成
 03-28 ベズン、占領部隊の核爆弾により爆発。エイノー艦隊、ニューディサイズと合流
 03-29 エイノー艦隊、月裏面のエアーズ市に降下
 04-01 エアーズ市上空で攻防戦、FAZZ部隊全滅
 04-02 エアーズ市武装解除。ニューディサイズ、ジオン残党のトワニング隊と合流
 04-04 ニューディサイズ、低軌道中継ステーション、ペンタを制圧
 04-05 α任務部隊、任務終了
 06-06 ネオ・ジオン、先遣部隊を地球に降下させる
 08-01 ネオ・ジオンの本隊、地球侵攻
 08-29 ネオ・ジオン、ダカールを占拠。旧公国軍、ティターンズ残党等を配下に治める
 10-31 ネオ・ジオン、ダブリンにコロニーを落とす
 11-14 連邦政府、サイド3をネオ・ジオンに譲渡。ネオ・ジオンの戦力、地球より撤退
 12-25 ネオ・ジオン内でグレミー軍が謀反
 0089-01-16 アクシズ、コア3に激突
 01-17 エウーゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーン戦死。ミネバ・ザビ行方不明。
 03-15 木星エネルギー輸送再開。ジュピトリスⅡ発進
 05-01 連邦軍、大質量アステロイドの管理体制を再編成
 08-25 連邦軍、スペースノイド寄りのコロニーに対し経済制裁等の引き締め強化
 0090-01-~ エグム、NSP等、反地球連邦組織の活動活性化
 02 難民収容施設として、スウィート・ウォーターを改造
 03 連邦軍、外郭新興部隊ロンド・ベル隊設立
 07-15 NSPのカラード隊、再建中のテキサスコロニーを襲撃
 10-15 サイド2でアラハス隊、カラード隊と交戦
 11-23 民間会社モノトーンのスタッフ、連邦軍のテストパイロットに抜擢
 12-15 NSP穏健派、アラハスと合流。ネオ・ジオンの過激派偽装陽動部隊と交戦
 0091-02-06 NSP解散宣言
 02-27 過激派偽装陽動部隊、木星へ
 0092-08-~ 連邦軍、本部をチベットのラサへ移動
 12-13 ネオ・ジオン、地球連邦軍に対し攻撃を示唆
 12-22 シャアを総帥とする艦艇、スウィート・ウォーターの占拠を宣言
 12-25 連邦軍、ロンド・ベル隊を増強
 0093-02-27 ネオ・ジオン総帥のシャア、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告
 03-03 ネオ・ジオン艦隊スウィートウォーターを発進
 03-04 5ヵルナ、連邦軍本部所在地チベットのラサに激突
 03-06 ネオ・ジオン軍と連邦軍、サイド6、ロンデニオンにおいて、極秘裡に和平交渉
 03-12 ネオ・ジオン艦隊、投降を偽装しアクシズを奪回。地球へ降下させるも失敗
 09 連邦軍内の諒解機関、戦略戦術研究所が海軍戦略研究所(S・N・R-I)として再編
 0100-~ 連邦軍、ジオン共和国の自治権放棄をもって、戦乱の消滅を宣言
 0102-~ サナリイ、連邦政府にMSの小型化を提言
 0103-~ 反地球連邦組織「マフティー」軌道上の監視用人工衛星を破壊
 0104-02-28 地球上の連邦軍増強。地球上のマン・ハンター組織や、不法居住者摘発を強化
 0105-04-09 ミノフスキー、クラフト搭載のMSペーネロペー月面からオーストラリアに移送
 04-19 マフティーを標榜する活動家によるシャトルハウゼン乗っ取り未遂事件
 04-20 マフティー、オーストラリアのホテルを襲撃。Ξ(クスイー)ガンダム地球へ
 04-21 Ξガンダムとペーネロペー、インドネシアのハルマヘラ島沖で交戦

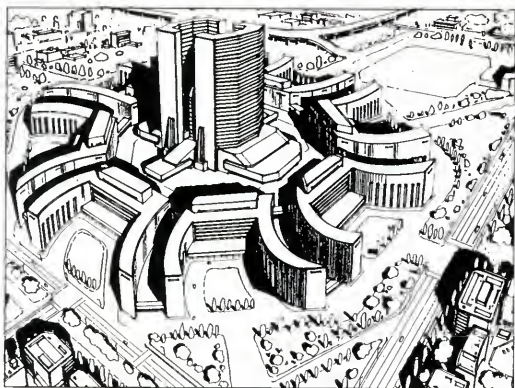
エンジェル・ハイロウ作戦は、基本的に、このサイココミュ要塞が発する思念波を、地球上に照射するというだけの内容だった。しかし、この照射が充分に行われれば、地上に居続ける人々は、ほとんど生存し続けることができなくなる。かつて、地球に居住する人類を絶滅させようとする作戦は幾度か実行されたが、そのいずれもが、地上を汚染し環境的に居住不能とすることで地球環境の回復を促進するということを目的としていた。

しかし、それらは作戦の展開に伴って自然環境への深刻な影響も同時に惹起されることが予想される場合がほとんどで、必ずしも手段と目的の整合性がとれてはいなかったと考えられる。

ハイロウによる作戦では、影響を被るのはほとんど人間に限定され、生存のために、本能以外のファクターが不可欠である人間は、能動的な社会生活が営めなくなってしまう、そのほとんどが早晚死滅してしまふことが予想されていた。しかし、この作戦はリガ・ミリティアの徹底抗戦によって阻止されてしまい、同時にザンスカル帝国の主要メンバーも、この作戦の展開の途上でほとんど失われてしまふという結果を招いた。

ところが、このエンジェル・

この帝国が、今後も国家としての体裁を守り続けるのは非常に困難だろう。しかし、マリア主義者たちがすべて失われた訳ではない。彼らが自らを断罪することはないだろうし、その後継者が現れないとも限らないだろう。



ベスパ司令部

年・月・日

事柄

0105・04・26	マフティー、「連邦政府調査権の修正法案」破棄を要求し、豪州のアデレード開催の連邦中央関係会議紛砕を告知。会議場を襲撃するが、会場に設置されたバリアーによってビガンダム瀕死。マフティーは逮捕され、法案は可決
04・27	第十三独立部隊、アデレードに到着
05・01	反地球連邦組織のリーダー、マフティー処刑
0105・06～	連邦軍、反地球連邦組織に対する弾圧強化。反地球連邦運動、表面的には鎮静化
11	A E 社が連邦軍の依頼を受け小型 M S の開発に着手
0106～	新規のコロニー建設再開決定。ブッホ・コンツェルン内の職業訓練校及び周辺企業の選抜メンバーにより C・V (クロスボーン・バンガード) 極秘裡に設立
0108・07	ブッホ・エアロダイナミクス社製小型 M S デッサ・タイプ一号機ロールアウト
0109	RGM-109 ヘビーガン、ロール・アウト
0110・04	エンゲイスト・ロナ、コロニー公社副総裁に就任
0111・09	サナリィによる F 90 の一号機ロールアウト及び各種オプション A、D、S、M、H が完成
10	連邦軍、次期主力 M S 開発を決定。サナリィの F 90 シリーズが A E 社を下し採用
12	フロンティアサイド (旧サイド 4) 再建開始
0112・02	F 90 運用試験用オプション L、V、P 完成
06	アナハイム部内で極秘裏にシルエット・フォーミュラ・プロジェクト始動
0113・04	ハウゼリー・ロナによる「地球保全法案、過当医療廃止法案」廃案
0115・04	F 71 ロールアウト
0116・05	ラフレシア・プロジェクト構想始動。「地球保全法案」再提出
07	F 91 ロールアウト
0117	ブッホコロニー、一般民間人にも解放
0118	ハウゼリー・ロナ暗殺
0119	ラフレシア・プロジェクト発動
0120・10・25	ジュビトリス級輸送艦コバヤシ丸が謎の M S 部隊に襲撃される
10・28	サイド 4 空域でテスト飛行中の F 90 の試作一機が謎の M S 部隊に強奪される
0121・02	F 90 及び F 91 運用テストのため連邦軍巡洋艦エイブラムズに搬入
03	F 90 二号機改修完了平行して L タイプオプション完成
0122・08	A E 製の RXF91 ロールアウト
11	ゼブラ・ゾーンにおいてシルエットフォーミュラの試験開始
12	F 91 頭部コンピュータ換装のためフロンティア I に搬入
0123・02	RXF91、ゼブラ・ゾーンで試験稼働中に C・V のダーク・タイガー隊と接触
03・16	C・V を名乗る謎の M S 部隊がフロンティアサイドを襲撃。フロンティア W の住民 500 以上が死亡。14 万人が避難
03・19	C・V、フロンティア II、III を襲撃
03・22	C・V、フロンティア II、III を制圧
03・24	サウザンズ・ジュビター地球圏に到着。C・V に拉致されるが艦長は協力を確約
03・26	C・V、フロンティア IV においてコスモ・バビロニアを宣言
03・30	C・V の鉄仮面、独断でフロンティア I においてバグ及びラフレシアを稼働させるが、F 91 によって撃破。この戦いで F 91 は大破
03・31	C・V のドレル大隊、サブネ隊など、コスモ・バビロニアへ凱旋。フロンティア I から F 90 Y クラスターガンダムが C・V の警備隊と交戦の後、脱出
0139	民間のネットワーク内で神聖同盟構想が発足
0140～	コロニー主義の台頭。自治権の確立運動再燃。各コロニーの経済格差や貿易の不均衡をめぐっての対立表面化
0141	マリア・ピア・アーモニア、サイド I のアルバニアンにおいて相談所を開設
0143	マリア、自らの考えを伝えはじめる
0144	マリアを信奉する集団が発足。スタッフがマリアの言葉をまとめた書籍を作成。マリア主義の集団がアルバニアン政府に団体結成を申請
0145	フォンセ・カガチがマリアに接触
0146	マリア主義の集団、急速的に成長。政治的武闘集団として政治結社ガチ党結党。ガチ党がアメリカ政庁議会の第三勢力に
0147	贈収賄の首班グループをギロチンで処刑。ガチ党、アメリカの政権と与に
0148	リガ・ミリティア、実戦的な組織として再結成
0149	サイド 2 においてザンスカール帝国建国宣言。リガ・ミリティア、V (ヴィクトリー) 計画を発動
0152・10	イエロージャケット、ラグーンに侵攻。民間航空施設を接収して基地を造営
・11	ミノフスキードライブ開発開始
0153・02	シャッコーの宇宙テスト終了
03	シャッコーの重力下トライアル開始
04・05	シャッコー強奪される。イエロージャケット、ウーイックを襲撃
04・06	シャッコー、ウーイックでソロと交戦。イエロージャケット、V ガンダムと交戦
04・07	リガ・ミリティアのカミオン部隊、カリーンの地下工場へ
04・08	欧州東部のリガ・ミリティア集結。V ガンダム、試作 M S ゴッソーラと交戦

地球浄化作戦

ザンスカール帝国が展開した地球浄化作戦は、可能な限り地球環境を汚染せず、反抗勢力の鎮圧を実行しようとして展開されたものである。その際に使用されたモトラッド艦隊は、船体の前後に巨大な車輪を持ち、砲撃やMS戦の展開も可能としながらも、基本的にはその車輪によって地上の施設や敵対勢力を蹂躪することを戦術の根底に置いている。さらにその威容によって、精神的にも反抗心を根絶する目的があった。この特殊な形状を持つ戦艦は、大気圏突

入能力を持ち、海上はもとより海中の航行も可能としている。そして、その破格の走破性をもって地上を縦横に蹂躪し、基本的には開かずして地上を制圧するのが目的だった。さらに、この作戦の展開時に成立した休戦協定（条約）は、この艦隊の持つインパクトを活用しての時間稼ぎとして利用されていた。

モトラッド艦隊の提唱者ドゥッカー・イク



宇宙世紀0070年代以来続いた戦乱は、数多くの戦時条約を成立させた。一年戦争の初期に締結された南極条約は、その後の戦争状況における一種の指標となり、例えばNBC兵器の使用禁止などを含む、投入兵器の規制や、捕虜の待遇、宣戦布告の形式や降伏調印の様式などは、その

後の一種の国際条約として機能しており、実際に国際条約としての尊守義務を伴う法として定着していった。連邦政府に反旗を翻したザンスカール帝国においても、これらの国際条約は履行されている。なぜなら、これらの決め事は無秩序に戦線が拡大するのを抑止するのにも有効だからである。

戦争状況は、始めるよりも終わらせるほうが困難であり、それを制御できなければ、戦略などは成立しない。戦略の無い戦争などはいえなから、基本的な約束事は利用したほうが戦闘を円滑に実行することが可能となるのである。ザンスカール帝国が、モトラッド艦隊による地球侵攻と並行して休戦協定の締結を画策していたのは、明らかに戦

略的に休戦状況を利用するためだったのだ。

ザンスカールの思惑としては、ベスパに対する反抗勢力の注目を地上に集めた上で、本命のエンジェル・ハイロウを秘密裏に建造し、稼動宙域に移送するという作戦が進行していたらしい。実際にこの作戦は、女王マリアが地上に降臨するための準備であり、そのための地ならしであるとして展開されていたのである。



アドラスティア級
モトラッド艦

- 0153・04・09 リガ・ミリティア、ウーイック周辺から分散開始
- 04・10 カミオン部隊のリーダー捕縛。リガ・ミリティア追撃隊がガッダール隊派遣要請
- 04・11 カミオン部隊、ガッダール隊と交戦。ビビニデン降下、イエロージャケットに合流。カミオン隊のリーダー、ギロチンによって処刑
- 04・12 ラゲーン基地指令に召還命令。イエロージャケット、アーティジブラルタル制圧作戦開始。カミオン隊、シュラク隊の先遣隊と合流
- 04・13 イエロージャケット、不法居住区でVガンダムを奪取するが奪回される
- 04・14 カミオン隊ベチエンへ。シュラク隊と合流。デブレ隊、旧ドレスデンへ向かう途上でVガンダムおよびガンイージ部隊に遭遇、撃破される。
- 04・15 カミオン隊、ベチエン到着。連邦軍アイルランド駐留の部隊と合流。ガッダール隊およびルベ・シノ隊と交戦。シュラク隊のMS一機喪失
- 04・16 カミオン隊の一部、旧バセルナへ到着。Vガンダムが広場のギロチンを粉碎
- 04・17 バグレ隊と名乗る宇宙艦隊がザンスカールの艦隊と交戦。イエロージャケット、ジブラルタルの宇宙引越公社に服従を要求し示威行動。リガ・ミリティアと戦闘。シュラク隊のMS一機損失
- 04・18 イエロージャケット、引越公社に投降を要求。試作MSメスメドーザ投入。シュラク隊のMS一機損失
- 04・19 引越公社のシャトルがリガ・ミリティアによってハイジャックされる。カミオン隊に連邦軍アイルランド駐留部隊所属の宇宙艦艇リーンホースが合流
- 04・20 ジブラルタル沖に停泊中の艦艇とイエロージャケットのガルグイユと交戦。リーンホース浮上。軌道上へ
ウッソらがベスバのシノーベ級哨戒艇を拉致。ザンスカール帝国が、ズガン艦隊出撃の模様を中継
- 04・23 ウッソらのシノーベ、ハイランドに接舷
- 04・24 リーンホース、カイラスグリーから派遣された艦隊と交戦。ガウンランドと合流
- 04・27 リガ・ミリティア、ハイランドのマイクロウェーブガンでカイラスグリー艦隊を攪乱の後、艦隊戦。カイラスグリーはリガ・ミリティアに捕獲され、その宙域よりスクイード2が離脱
- 04・28 Vガンダム、ベスバの可変試作MSアビゴルと交戦
- 04・29 ウッソらと宇宙家族がアイネアースでサイド2へ向け出航
- 05・04 ウッソらがザンスカール本国へ潜入。リーンホースJr.出航。
リガ・ミリティア艦隊とズガン艦隊が交戦。一部部隊が離脱に失敗し、再びザンスカール本国へ潜入。帰還した艦隊への女王の迎講中に港湾内で戦闘。交戦したリガ・ミリティアのメンバーの内、一人は死傷し二人は捕縛される
- 05・06 ザンスカールの恩寵の儀式のさなか、展示されていた捕獲MSが動き出し、呼応するようにリガ・ミリティアのMS部隊が奇襲を敢行。並行して捕獲したビッグキャノンでズガン艦隊を砲撃。リガ・ミリティア艦隊は戦域を離脱
- 05・07 リガ・ミリティア艦隊マケドニアコロニーに漂着。乗組員はすべて拘束される
- 05・13 マケドニアコロニーにベスバのMS部隊が奇襲を敢行。混乱に乗じてリガ・ミリティアのメンバーが艦艇や機器を奪還
- 05・14 リーンホースJr、マケドニアコロニーを脱出。ホワイトアークとV2を受理
- 05・17 リーンホースJr、月の裏側の秘密基地ホラズで捕給
- 05・19 モトラッド艦隊、月面より発進
- 05・21 モトラッド艦隊、リーンホース部隊、共に大気圏突入
- 05・22 海洋都市アンダーフック壊滅
- 05・24 モトラッド艦隊、メキシコ湾のタンビコ付近より上陸。北米大陸を北上
- 05・28 ザンスカール帝国と地球連邦の間で休戦協定が締結。発効
- 06・01 ホワイトアーク部隊、北海洋上でリシア艦を旗艦とする部隊と交戦
- 06・03 ホワイトアーク部隊、北海洋上でリシア艦を旗艦とする部隊を撃破
- 06・05 ホワイトアーク部隊、停戦協定を無視してラゲーン基地を離脱した部隊と交戦
- 06・08 ラゲーン基地空襲。ホワイトアークとリーンホースJrは再び宇宙へ
- 06・10 ホワイトアークとリーンホースJrがハイランドに集結した連邦軍宇宙艦隊と合流
- 06・12 リガ・ミリティア艦隊がザンスカール軍を包囲。リーンホースJrとホワイトアークが前線のビビニデン降下のモトラッド艦隊を撃破
- 06・15 ホワイトアーク、タシロ艦隊と交戦の後、資材運搬船に偽装してエンジェル・ハイロウ空域へ侵入。MS部隊が直接の近衛師団のMSと戦闘
- 06・18 エンジェル・ハイロウ組み立て完了
- 06・20 ベスバのタシロ艦隊とクロノクル艦隊が合流
- 06・21 地球上にエンジェル・ハイロウの影響が出始める。リーンホースJrのホワイトアーク隊がタシロ艦隊旗艦シュバッテンのMS部隊と交戦。エンジェル・ハイロウ降下
- 06・22 シュバッテン撃沈。女王マリア死亡
- 06・23 エンジェル・ハイロウ守備隊とリガ・ミリティアの艦隊が交戦開始。エンジェル・ハイロウは大気圏上層で分解し、後に大気圏外へ上昇

エンジェル・ハイロウ

ザンスカール帝国は、最終兵器とも呼べるエンジェル・ハイロウを地球に向かわせた。この巨大サイコミュ要塞は、女王マリアのような超常能力を持ったものを中枢として、その威力を発揮するといわれている。

ザンスカール帝国が極秘に開発した最終兵器エンジェル・

ハイロウは、超巨大なサイコミュ要塞である。この要塞は、最大直径が20kmにおよぶ巨大な複数の輪で構成され、リングサイコミュと呼ばれる装置によって、人間の闘争心や戦



フォンセ・カガチ

おうとする意志を無くすという機能を持っていた。

この要塞が発する波動を照射された人間は退行現象を起こしてしまい、まるで幼児のように、何もする事ができなくなってしまう。これはもはや兵器と呼べるものではなく、

人類に向けられた、死に至る巨大な洗脳装置だったのだ。

この装置のもたらす効果としては、かつてのクロスボーン・パンガードが使用したバグのように、人類だけを対象とした殺戮装置であるという点とともできるが、バグはサドンデスをもたらずのものであり、エンジェル・ハイロウはスロウデスをもたらずものだということができるだろう。

エンジェル・ハイロウによつ

てもたらされる死は、バグのように屠殺とさえ呼べる。残酷なものではなく、元来、保護者がいない限り、生まれたままでは生存できない人類の生物としての弱さをそのままだ。逆に言えば、バグ以上に、酷薄なものであるとも言えるだろう。

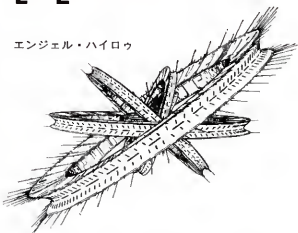
その意味で、カガチが究極的な目的として標榜する「争うことの無い人類の創出」は、事実上うそ偽りの無いものであることが判る。この装置の影響が各コロニーにまで波及すれば、全人類の生殺与奪権をカガチが掌握することになり、あるいは、その後の人類の歴史は、ザンスカール帝国のもとのでみ続いていることになってしまったかもしれない。

女王マリア



このエンジェル・ハイロウの建造には、木星船団が深く関わっているらしいといわれている。木星船団とは言うまでもなく、地球圏の維持運営に不可欠なヘリウムスリーなどの採掘、運搬を業務とする公共事業団である。この組織は引越公社やコロニー公社と同じくNGO（非政府組織）であるため、いずれの政治勢力にもくみしないはずであり、もし事実であるなら、地球圏の行く末はかなり憂慮すべき事態に直面しているといえるだろう。いかに地球連邦が何

エンジェル・ハイロウ



もしなかったとはいっても、エンジェル・ハイロウのような巨大な建造物が発見できなかったはずはない。無論、この要塞は細かいブロックごとに分散して建造されていたのだから、発見が困難だったということは考えられるが、その数の膨大さを考えれば、やはり連邦の査察を許さない、

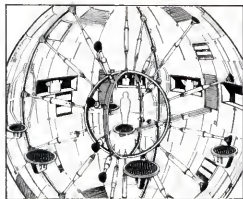
なんらかの勢力の存在を考えなければならぬだろう。また、ザンスカールの首魁であるフォンセ・カガチの前身が、幾度となく木星への航路を往復したヘリウム船団のベテラン職員であったことを考えれば、この憶測もあながち根拠のないものではないだろう。

ちなみに、エンジェル・ハイロウには、人類を退行させるという目的の他に、現存する人類を抹消したあとの遺伝子バンクとしての機能もあったという説もある。

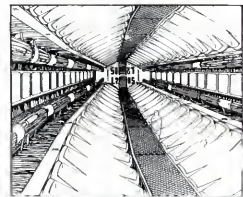
サイキッカーたちを収容していた無数のチューブは、機能的に彼らを仮死状態に保ち、必要に応じて、その遺伝子を選択、採取することができ、機能をあわせ持っていたらしいのだ。そしてこれは、現状のままの人類では、地球圏を

維持運営することが不可能であるというカガチの判断によるものであるという。

これが事実だとすれば、カガチは個人的な野心は持っていないと断言できる。彼自身、現状の人類のありように失望していたとしても、人類そのものを絶滅させようと考えていたわけではなく、数十年に及ぶ木星船団での経験は、地球圏を、より客観的に見るこ



サイキッカーチューブ



とを可能とし、その上で、改善するよりも始めからやり直す、ほうが効率がいいと判断していたと言われている。

実際にカガチがこのような構想を持っていたかどうかは判らないが、エンジェル・ハイロウ作戦の展開を最優先させていたペスバの戦略をみれば、このような計画が水面下で進行していたとするのも、あながち根拠の無いものではない。

ガンダム・オフィシャル・レポート

リガ・ミリティア

LEAGUE MILITAIRE

(L.M)

神聖軍事同盟

リガ・ミリティアが『神聖軍事同盟』として成立したのは、ザンスカールの勃興が確定的な状況に陥ってからだとされているが、『神聖同盟』としてのネットワークができたのがこの時期は、さらに遡ることができるといわれている。

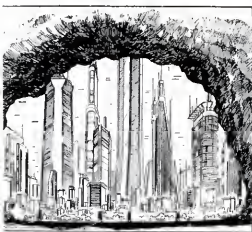
コロニー間の情報の流通はかなり頻繁であり、例えば、本来は政府による統制を受ける類のアンダーグラウンドのニュースメディアも存在している。そしてそれは個人端末としてのコンピュータの発達、浸透と不可分であって、その選肢の多彩さは旧世紀の比ではない。個人でアクセスできるデータバンクの情報量は膨大であり、また、傍受だけに限定するなら、機密扱いの

通信など皆無だとさえ言われている。(無論、軍事機密などのプロテクトには最先端のスクランブル技術が導入されているが、それゆえに、デコーダーも発達しているため解読されやすく、逆に重要な要件ほど、口頭や書面によることが多くなっていたりするらしい。軍組織内部で、いわゆる『暗号』や『符丁』が多用されるのもそのためである) 同じように、対個人の通信や一定量の対象を持つ小規模な放送の送受信も可能であり、宇宙世紀0130年代以降に顕著になったコロニー単位の自治権獲得の機運も、このようなコミュニケーションが影響しているといわれている。宇宙空間では電波そのものの

減衰が少なく、パルスコードモジュレーション技術の発達、微弱な電波であっても復元することを可能としてみた。これらの通信網は、さながら旧世紀のパソコン通信におけるような共同体を創出し、その場に発生する匿名性も手伝ってか、次第に大きなネットワークを獲得していった。それは、日常生活の不平不満から軍事的な情報の漏洩まで伴って、市民生活の中に根付いていったらしい。



ウィッグのレジスタンス



セント・ジョセフ市



ハンゲルグ・エヴィン

ミューラ・ミゲル

リガ・ミリティアの活動は、ザンスカル帝国の勃興に前後して活発化した。それに並行して、かつての『アメリカ』を発信源とする情報がザンスカル成立と共に沈黙してしまったという。そして、アメリカを拠点としていた有志は各地に分散し、軍事的な色合いを濃厚にして、再び、そのネットワークに復帰した。

当初の懸案であった地球連邦軍との共闘を実現させたりガ・ミリティアは、最終目標であるザンスカル帝国の崩壊を実現させた。それに伴う犠牲は多くあったが、指導者の動向は不明瞭である。真のジン・ジャハナムであるといわれたハンゲルグ・エヴィンが、対エンジェル・ハイロウ戦で戦死したかどうかは明らかではないのだ。

逆に、ザンスカル帝国の崩壊と同時に、地球連邦軍の主力艦隊が壊滅したとなれば、宇宙戦国時代と呼ばれる状況において、地球圏が平穏のままであるはずはないだろう。もっとも、自治権を主張していた他のコロニーも、マケドニア程度の戦力と主張しか持たないのであれば、戦乱自体が起こる可能性は皆無に等しい。主力艦隊とはいっても、ムバラク將軍率いるジャンヌ・ダルク艦隊は、連邦軍全体の物量からすればわずかなものであるはずだからだ。大規模な艦隊戦が行われたと言っても、ベスバの実働期間は10年そこそこである。所有する艦艇の数からして、その差は歴然と

している。だからこそザンスカル帝国は短期決戦に備え、カイラスグリーやエンジェル・ハイロウという破格の兵器を開発していたのだ。

リガ・ミリティアの活動は、この後どのように変革してゆくのだろうか。目標を失った組織は求心力をなくし、急速に瓦解する。指導者を失った組織が、その形態を豹変させ、組織の維持そのものに埋没してしまった前例は、枚挙にいとまがない。ハンゲルグを失ったリガ・ミリティアは、新たなジン・ジャハナムを擁立するのだろうか。神聖軍事同盟もまた、かつてのエウゴのように、時代の主流に飲み込まれてしまうのだろうか。現時点では、今後の状況のいかなる予想も不可能である。しかし言いようがないだろう。

アンダーフック

アンダーフックとは、宇宙移民の開始に前後して建設されていた海洋都市である。

この都市は、当時の宇宙植民都市の建設技術を確立するプロトタイプとして、また、近隣に在住するエスタブリッシュメントの避難所として建設された。海上にある港湾設備によって外部との接触はある程度保たれているが、基本的には地上の他の地域との没交渉を身上とし、地球上での閉鎖環境（バイオスフィアのように、食料や空気さえも自給自足とする）を作り出すこ



市長代理のビスタン

ともできる。また、海底に敷設された透明チューブによるトンネルによって、各種の施設と連絡しており、生活に必要なあらゆることは、すべて海面下の設備でまかなえる。

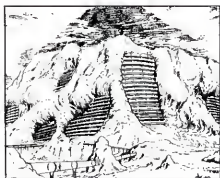
ただし、当初の目的であった、閉鎖空間での都市生活の検証という意義は、宇宙植民都市の建設につれて徐々に失われていき、宇宙移民が普通のこととなった最近では、他の特別区と同様に、ただ地球に居続けるためだけに維持されているような側面があった。それでも、この都市には2万人前後の住民が居住し、一種のユートピア的な都市生活が営まれていたらしい。

この都市に住む人々は（都市である以上、当然のことと

も言えるが）ほとんど世襲的にこの都市の住民となっており、その生活そのものに疑問を抱くことはほとんどなくなっていた。そこにザンスカールの標榜するマリア主義が密かに浸透し、潜在的には、かなり大きな勢力として、この都市を牛耳っている。

これは、この都市が閉鎖環境であるため、外部からの情報が選択しにくく、コロニーに近い環境であるがゆえに、連邦政府の無関心による干渉とザンスカールの工作員による情報操作が功を奏したものと考えられる。また、基本的に居住する環境が海面下であることによる漠然とした危機感が、終末思想などと相乗する形で、マリア主義という救済の思想が受け入れられたという背景もあるようだ。市

長の補佐を務める官吏などを始めとして、この都市を管理する重責にある者ほど、マリア主義を信奉する傾向にあり、一種の携挙待望論が蔓延していた。それがモトラッド艦隊の襲撃によって実現したと考えた勢力が、潜水艦などの脱出設備を占拠して他の住民を遺棄してしまった要因でもあると考えられる。



アンダーフック全景

地球連邦軍

地球連邦軍は、リガ・ミリ

ティアとの共闘を成立させた。

とはいっても、これは連邦政

府の決定によるものではなく、

連邦軍の独自の行動である。

しかも、ハイランドにおい

てリーンホースJr.を始めとし

るリガ・ミリティアと合流し

た連邦軍の主力艦隊は、確か

に連邦軍の主力ではあるが、

すべてではない。

ムバラク・スターン将軍の

指揮する旗艦ジャンヌ・ダル

クのもとに集結した連邦軍の

艦隊は、実質的には連邦軍の



ムバラク・スターン将軍

主流派からは外されていた勢

力だったのだ。逆にムバラク

は、ザンスカール帝国の勃興

以来、何の対抗策も採ろうと

しない連邦政府に見切りをつ

け、独自の行動を起こすこと

にしたのである。

無論、これは連邦軍の将軍

職の権限で可能な範囲の裁量

による作戦行動であり、法的

に問題のない手続きを踏んで

のことであったが、連邦軍の

主流派からは疎まれてしまう

結果を招いた。彼は事実上左

遷されたも同然で、この作戦

に際して必要な情報収集も、

連邦軍の上層部によって意図

的に阻害されているといった

状況もあったらしい。

エンジェル・ハイロウの建造

にしても、連邦軍の諜報機関

自体は、事前にその情報を入

手していたという噂もある。

つまり、ザンスカールとの裏

取引によって、その情報は隠

匿されていたらしいのだ。

しかし、ムバラクの擁する

連邦軍主力艦隊の物量がザン

スカールにとって脅威である

ことには変わりなく、リガ・

ミリティアの勝利は、ジャン

ヌダルクを始めとする戦力の

充実がなければ不可能だった

だろう。さらに言えば、今回

ザンスカールが推進した作戦

の本質は、地球圏にある人類

そのものを変革させようとする

ものだった。連邦政府は事

実上、崩壊の危機に直面して

いたのだが、たとえば、エン

ジェル・ハイロウ情報の隠蔽な

ど、政治的な取引にあたった

連邦の当事者など、そんなこ

のだろう。

ともあれ、宇宙戦国時代が

これで終結するのかどうかは、

この後の状況の推移による。

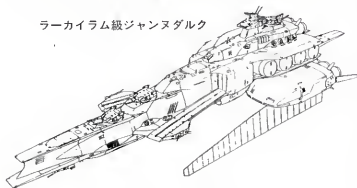
それが宇宙戦国時代を収束さ

せるのか、あるいはさらなる

混乱を招くのか、現時点で判

断することは不可能である。

ラーカイラム級ジャンヌダルク



MS用語事典▼6

マチス・ワーカー隊・リング・サイコミュ

マチス・ワーカー隊

[MATISSE-WORKER Unit]

ザンスカール帝国と地球連邦政府が締結した休戦協定の発効により、地球侵略の橋頭堡であったラゲーン基地は武装解除された。この基地は、主戦場の移動やリガ・ミリティアの拠点の移動などに伴ってザンスカール本国での方針の転換があったため、実質的には数ヶ月前から戦略的な意味を喪失していた。

マチス・ワーカー隊とは、それを潔しとしない兵士や士官たちが結集した部隊で、リ

ガ・ミリティアとの決着をつけるべく、基地から離脱して独自の行動をとっていた。

このラゲーン基地は、本来、地球進攻と並行して、試作MSの開発やトライアルを行っており、当時としては破格の設備が整っており、各地に点在するベスバの地上基地の中でも屈指の稼働率を誇っていた。しかし、欧州を中心に活動していたリガ・ミリティアの部隊が宇宙へ上がってからは、周辺の警備任務以外の作戦行動はなくなり、補給や人員の配属なども、かなりま

ばらとなっていた。そのため、新型の兵装などはほとんど配備されず、彼らは旧式のMSなどを使用するほかなかったのである。

メガビームシールド

[Mega Beam Shield]

リガ・ミリティアが開発した新型シールド。バリアビッツを展開して通常のシールドを遙かに上回る防御能力を発揮する。

リシテア

[RISHITIA]

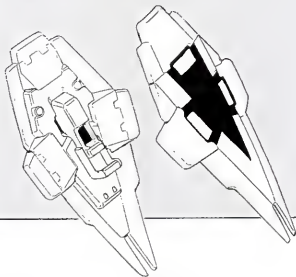
モトラッド艦隊を構成するバイク型の巡洋艦。アドラスティア級の戦艦とほぼ同様の性能を持ち、大気圏突入能力をもっている。

リング・サイコミュ

[RING-PHYCOM]

エンジェルハイロウに装備されるサイコミュシステムの呼称。操縦者の意志や意識の

送受信を行う通常のサイコミュと違い、人の意志や感情そのものを強力に無指向で発振し、強制的にその影響下に置いてしまう。どちらかと言えば、洗脳装置とも呼ぶべきもの。



メガ・ビームシールド

A detailed line art illustration of a Gundam mobile suit, likely a V Gundam, standing in a dynamic pose. The suit is composed of various mechanical parts, including a head with a visor, a torso with a large circular dial, and limbs with articulated joints. The background is dark, making the white line art stand out.

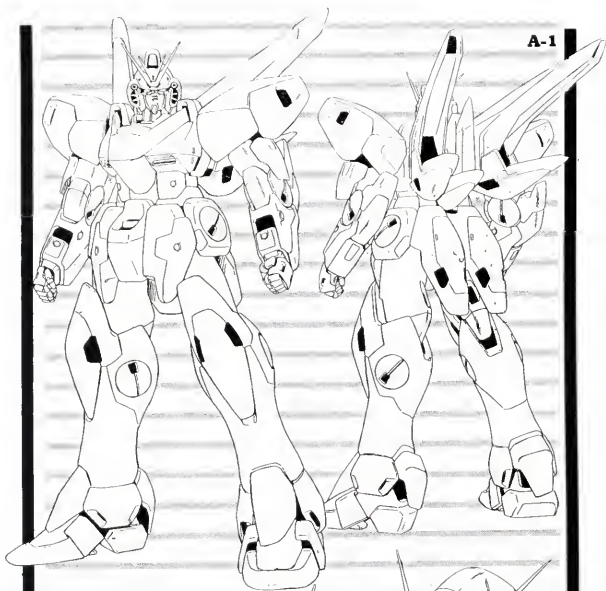
MS DESIGN COLLECTION

MS設定資料集

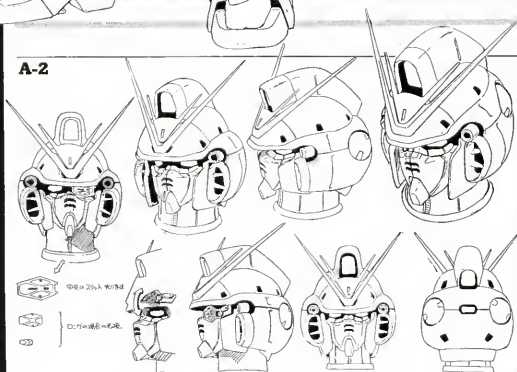
ここからは「機動戦士Vガンダム」の中盤
から後半までに登場したメカニック、キャラ
クターを網羅する。クライマックスに向けて
活躍したキャラクター、メカニックを再確認
しよう。



A-1



A-2



V 2 ガンダム

V2 GUNDAM

LM314V21

V2 GUNDAM 16×21頭頂高: 15.5 m
 本体重量: 11.5 t 全備重量: 15.9 t 装
 甲材質: ガンダリウム合金スーパーセラミック
 複合材 ジェネレーター出力: 7510 kW 主
 推進機: ミノフスキードライブ2基 サブス
 ラスター推力: 16700kg×2, 4770kg×7 ア
 ポジモーター数: 42 武装: 頭部バルカン砲×
 2 ビームサーベル×2 (2) ビームシ
 ールド×2 マルチプルランチャー付ビームラ
 イフル×1 ハードポイント×10

リガ・ミリティアの新たなシンボ
 ルとして開発されたこの機体は、こ
 の時点に置いてもっとも完成された
 機体である。その最大の特徴として
 挙げられるのが、実戦型MSとして
 は初めて搭載されたミノフスキード
 ライブである。

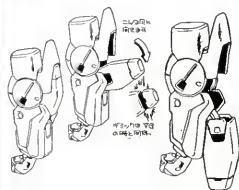
ミノフスキードライブは浮揚シス
 テムとしてはもちろん、メインスラ
 スター、アポジモーター、さらには
 慣性緩和装置の役割も同時に果たし
 ている。

機体はLM312V04 (Vガンダム)
 と同じシステムを採用し、コアファ
 イター、トップリム、ボトムリムの
 3パーツで構成される。またV2は
 長距離での精密射撃を可能とするた
 めに、左目に照準ディバイスを装着
 する。

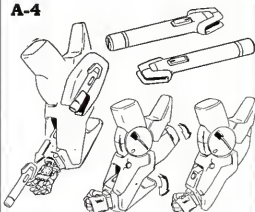
- A-1 フロント・ビュー リア・ビュー
- A-2 頭部
- A-3 ビームシールドの展開
- A-4 ビームサーベルの取り出し
- A-5 脚部変形ギミック
- A-6 ビームライフル
- A-7 ビームライフル(大型ランチャー付)

MECHANIC DATA

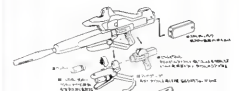
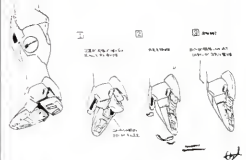
A-3



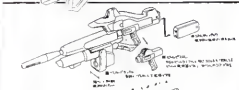
A-4



A-5

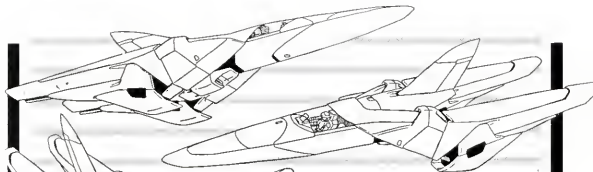


A-6



A-7

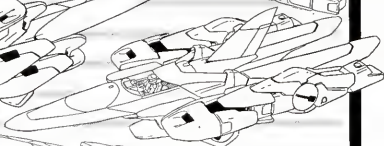
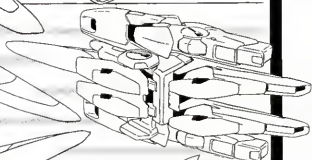
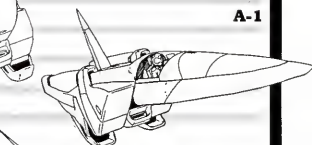




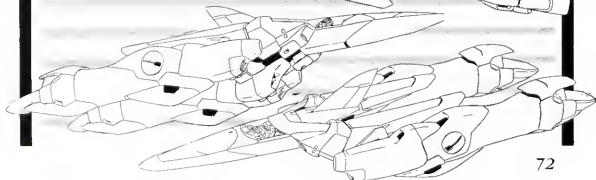
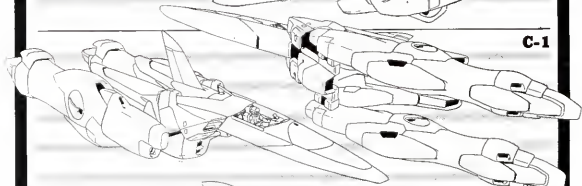
A-1



B-1



C-1



V2 コアファイター V2 CORE FIGHTER

全長：17.5 m ジェネレーター出力：7510
kW 主推進機：ミノフスキードライブ2基 ス
ラスター推力：4770×2 武装：バルカン
砲×2

機体の核を成す戦闘機で、V2 ガ
ンダムの最大の特徴といえる「ミノ
フスキードライブ」そのシステムそ
のもののといっても過言でない超高速
機動戦闘機。

V2 トップファイター V2 TOP FIGHTER

全長：17.5 m ジェネレーター出力：7510
kW 主推進機：ミノフスキードライブ2基 ス
ラスター推力：4770kg×2 武装：バルカン
砲×2 ビームサーベル×2 (2) ビーム
シールド×2 ハードポイント×6

コアファイターと、上半身を構成
するトップリムとの合体によって完
成する重戦闘機。

V2 ボトムファイター V2 BOTTOM FIGHTER

全長：21.2 m ジェネレーター出力：7510
kW 主推進機：ミノフスキードライブ2基 ス
ラスター推力：4770kg×7 武装：バルカン
砲×2 ハードポイント×4

コアファイターと、下半身を構成
するボトムリムとの合体によって完
成する重攻撃機。

A-1 V2 コアファイター

A-2 変形パターン

B-1 V2 トップファイター

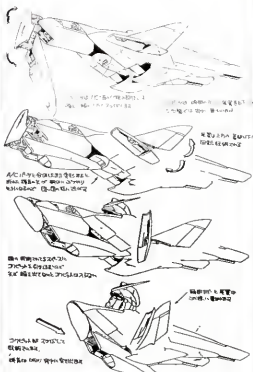
B-2 変形パターン

C-1 V2 ボトムファイター

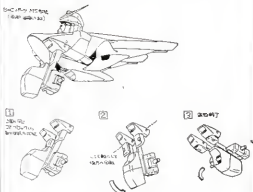
C-2 変形パターン

MECHANIC DATA

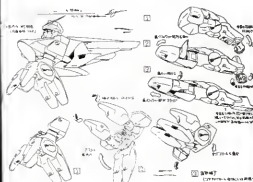
A-2



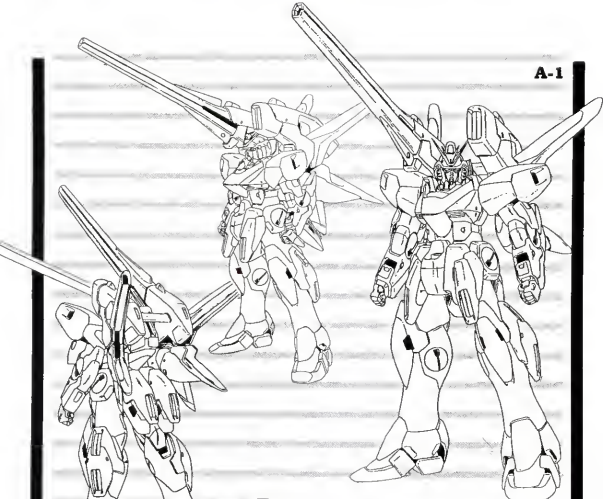
B-2



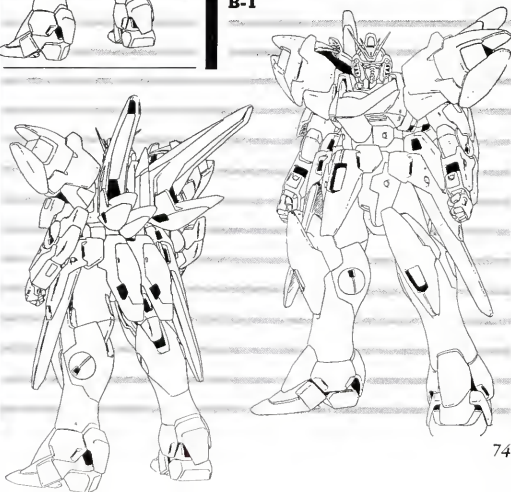
C-2



A-1



B-1



V2 バスターガンダム V2 BUSTER GUNDAM LM314V23

頭頂高：15.5 m 本体重量：13.8 t 全備重量：19.9 t 装甲材質：ガンダリウム合金
スーパーセラミック複合材 主推進機：ミノフスキードライブ2基 サブスラスタースタ推力：16700kg×2, 4770kg×7 アポジモーター数：46 武装：頭部バルカン砲×2 ビームサーベル×2(2) ビームシールド×2 メガビームキャノン×1 スプレービームポッド×1 マイクロミサイルポッド×6 ハードポイント×8

V2ガンダムの重武装型強化バリエーション。メガビームキャノンとスプレービームポッドを装備し、装甲各所にマイクロミサイルポッドをマウントしている。

V2 アサルトガンダム V2 ASSAULT GUNDAM LM314V24

頭頂高：15.5 m 本体重量：12.3 t 全備重量：19.1 t 装甲材質：ガンダリウム合金
スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力：7510 kW 主推進機：ミノフスキードライブ2基 サブスラスタースタ推力：16700kg×2, 4770kg×7 アポジモーター数：46 武装：頭部バルカン砲×2 ビームサーベル×2(2) ビームシールド×2 メガビームライフル×1 メガビームシールド×1 ヴェスパー×2 フィールド発生器×2 ハードポイント×10

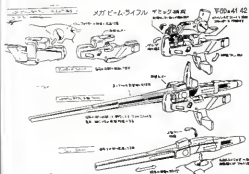
V2ガンダムの強化バリエーションのひとつ。1フィールド発生装置などの装備によりほぼ完璧な防御力を誇る。また、ヴェスパーなど攻撃力にも重点がおかれている。

- A-1** V2バスターガンダム
B-1 V2アサルトガンダム
B-2 フル装備状態
B-3 メガ・ビームライフル
B-4 メガ・ビームシールド

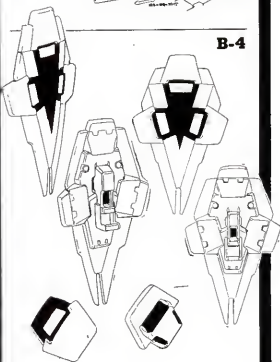


B-2

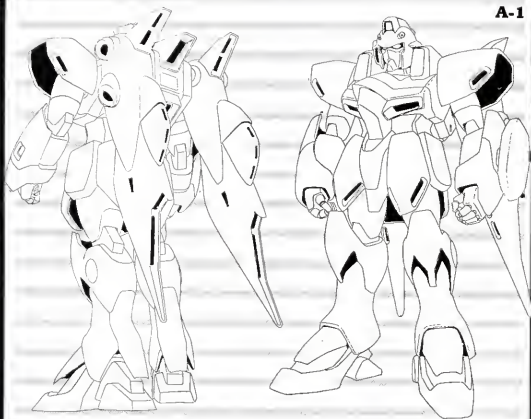
B-3



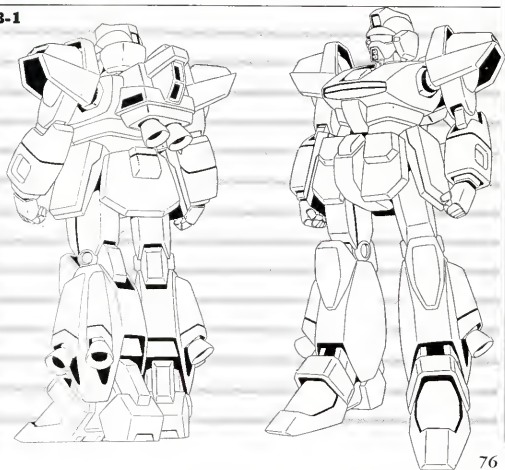
B-4



A-1



B-1



ガンブラスター GUN BURSTER

LM111E03

頭頂高: 14.9 m 本体重量: 7.6 t 全備重量: 21.3 t 装甲材質: ガンダリウム合金
スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力: 4820 kW スラスター推力: 20180kg, 18630kg × 15520kg × 2, 10870kg × 2 アポジモーター数: 47 武装: 頭部バルカン砲 × 2
ビームサーベル × 1 ビームシールド × 1 2連マルチランチャー × 1 ビームライフル × 1 ビームバズーカ × 1

この機体はリガ・ミリティアが開発した汎用MS、ガンイージを宇宙用に強化した機体である。ガンイージの基本性能に加え機動性、航続距離を強化するバックパックの装備により、宇宙空間用に開発されたMSに十二分に対抗できるようになった。

ヘビーガン(マケドニア仕様) HEAVY-GUN

RGM-109-M5

頭頂高: 15.6 m 本体重量: 8.3 t 全備重量: 22.3 t 装甲材質: ガンダリウム合金
ジェネレーター出力: 3075 kW スラスター推力: 21110kg × 2, 10050kg × 4 アポジモーター数: 20 武装: ビームサーベル × 1 ビームライフル × 1

スペースコロニー「マケドニア」で使用しているMS。UC100年代初期に始まった「MSの小型化計画」において量産性、標準性能、コストダウンという意味の上で製作された最初の機体。

A-1 ガンブラスター

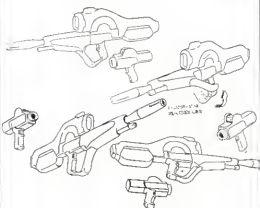
B-1 ヘビーガン

A-2 ビームライフル

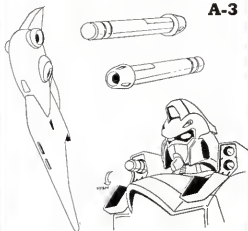
A-3 ビームサーベルとブースター

A-4 フル装備状態

A-2



A-3

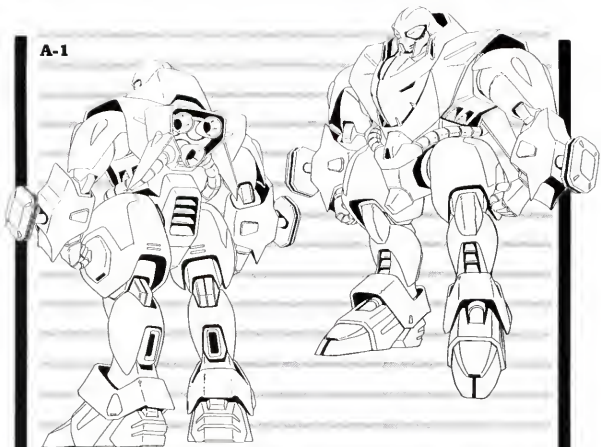


A-4

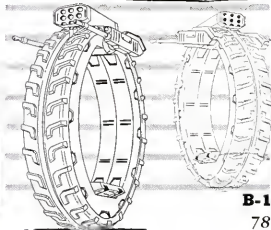
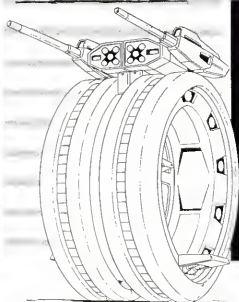
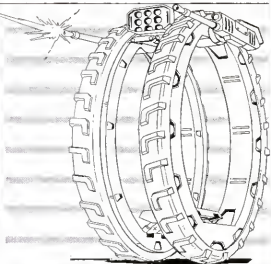
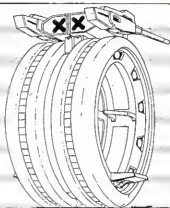


MECHANIC DATA

A-1



C-1



B-1

78

ゲ ド ラ フ GEDLAV

ZM-S24G

頭頂高：13.8 m 本体重量：6.9 t 全備重量：17.4 t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5440 kW スラスター推力：12250kg×3, 12080kg×2 アポジモーター数：31 武装：ビームサーベル×2 ビームシールド×2 ビームライフル×1

モトラッド艦隊などに配属された量産型MS。アインラッド使用を前提に設計された機体で、他の平均的なMSよりもさらに小型になっている。機動力や防御能力のかなりの部分をアインラッドに依存しているため、若干の問題点も持っている。

ア イン ラ ッ ド EINE RAD

ベスパが独自に開発したMSのサポートマシン。MSからの遠隔操作によって操作する。搭乗することによって機動性、防御力が飛躍的に向上する。

ツ イン ラ ッ ド TWIN RAD

アインラッドの改良型。海上の走行も可能となり、2機のMSを搭載できるようになった。また、分離が可能であり、2機のMSは独自に行動できる。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

B-1 フロント・ビュー リア・ビュー

C-1 フロント・ビュー リア・ビュー

A-2 ビームサーベルとビームライフル

B-2 ビームシールドとビームキャノン

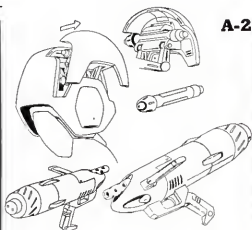
C-2 武装・ビームキャノン

C-3 分離状態

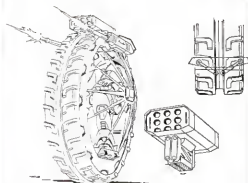
MECHANIC DATA

79 A:ゲドラフ B:アインラッド C:ツインラッド

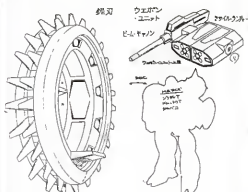
A-2



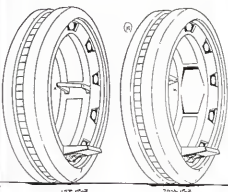
B-2



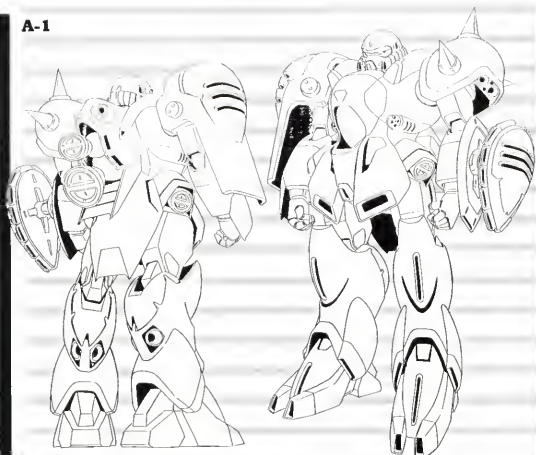
C-2



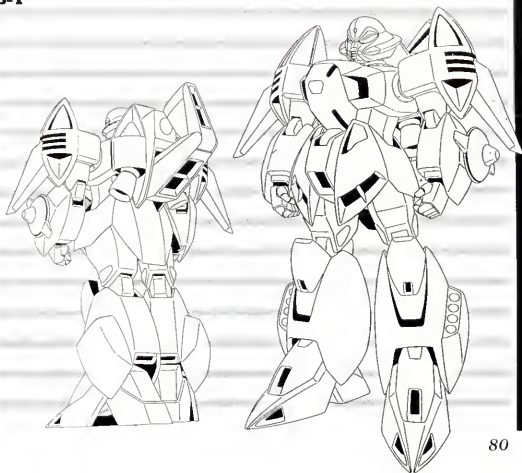
C-3



A-1



B-1



ゾリディア ZOLLIDIA

ZM-S06G

頭頂高：14.7 m 本体重量：9.8 t 全備重量：20.9 t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5440 kW スラスター推力：60800kg×1, 20170g×1 アポジモーター数：35 武装：ビームサーベル×2 ビームシールド×1 ビームライフル×1 ハードポイント×2

ゾロアットを地上用に換装した機体。デュアルセンサーを1ブロック方式の大型のものに改装している。それに伴い電子兵装の冷却用ダクトも大型化されている。モトラッド艦隊に配備され、アインラッドを駆り有効な戦法を駆使する。

ドムットリア DOMUTTIA

ZM-S27G

頭頂高：14.8 m 本体重量：8.2 t 全備重量：19.9 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5960 kW スラスター推力：11370kg×2, 10540kg×2, 8000kg×4 アポジモーター数：31 武装：頭部ショックバイト×2 ビームトマホーク×2 ビームローター×1 ビームライフル×1 4連マルチボッド×2

モトラッド艦隊の地上侵攻作戦に合せ、MSトムリアットを改修した機体。機体背部のバーニアが可動式になり、ヘリ状態でより安定した飛行が可能となった。また、頭部に接近格闘戦用のショックバイトを装備している。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

B-1 フロント・ビュー リア・ビュー

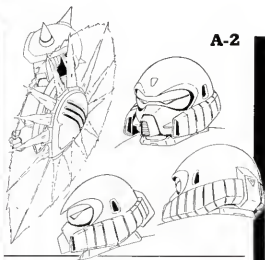
A-2 頭部とビームシールド

B-2 ヘリ形態

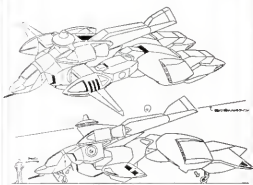
B-3 頭部とショックバイト

MECHANIC DATA

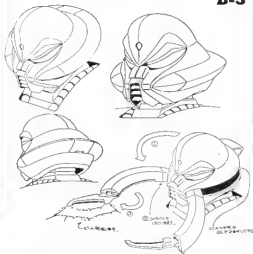
A-2



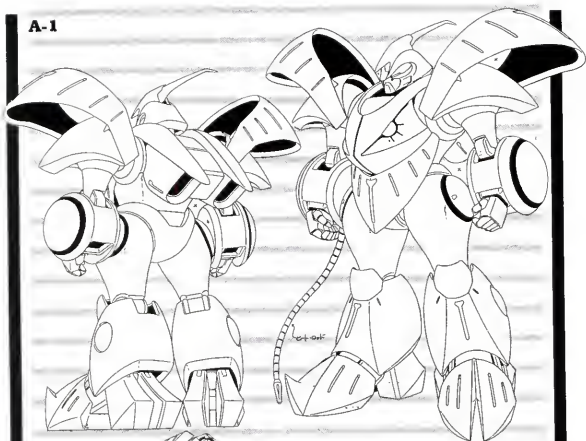
B-2



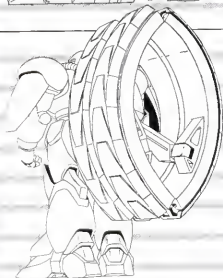
B-3



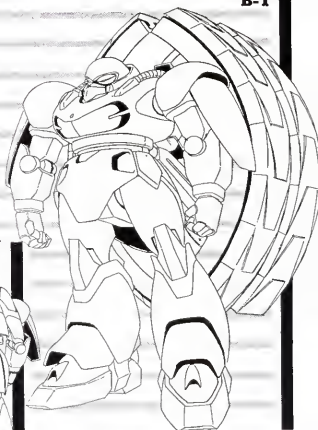
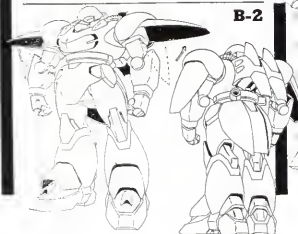
A-1



B-1



B-2



ジャバコ

ZM-S20S

頭頂高：15.7 m 本体重量：9.9 t 全備重量：18.2 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：4990 kW スラスター推力：37460kg×2, アポジモーター数：28 武装：ヒートロッド×2 ビームサーベル×2 ビームシールド×2 ビームライフル×1 ハードポイント×2

接近格闘戦を重視され設計された量産型MS。コンティオの基本設計コンセプトを踏襲しているため、コクビットへのエントランスは背部にある。腕部にはヒートロッドを装備している。

ブルッケング

ZM-S21G

頭頂高：14.1 m 本体重量：13.9 t 全備重量：25.1 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5570 kW スラスター推力：27040kg×2, アポジモーター数：15 武装：ビームサーベル2 ビームライフル×1 アインラッド×1 ビームシールド×2 (アインラッドに機能あり) ハードポイント×2

機動性と防御力を向上させるサポートメカ、アインラッドを携行するMS。通常は折り畳まれ背部に装備されており必要に応じて展開する。また、アインラッド基部のバーニアを強化した宇宙用タイプも存在する。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

B-1 フロント・ビュー リア・ビュー

A-2 頭部

A-3 ビームライフル

B-2 アインラッド未装備状態

B-3 アインラッドの展開

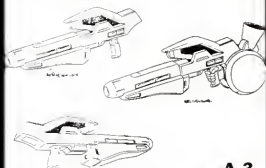
B-4 ビームライフル

B-5 ミサイルポッド

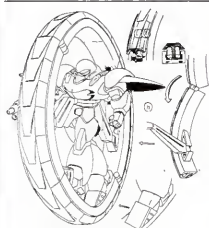
MECHANIC DATA



A-2



A-3



B-3



B-4



B-5

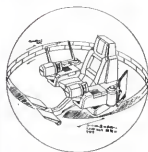


A-3

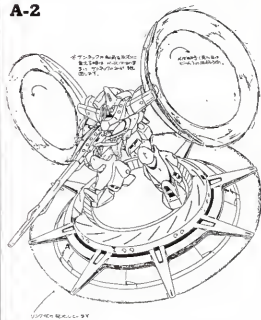
A-2



A-4

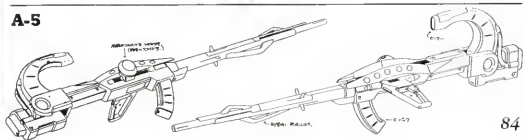


コックピット
（パイロット席）



スラスター（推進器）

A-5



ザンネック ZANNECK

ZMT-S29

頭頂高：19.4 m 本体重量：16.7 t 全備重量：38.2 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5570 kW スラスター推力：41060kg×2, 30780kg×2, 10270kg×2 アポジモーター数：52 武装：胸部ミサイルランチャー メガビームキャノン×1 ビームサーベル×2 ビームシールド×2 ハードポイント×2

長距離射程の強力な荷粒子砲、ザンネックキャノンと、それを稼働させるための巨大な粒子加速機を2基装備した独特なシルエットをもつ試作MS。ファラの専用機になっている。ザンネックベースというサブフライトシステムによって、高々度を長時間行動することができ、さらにユニット自体は下面にビームシールドを装備しているため、通常の大空兵器では迎撃することができない。

粒子加速基は通常背部にあり、使用時に肩部へと移動する。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

A-2 粒子加速機使用状態

A-3 頭部

A-4 コクピット

A-5 ザンネックキャノン

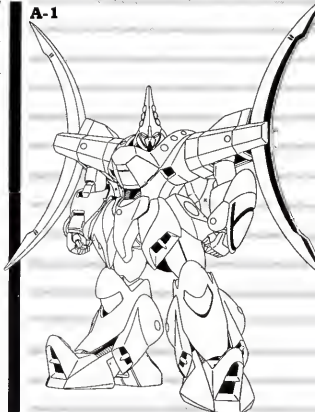
A-6 ザンネックベース

A-7 胸部ミサイルポッドと粒子加速機

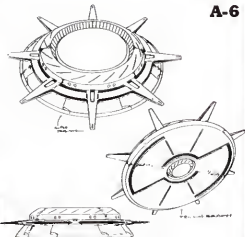
A-8 コクピットハッチ開閉図

MECHANIC DATA

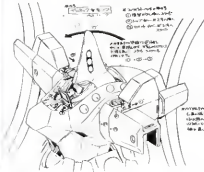
A-1



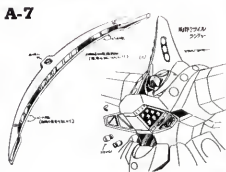
A-6



A-8



A-7



ドッゴラ

DOGGORLA

ZM-A31S

全長: 369.3 m 本体重量: 51.9 t 全備重量: 146.3 t 装甲材質: ハイチタン合金
ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力: 5960 kW × 2 スラスター推力: 54960 kg × 6, 20170 kg × 10, 8500 kg × 2 アポジモーター数: 1696 武装: ビーム砲 × 10 ミサイルランチャー × 2 腕部ビームガン × 2 テールビームガン × 2

全長370mに及ぶ巨大なMA。あたかも竜のような形状をしており、テールラッドと呼ばれる胴体部のコンテナは、それぞれが独自の機動装備を持つ。そのため、ひとつやふたつの部品が破損しても全体的な戦闘能力はほとんど低下しない。またテールラッドの先端にはビームガンが装備されている。

ビルケナウ

BIRKNAU

ZMT-A30S

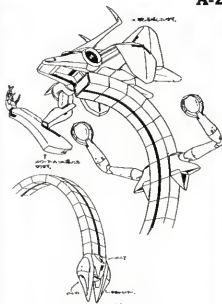
全長: 22.3 m 本体重量: 25.9 t 全備重量: 45.3 t 装甲材質: ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力: 5960 kW × 2 スラスター推力: 17800 kg × 6, 12250 kg × 7, アポジモーター数: 28 武装: メガ粒子砲 × 2 メガマシンキャノン × 2 クローアーム × 4 ハードポイント × 8

接近戦をも想定されて開発された試作MA。遠距離ではメガ粒子砲、メガマシンキャノンで敵を攻撃し、接近時には翼の先端に装備されたクローアームで迎撃する。

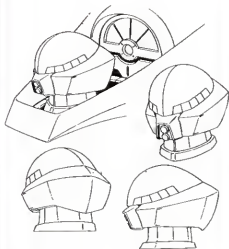
- A-1** フロント・ビュー リア・ビュー
B-1 フロント・ビュー サイド・ビュー
A-2 下面とテールラッド
A-3 頭部
A-4 胴体構成パーツ

MECHANIC DATA

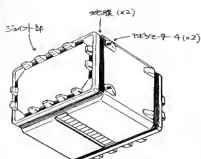
A-2



A-3

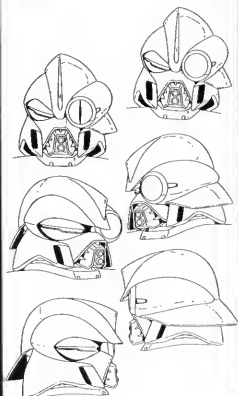


A-4



※テールラッドはこのパーツで連結されています。

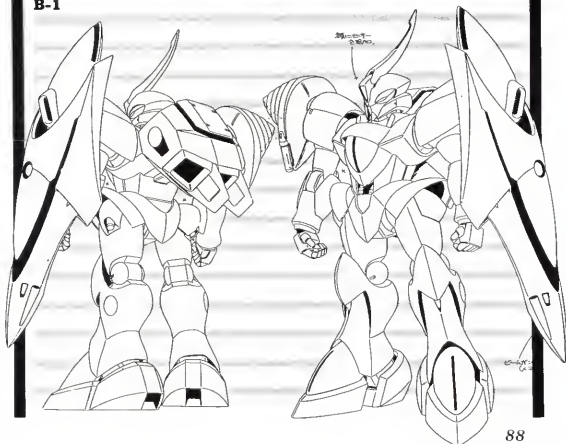
A-2



A-1



B-1



ゾロカイ

ZM-S08G

カサレリア付近でウッソたちが接触したベスバのパイロット、マチス・ワーカーが使用していた機体。地上用量産MSゾロを部分改修した機体。基本性能はゾロとかわらないが、頭部のセンサーを換装している。

リグ・シャッコー（近衛師団用）

RIG-SHOCKEY

ZM-S22G

ザンスカール本国の近衛師団などが使用しているリグ・シャッコーのカスタム機。ビームガン内蔵の大型盾を左肩に、接近戦用の格闘兵器メタルウィップを右肩に装備している。機動性、運動性も多少ノーマルのリグ・シャッコーよりは向上しており、えりすぐられた近衛師団員たちが使用することによって、最新型に匹敵する能力を発揮する。

A-1 フロント・ビュー

A-2 頭部

B-1 フロント・ビュー リア・ビュー

B-2 大型盾

B-3 メタルウィップ

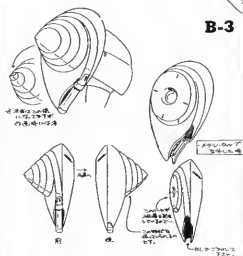
B-4 胸部コクピット

MECHANIC DATA

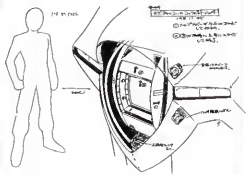
B-2



B-3



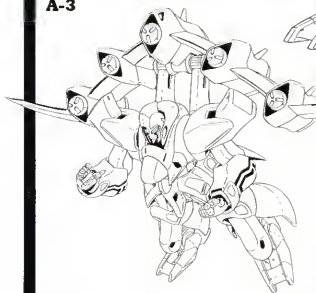
B-4



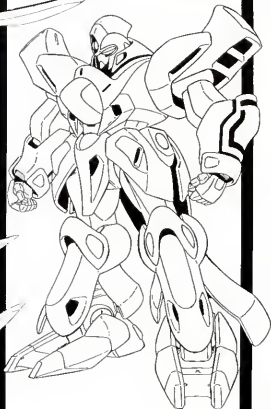
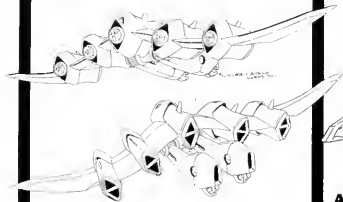
A-1



A-3



A-4



A-2

ゲンガオゾ GENGAOZO

ZMT-S28S

頭頂高：17.3 m 本体重量：14.3 t 全備重量：35.9 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：6310 kW スラスター推力：41990kg×2, 17800kg×1, 12250kg×4 アポジモーター数：40 武装：ビームメイス×2 ビームシールド×2 ビームライフル×1 マルチプルビームランチャー×5

ベスパの試作MS。5門のマルチプル・ビームランチャーをもつバックバックユニットを装備している。このバックバックユニットは、遠隔操作が可能であたかもビット兵器のように母機(MS本体)と連係し敵を翻弄する。パイロットは“強化”されており、ゲンガオゾはサイコミュー装備の機体という説もある。

携行しているビームサーベルは、サーベル状態とメイス状態の2種類の形態をとることが可能で、戦闘の状況によって使い分けることにより高い効果を発揮する。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

A-2 バックバックユニット未装備状態

A-3 飛行形態

A-4 バックエンジンユニット

A-5 頭部

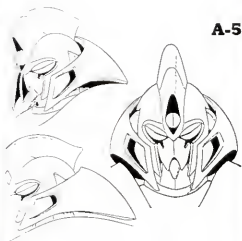
A-6 ビームライフル

A-7 ビームサーベル

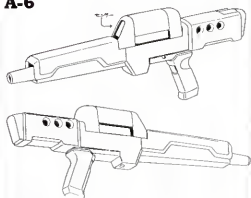
A-8 コックピット・ハッチ

MECHANIC DATA

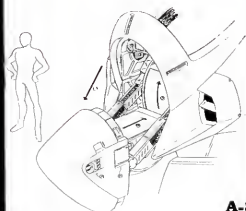
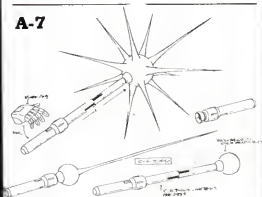
A-5



A-6

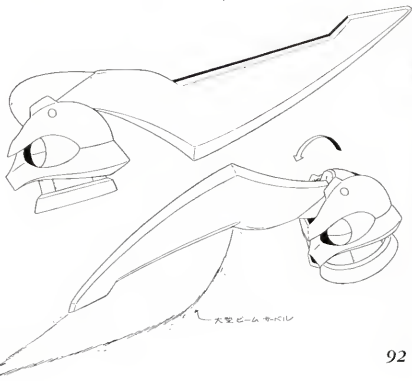
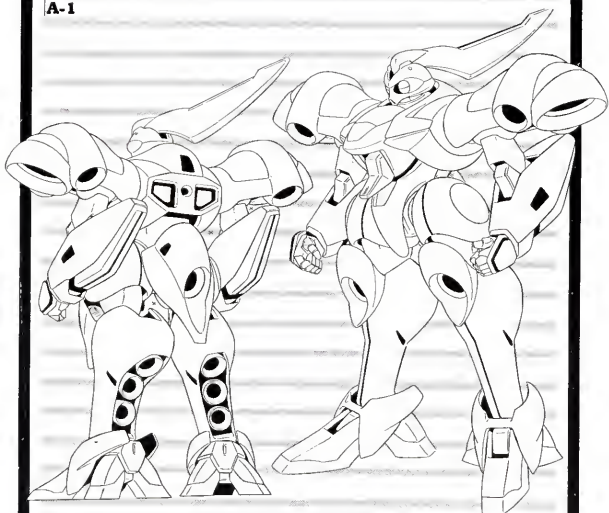


A-7



A-8

A-1



大空ビーム サバール

A-2

ゴトラタン GOTTRLATAN

ZMT-S33S

頭頂高：15.9 m 本体重量：11.1 t 全備重量：24.9 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：6170 kW スラスター推力：10270kg×2, 7770kg×5, 5370kg×8 アポジモーター数：17
武装：ビームカッター ビームトンファー×2 ビームシールド×2 メガビームキャノン 6連マイクロミサイルポッド×2 ハードポイント×2

専用のジェネレーターを内蔵する大型のメガビームキャノンの運用を前提に、開発された試作MS。機体そのものに装備されている内蔵武装は接近戦用のものがほとんどで、キャノン砲を使用しないときは、キャノン砲ユニットそのものを背部に折り畳んでしまい白兵、格闘戦において支障がでないような設計になっている。

白兵戦時には、両腕に装備されている特殊兵器ビームトンファーを使用する。また、頭部には相手の虚を突く兵器、ビームカッターが装備されている。

A-1 フロント・ビュー リア・ビュー

A-2 頭部

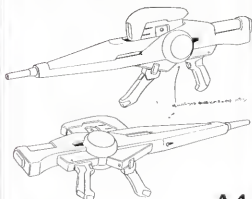
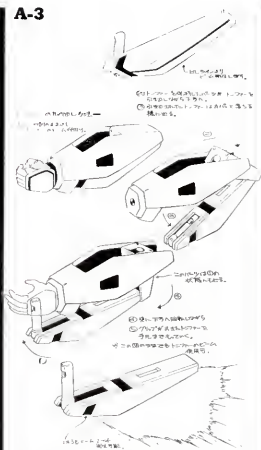
A-3 ビームトンファー

A-4 ビームライフル

A-5 コクピットハッチ

MECHANIC DATA

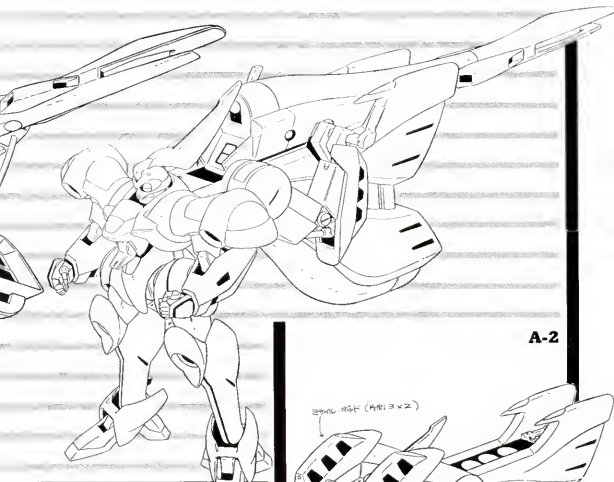
A-3



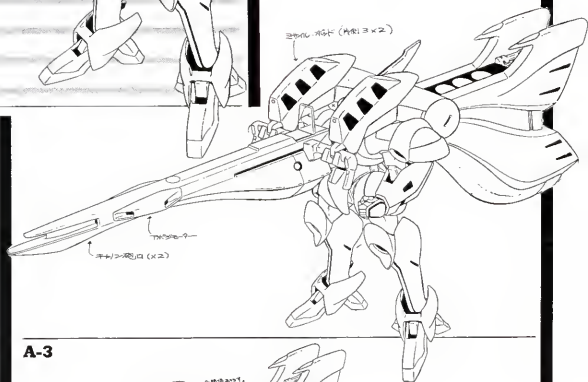
A-4

A-5

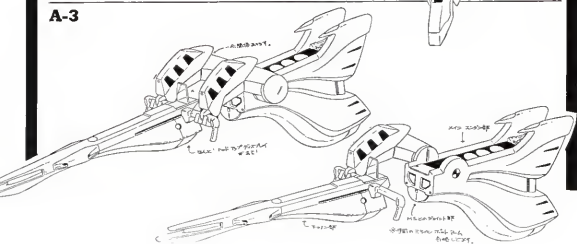




A-2



A-3

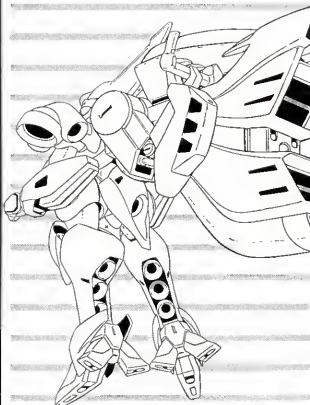


ゴトラタン GOTTRLATAN

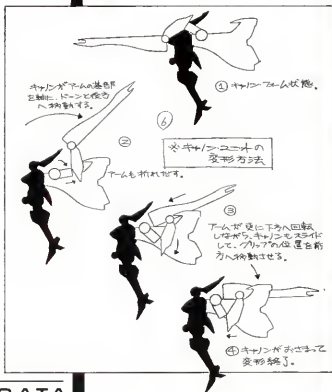
ZMT-S33S

- A-1** メガビームキャノン装備 フロント・ビュウ リア・ビュウ
- A-2** キャノンフォーム状態
- A-2** メガビームキャノン
- A-4** キャノンユニットの変形

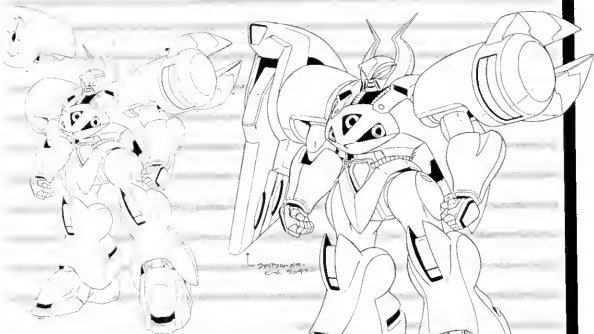
A-1



A-4



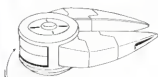
MECHANIC DATA



A-3



この部分の構造は、この部分で
見たような、この部分で
見えます。(この部分で
見えます。)



この部分の構造は、この部分で
見えます。(この部分で
見えます。)

メカニックの構造

① この部分の構造は、この部分で
見えます。(この部分で
見えます。)



この部分の構造は、この部分で
見えます。(この部分で
見えます。)

この部分の構造は、この部分で
見えます。(この部分で
見えます。)



リグ・コンティオ RIG-CONTIO

ZMT-S34S

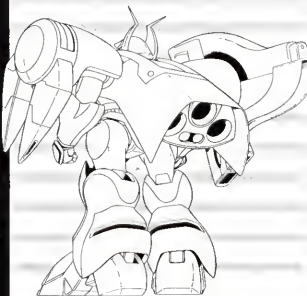
頭高頂：16.3 m 本体重量：10.7 t 全備重量：21.4 t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：6500 kW スラスター推力：32330kg×3 アポジモーター数：24 武装：ビーム内蔵式ショットクロウ×2 胸部ビーム×3 ビームシールド×2 ビームサーベル×2 ヴァリアブルビームランチャー

遠隔戦用の特殊兵器、ショットクロウを装備したベスパの宇宙用MS。コンティオをベースに改良、改修した機体。

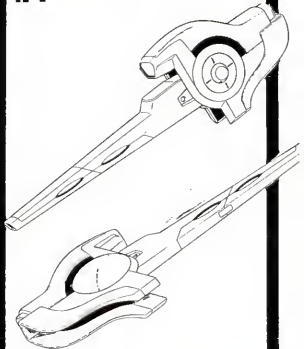
右肩に高火力を擁する折り畳み式のヴァリアブル・メガビームランチャーを装備、左肩には強化型ショットクロウを装備している。ジェネレーター出力、スラスター総推力はコンティオより数段向上している。

エンジェル・ハイロウの宙域においてクロノクルが搭乗し、ウツソの駆るV2ガンダムと最後の死闘を繰り広げる。

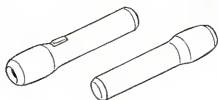
A-1



A-4

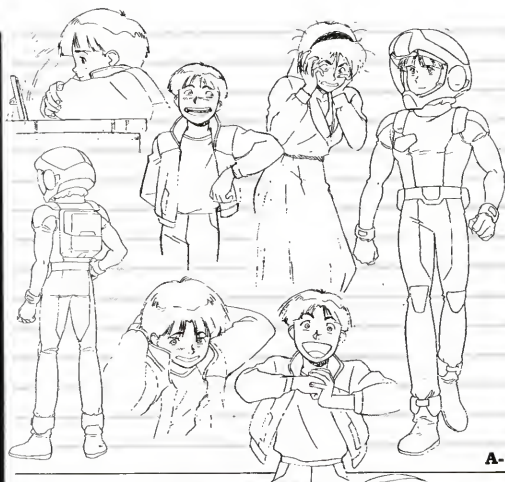


A-5



- A-1** フロント・ビュウ リア・ビュウ
A-2 頭部
A-3 ショット・クロウ
A-4 ヴァリアブル・メガ・ビームランチャー
A-5 ビームサーベル

MECHANIC DATA



A-1



A-3



A-2

ウッソ・エヴィン USO・EWIN

地球のポイントカサレリアに居を構えていた不法居住者の少年。両親は行方不明といわれており、兄妹のように育った少女シャクティとともに親の帰りを待っていた。

母親に幼い頃から教えを受けていたので、フィールドでのサバイバビリティは高いものを持っている。

ベスバとリガ・ミリティアの戦闘に、偶然巻き込まれたことによってモビルスーツのパイロットになったウッソ。当初は戦士としての自覚もなく流されるように戦闘に参加していた。だが、目の前で次々と戦死していくシュラク隊のメンバーや、敵ベスバのパイロットとの接触を通じて真の戦士（パイロット）へと目覚めていく。

また、戦いのさなかに探し求めていた母ミューラ、父ハンゲルグとも出会う。しかし、父はリガ・ミリティアの要人、母も諜報活動を行っているという現状に、戦争によって引き裂かれた家族の絆に苦悩するシーンも……。

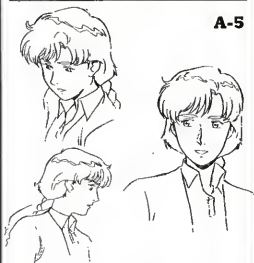
- A-1** ウッソ・エヴィン
- A-2** 作業服姿（変装）
- A-3** バラフライダー使用時姿
- A-4** 幼少時のウッソと母親ミューラ
- A-5** ミューラ表情
- A-6** ウッソ表情

CHARACTER DATA

A-4



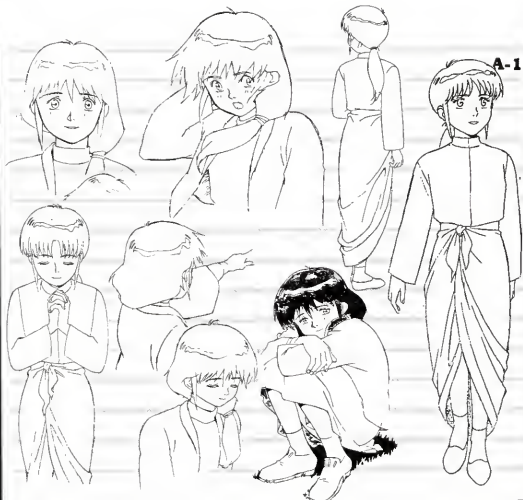
A-5



A-6



A-1



A-3



A-2

シャクティ・カリン SHAKTI・ KAREEN

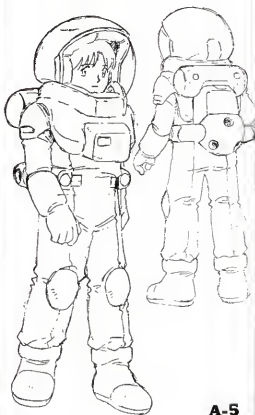
ウツソとともにカサレリアで暮していた少女。家をでていってしまった母親の帰りを心待ちにしている。そのため、ウツソがリガ・ミリティアに加わることも、カサレリアの地を離れることを快く思っていなかった。当初は消極的だった彼女も、カルルという幼き命を守るという使命感と、ウツソが宇宙へ旅立つという事実をきっかけに、戦争に身を投じていくことになる。

敵兵クロノクルとの接触で、自分の出自がザンスカール帝国女王マリアの実子であることを知ると、戦争を終結させるために自ら帝国軍へと進んでいくことも。

帝国ではカガチやタシロといった輩の野心のための道具としてあつかわれるが、平和を祈るその清らかな心が次第に戦争を終結へと導いていくことになる。



A-4



- A-1 シャクティ・カリン
- A-2 パジャマ姿
- A-3 髪どめ (ゴム)
- A-4 最終話でのコスチューム
- A-5 ノーマルスーツ

CHARACTER DATA

A-5

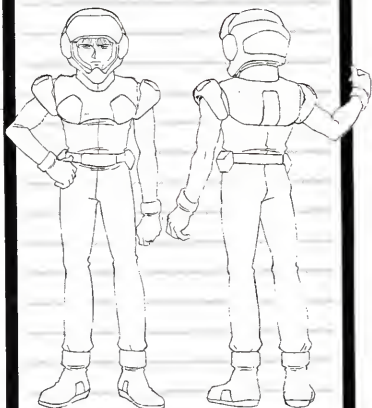
A-2

A-1



B-2

B-1



カテジナ・ルース KATEJINA L O O S

クロノクルに連れられザンスカー
ルへと身を投じたカテジナは、マリ
ア主義に賛同するとともにクロノク
ルに対しても次第に惹かれていった。
汚れきった地球を浄化するという大
義名文のもと、クロノクルやルベ・
シノのもとでパイロットの訓練を受
けたカテジナは、めきめきと頭角を
あらわしベスパの新型MSを駆って
ウツソのV2の前にたちはだかる。

クロノクル・アシャー CRONICLE ASHER

女王の弟という立場から周囲に疎
まれがちだったクロノクルも、地上
での汚名を晴らし、宇宙へ戻ってい
った。帰国後は、連れ帰ったカテジ
ナに教育を施しながらも、軍内部で
の地歩をかためていていた。

その後、シャクティを連れ戻った
功績もあってモトラッド艦隊の司令
についたクロノクルは地球浄化作戦
を実行するために再び地球へと侵攻
してくる。

- A-1** ノーマルスーツ姿
- A-2** アンダーフックのコスチューム
- A-3** 最終話でのコスチューム
- B-1** ノーマルスーツ姿
- B-2** 頭部
- B-3** スーツ姿

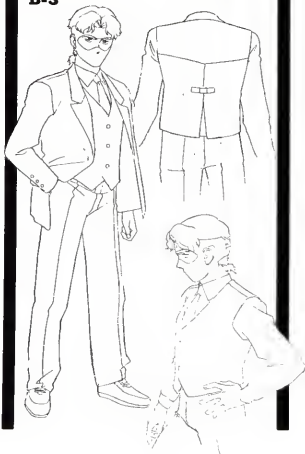
CHARACTER DATA

103

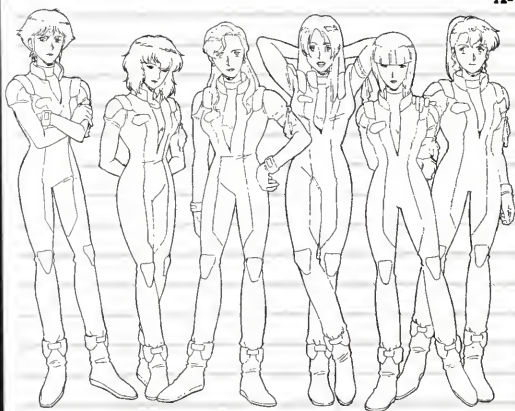
A-3



B-3

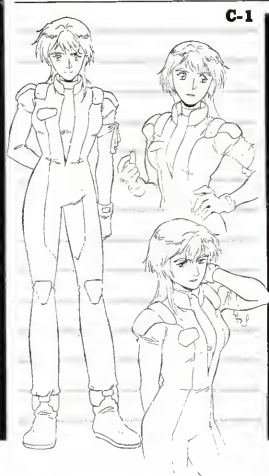


A-1



C-1

B-1



シュラク隊 SHRIKS

カミオン隊に途中から加わった女性だけのMS部隊。激しい戦いの中で一人、また一人と戦死していき、戦いの非情さをウツソに認識させていく。

ユカ・マイラス JUCA MEILASCH

ジュンコら主要メンバーの戦死によって戦力が低下したシュラク隊にあって、旧メンバーの生き残りのコニーとともに孤軍奮闘している女性パイロット。

フランチェスカ・オハラ FRANCESCA OHARA

戦力ダウンしたシュラク隊に加わった補充人員パイロット。Vガンダムに乗りウツソをサポートした。

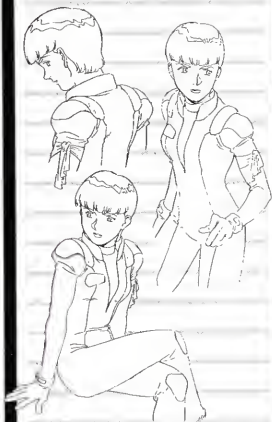
ミリエラ・カタン MILLIERA KATAN

ベスパとの最終決戦を前にして、フランチェスカと同じく途中からシュラク隊に加わった女性パイロット。

- A-1** 旧シュラク隊
B-1 ユカ・マイラス
C-1 フランチェスカ・オハラ
D-1 ミリエラ・カタン

CHARACTER DATA

D-1



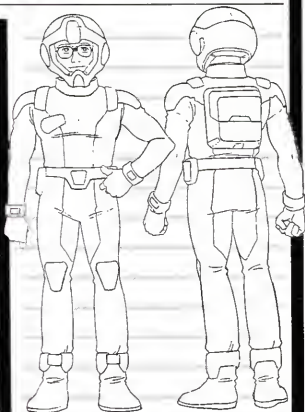
A-2



A-1



B-2



B-1

マーベット・フィンガーハット MARBET FINGERHAT

Vガンダムのテストパイロットとしてカミオンに搭乗していたリガ・ミリティアのパイロット。だが、その資質を認めウッソにVガンダムのパイロットの座を譲り、戦闘班の指揮官的位置についた。

戦闘に不慣れなウッソのよき先輩であり、戦士としての心構えなどを諭していく。

途中、婚約者のオリファ率いるシュラク隊と一悶着あったが、オリファ戦死後、彼の意志を継ぎ部隊をまとめていく。

オリファ・イノエ OLIVER INOE

シュラク隊を率いるリーダー。マーベットの婚約者で、2機目のコアファイターを持ってカミオン隊に合流した。カミオン隊唯一の男性パイロット（大人の）で、ウッソのよき手本的存在でもあった。

ときには対立するジュンコとマーベットの間に立って板挟みになるシーンもあったオリファだが、シュラク隊のメンバーが一人また一人と散っていくなか、自らもモトラッド艦に特攻をかけ戦死した。

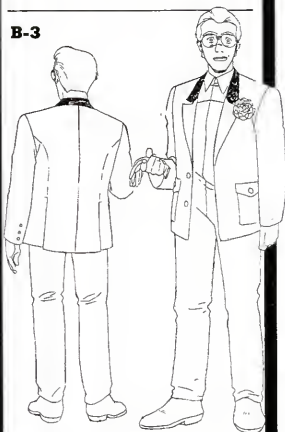
- A-1** ノーマルスーツ
A-2 ウエディングドレス姿
A-3 最終話でのコスチューム
B-1 ノーマルスーツ
B-2 頭部
B-3 タキシード姿

CHARACTER DATA

A-3



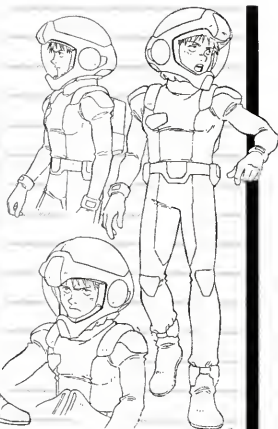
B-3



A-3



A-2



A-1

B-2



B-1

オデロ・ヘンリーク ODELO HENRIK

カミオンに転がり込んだ3人組の年長者で、ホワイトアークに乗り込んだ少年少女のリーダー格的存在。

ウッソに影響されトマーシュとともにMSに乗り込むようになる。

スー・ジィ・リレーン SUZY RELANE

3人組のなかで最年少の少女。明るく快活な性格で、シャクティとともにザンスカール本国へと連れさられたことも。

ウォレン・トレイス WARREN TRACE

オデロの弟分的存在。消極的な性格だが、ハイランドで出会ったマルチナに惹かれ、彼女の気を引こうと積極的な行動にでるようになる。

カルルマン・ドゥカートウス KARLMANN DUKARTUSE

ウーイッグで母親を失って以来、シャクティに育てられてきた。最終話ではついに立ち上がるまでに成長する。

- A-1** ノーマルスーツ
- A-2** 作業服
- A-3** 頭部
- B-1** 頭部とアクション
- B-2** 最終話でのコスチューム
- C-1** ウォレン・トレイス
- D-1** カルルマン・ドゥカートウス

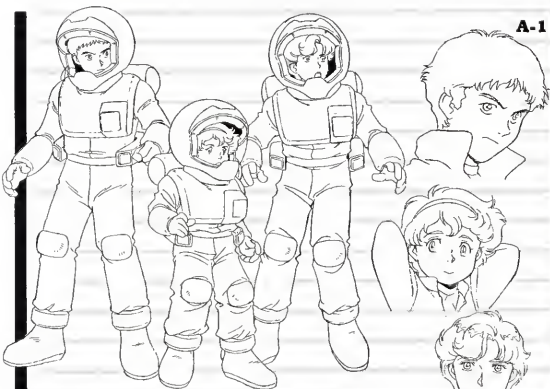
CHARACTER DATA

C-1



D-1

A-1

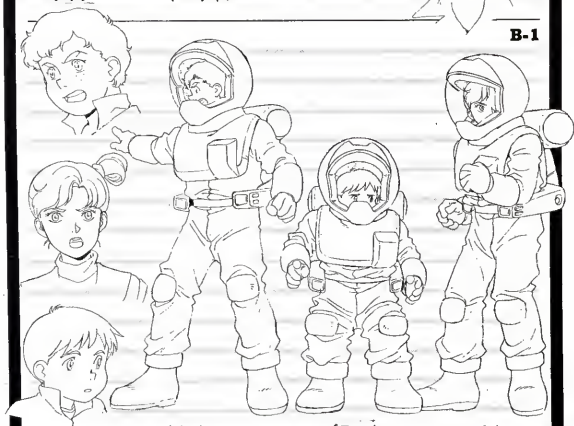


トマーシュ・
マサリク

ソフィア・
イエリネス

エリシャ・
克蘭スキー

B-1



カレル・
マサリク

ブラスタ・
イエリネス

マルチナ・
克蘭スキー

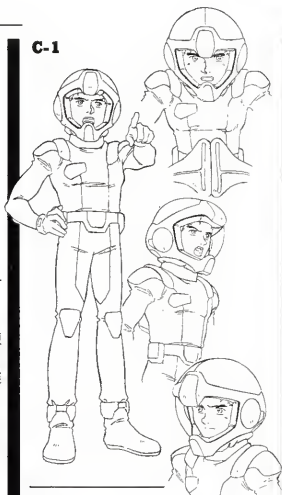
宇宙家族の子供たち HILAND'S FAMILY

- TOMACHE MASSARIK
- KARREL MASSARIK
- ELISCHE KRANSKI
- MARTINA KRANSKI
- SOPHIA JELLINES
- BRASTA JELLINES

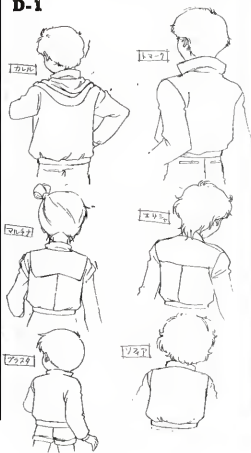
ハイランドからリガ・ミリティアにころがりこんだ子供たちも、戦争を通して成長していった。

最年長のトマーシュはオデロとともにMSのパイロットとしての訓練を受け、ガンブラスターに搭乗するようになる。弟のカレルは月面で諜報活動を行い、当初は戦闘に加わることを嫌っていたエリシャ、マルチナの姉妹もホワイトアークの乗員として立派に任務をはたすようになっていく。

C-1



D-1



- A-1** エリシャ、ソフィア、トマーシュ
B-1 マルチナ、プラスタ、カレル
C-1 トマーシュ、ノーマルスーツ
D-1 子供たちの服

CHARACTER DATA

B-1



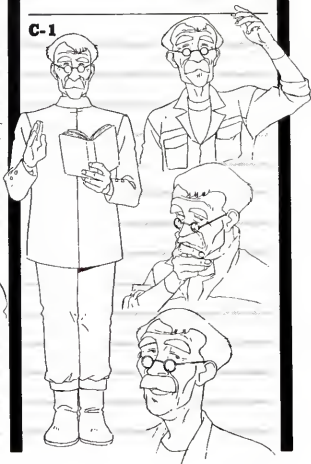
A-1



D-1



C-1



レオニード・アルモドバル
**LEONID
ALMODEVAL**

リーンホースJr. に乗るリガ・ミリティアの主要メンバー。

ロメロ・マラベル
**ROMERO
MARVALL**

リガ・ミリティアのカミオン隊のチーフメカニックマン。

オーティス・アーキンス
OTIS ARKINS

ロメロを補佐しMSを整備するメカニックマン。

エステル・チャバリ
ESTER CHAVARRI

女性ながら活動的なリガ・ミリティアのメカニックマン。

ロベルト・ゴメス
ROBERT GOMES

リーンホース、リーンホースJr. と艦長を努める連邦軍の軍人。

ジン・ジャハナム
GIN GEHENNAM

カミオン隊と合流したリガ・ミリティアの指導者とされる人物。

A-1 レオニード

B-1 ロメロ

C-1 オーティス

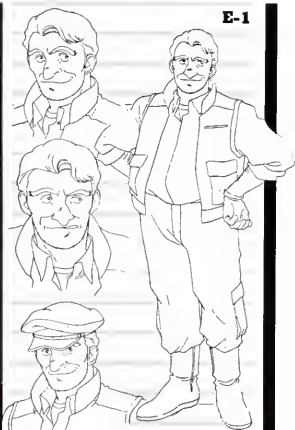
D-1 エステル

E-1 ゴメス

F-1 ジン・ジャハナム

CHARACTER DATA

E-1

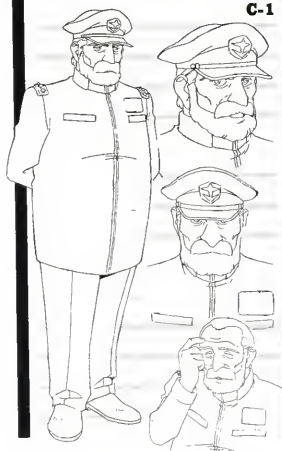


F-1



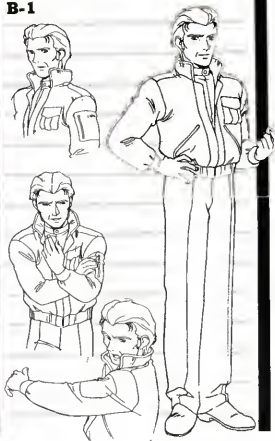


A-1



C-1

B-1



ミューラ・ミゲル MYRA MIGGELL

月面で再会したウッソの母親。ベスパの基地、ネオ・カタルヘナ付近でモトラッド艦隊に関する諜報活動を行っていた。幼き頃より様々な分野でウッソを鍛えていたミューラは、ウッソがニュータイプになってくれればと考えていた。

ハンゲルグ・エヴィン HANGERG EWIN

リガ・ミリティアを率いる指導者、ジン・ジャハナムの一人とされている人物で、ウッソが探し求めていた父親。地球連邦軍ムバラク將軍の協力を仰いで共同戦線を張り、戦艦ジャンヌダルクに乗ってハイランドに集結した。

ムバラク・スターン MUBRAK STANE

地球連邦軍の將軍。ハンゲルグの要請に応じ、軍を動かす。類まれなる資質を持った、ハンゲルグの子ウッソを高く評価している。

ストライカー・クッフ・ネス STRIKER・KUFFU・NESS

リーンホースJr. に乗り込んでいるリガ・ミリティアのメカニックマン3人組。

- A-1** ミューラ・ミゲル
B-1 ハンゲルグ・エヴィン
C-1 ムバラク・スーン
D-1 ストライカー、クッフ・ネス

CHARACTER DATA

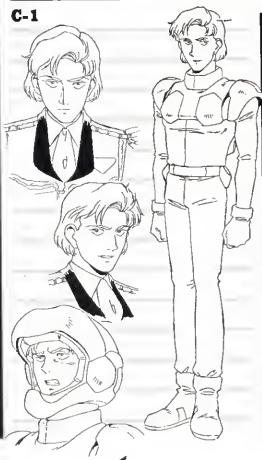
115

D-1





C-1



B-1



ファラ・グリフォン FUALA GLIFON

かつてはラゲーンの司令だったファラも、タシロに救われて以来性格が変わり、残忍さを増したパイロットとしてウッソの前にたちはだかる。

アルベオ・ビビニーデン ARBEO PIPPINIDEN

かつてはクロノクルの先輩であったビビニーデンも、モトラッド艦隊では、クロノクルの下に配属される。

キル・タンドン KYL TUNDON

ファラとともにザンネックに乗り込んだパイロット。メッチェの後任としてファラの下についていた。

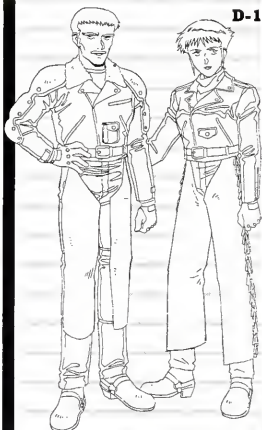
ドゥカー・イク&レンダ・デ・パロマ DUKER IQ& LENDA DE PALOMAR

モトラッド艦隊の発案者でもあったドゥカー。レンダとともに、リシテア艦でリーンホースJr. に挑んでくる。

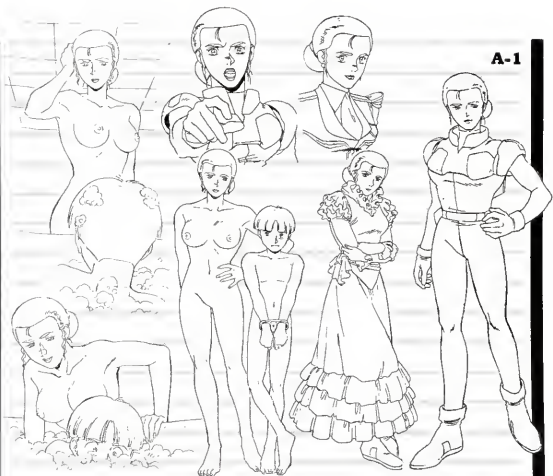
- A-1** ファラ・グリフォン
B-1 アルベオ・ビビニーデン
C-1 キル・タンドン
D-1 ドゥカー&レンダ

CHARACTER DATA

D-1

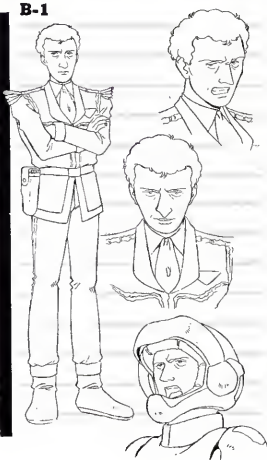
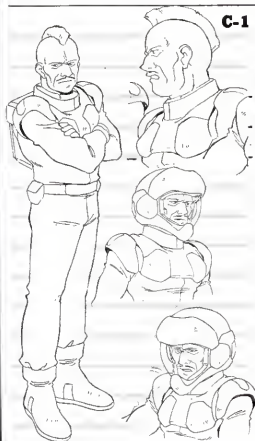


A-1



C-1

B-1



ルベ・シノ REPET CINEAU

ピビニーデン配下のMSパイロットで、カテジナの教育係をまかされる。ニュータイプの資質を持ったウツソを執拗に狙う。

ゴズ・パール GODS BAR

ベスパのパイロット。人質としたウツソの母親ミューラを使い卑劣な作戦を展開する。

ブロッホ BROT HO

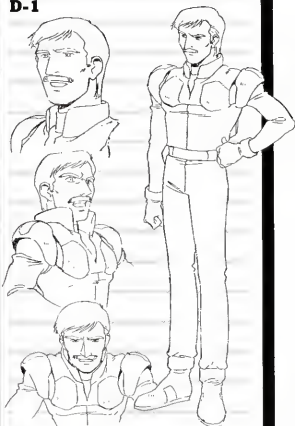
ベスパの大型MA、ドッグーラのパイロット。特徴のある髪型をしている。

マチス・ワーカー MATISSE WORKER

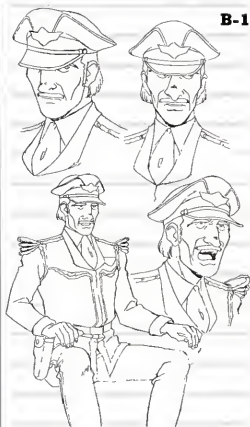
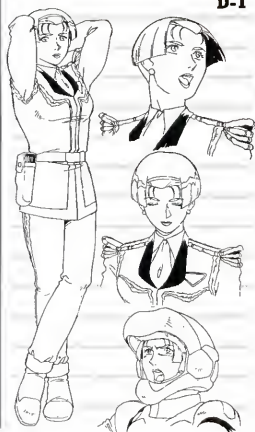
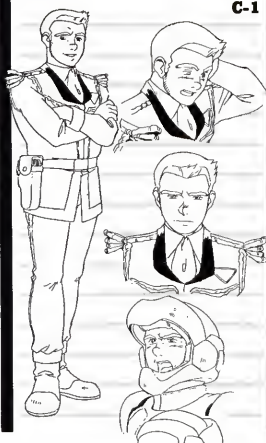
カサレリアに帰ったウツソたちが接触した、ベスパのパイロット。愛する家族とカサレリアの大地を守るために、旧型MSゾロを駆って戦いを挑んでくる。

- A-1** ルベ・シノ
B-1 ゴズ・パール
C-1 ブロッホ
D-1 マチス・ワーカー
D-2 マチス・ワーカーの家族

D-1



CHARACTER DATA

B-1**A-1****D-1****C-1**

フビライ・ゴヤ
**KHUBILAI
GOYA**

スペースコロニー、マケドニアの
軍を指揮する軍人。

アドラストエア艦長
CAPTAIN

クロノクルが乗船するアドラスト
エアの艦長。

キスハール・バグワット
**KISHAR
BAGWAD**

ザンスカール近衛師団のMSパイ
ロット。

カリंगा・ヴォーゲル
**KALINGA
VORGEL**

キスハールと同じく近衛師団のバ
イロットで特に親しくする同僚。

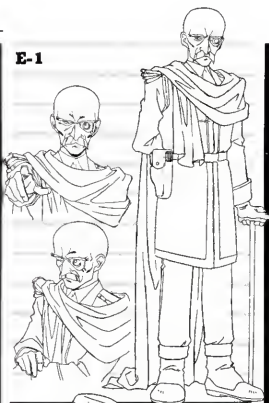
フォンセ・カガチ
**FONSE
KAGATIE**

帝国の実権を握っている政治組織、
ガチ党の党首。

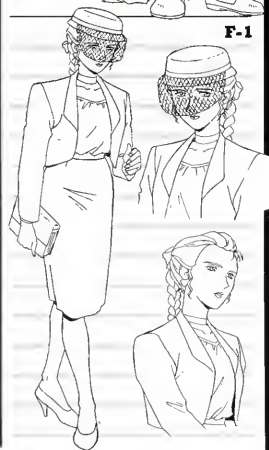
マリア・ピア・アーモニア
**MARIA PURE
ARMONIA**

ザンスカール帝国の女王。マリア
主義の提唱者である。

E-1



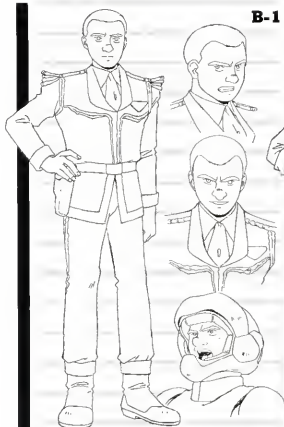
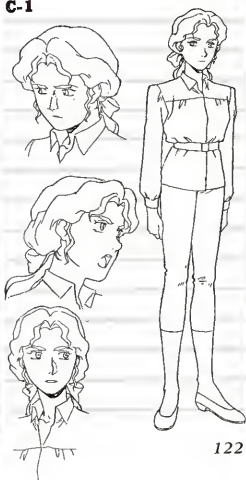
F-1



- A-1** フビライ・ゴヤ
B-1 アドラストエア艦長
C-1 キスハール・バグワット

- D-1** カリंगा・ヴォーゲル
E-1 フォンセ・カガチ
F-1 マリア・ピア・アーモニア

CHARACTER DATA

B-1**A-1****C-1****D-1**

サブ・キャラクター SUB CHARACTER

・サンゼノ・ファクトリー のドクター

盲腸にかかったマルチナを診察したザンスカールのコロニー・アメリカのドクター。

・アジス・バギ

ルベ・シノの補佐についていたベスバのパイロット。ルベ・シノの怖さをウツソに説いた。

・アンダーフックのエレナ

人口海洋都市アンダーフックの住人で、アリア主義に賛同し暗躍していた。逃げ込んだカテジナをかくまい、脱出させた。

・洗濯場の少女

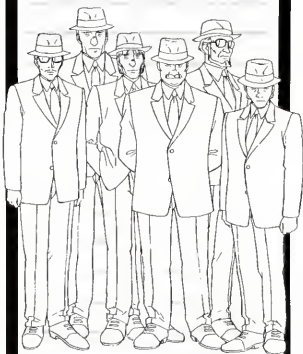
ウツソとオデロが、潜入した敵戦艦の内部で出会った少女兵。

・秘密警察官

クロノクルの命を受けて、女王の実子であるシャクティを連れ戻すために暗躍していた、全身黒づくめの連中。

・ハリー・モスト&ミズホ・ミネガン

タンピコの港口から上陸して破壊を続けるモトラッド艦の足を止めようと善戦するメカニック。



A-1 サンゼノ・ファクトリーのドクター

B-1 アジス・バギ

C-1 アンダーフックのエレナ

D-1 洗濯場の少女

E-1 秘密警察

F-1 ハリー&ミズホ

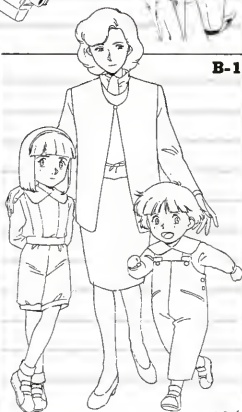
CHARACTER DATA

F-1

A-1



B-1



サブ・キャラクター SUB CHARACTER

・ネネカ隊

カテナにいくるめられ、ほとんど生身に近い格好でV2のウッソに挑んだエンジェル・ハイロウの守備隊。

・マチス・ワーカーの妻娘

カサレリア近くでウッソたちが戦ったベスパのパイロット、マチスの妻と娘。

・ジャンヌダルクの艦長

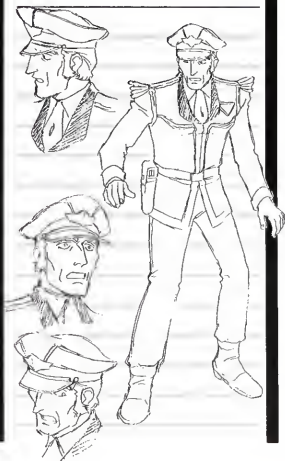
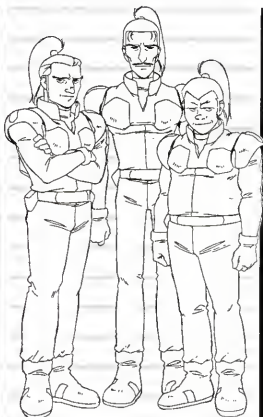
ハンゲルグやムバラクらが乗り込んだ連邦軍の戦艦、ジャンヌダルクの艦長。

・トトリ・アーエスと仲間

エンジェル・ハイロウの機能検証のために出撃したMS部隊のパイロット。

・ダルマシアン艦長

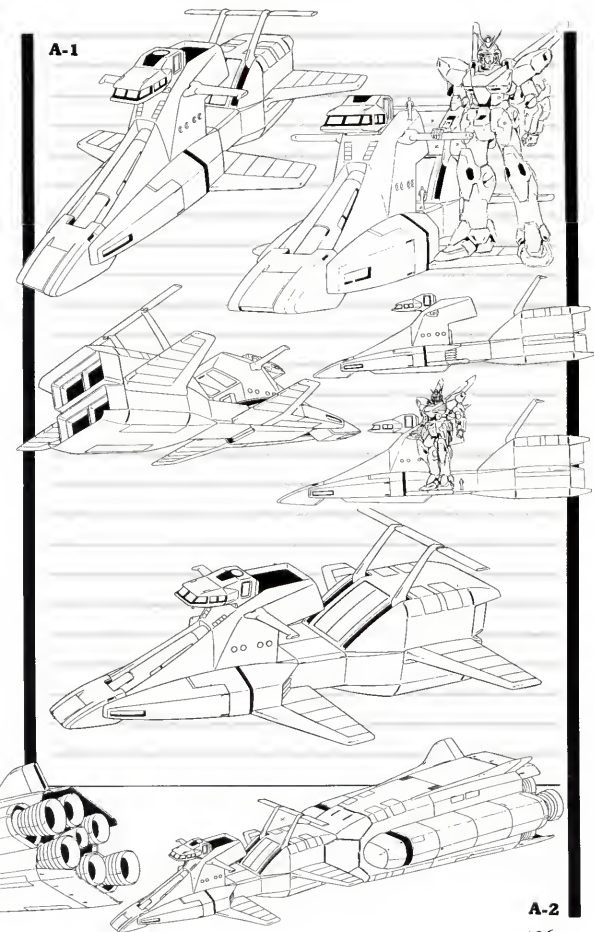
タシロ艦隊のスクイード級戦艦、ダルマシアンの艦長。



- A-1** ネネカ隊
B-1 マチス・ワーカーの妻娘
C-1 ジャンヌダルクの艦長
D-1 トトリ・アーエスと仲間
E-1 ダルマシアン艦長

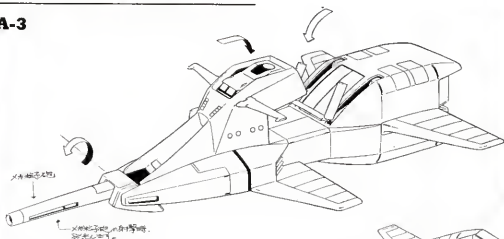
CHARACTER DATA

A-1



A-2

A-3



ホワイトアーク WHITE ARK

月面にてウッソらが手に入れた小型宇宙艇。マーベットを艦長に、乗員は子供たちで構成されている。小型ながらMSを4機収容でき（といっても収納するのではなく、搭載する）、艦首には通常時は折り畳んである（戦闘形態時に展開する）メカ粒子砲と、ビームシールド、艦橋下にはミサイルランチャーを装備している。

リガ・ミリティアの別動部隊としてリーンホースJr.と離れて行動するホワイトアークは、少数精鋭ながら、ウッソのV2をはじめマーベット、オデロ、トマーシュらを擁し、リガ・ミリティア艦隊の戦力の中心的存在になっていく。

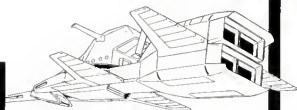
A-1 フロント・サイド・ビュー

A-2 プースター

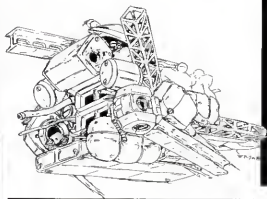
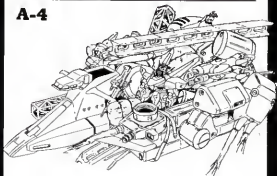
A-3 戦闘形態

A-4 ガラクタ物資搭載状態

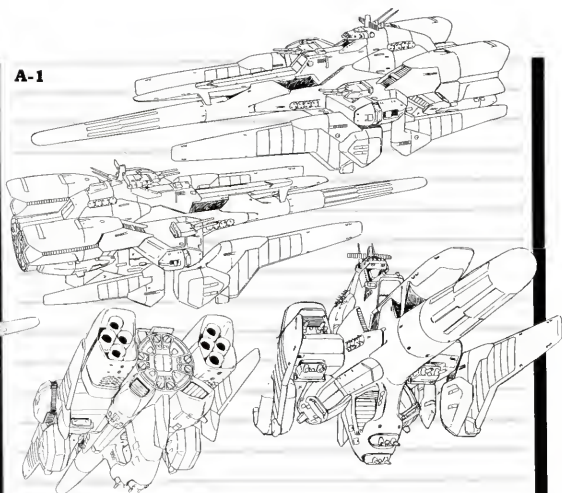
MECHANIC DATA



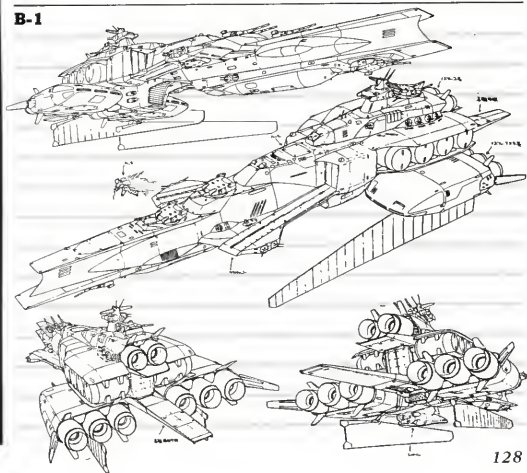
A-4



A-1



B-1



リーンホース Jr. LEANHORCE Jr.

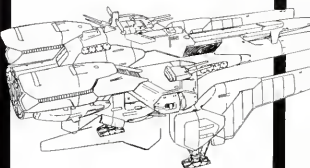
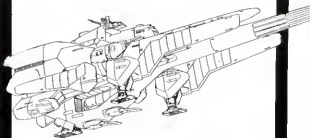
カイラスギリ艦隊が残っていたベスバの大型戦艦スクイードをベースに、リガ・ミリティアが改修した大型戦艦。リガ・ミリティアの宇宙艦隊の旗艦となり、老朽化したかつての旗艦、リーンホースの名を受け継ぎ、リーンホースJr.と命名された。ジン・ジャハナムが指揮をとっているが、実権をもっているのは艦長であるゴメス大尉である。

ジャンヌダルク JEANNE D'ARC

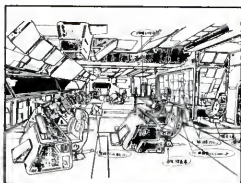
地球連邦軍宇宙艦隊の旗艦。ウツソの父であり、リガ・ミリティアの指導者ジン・ジャハナムの一人といわれているハンゲルグ・エヴィンの要請によって、参戦したムバラク將軍が乗艦している。

U C 90年代初頭に作られたラー・カイラム級戦艦の同型艦で、艦首の左右に展開されているMSカタパルトが特徴である。

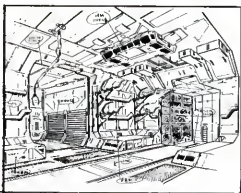
A-2



B-2



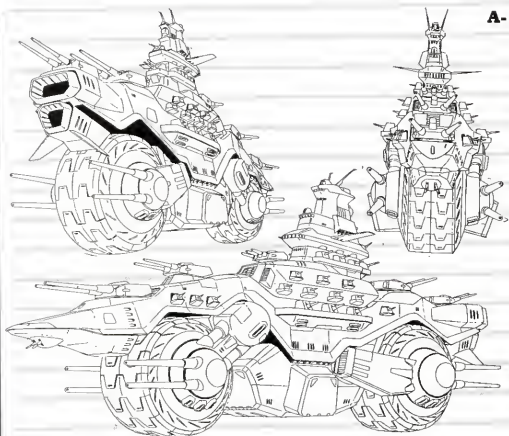
B-3



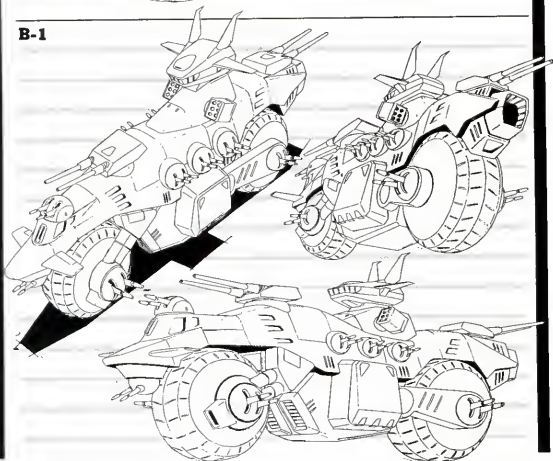
- A-1 リーンホースJr.
- A-2 ランディング・ギア
- B-1 ジャンヌダルク
- B-2 艦橋
- B-3 MSデッキ

MECHANIC DATA

A-1



B-1



アドラステア ADLASTHEA

“地球浄化作戦”のために建造された新造戦艦。艦体の前後に巨大な車輪を持ち、これを使って地上を走行移動することができる。モトラッド艦はこの巨大な車輪をつかって文字どおり地上を踏みならしていく。

車輪部はアインラッドとほぼ同等の材質で作られており、あらゆるビーム兵器を受け付けない。

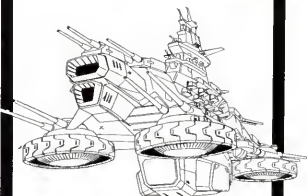
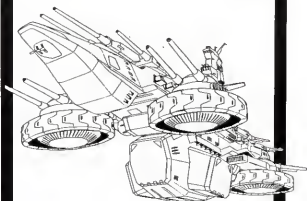
巨大な戦艦が地上を走行し、建造物を破壊していくさまは見るものに戦慄を覚えさせ、圧倒的な力を見せつける。

リシテア LITHTHEA

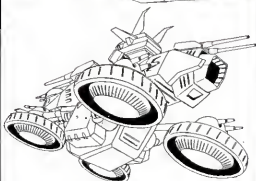
アドラステアと同じコンセプトのもとに建造された宇宙揚陸巡洋艦。地球浄化作戦の成就のために地球へと上陸する。クロノクル配下のビビニーデン、ドゥカーらが乗艦しリーンホースJr. やホワイトアークに挑んでくる。

アドラステアに比べ戦闘力は劣っているが機動性は上で、地球浄化作戦の中枢を成す艦船である。

A-2



B-2



A-1 地上走行形態

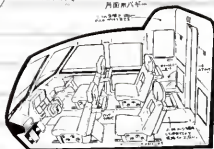
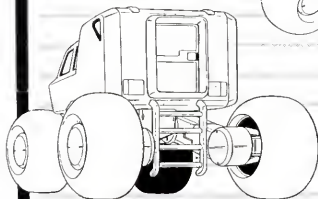
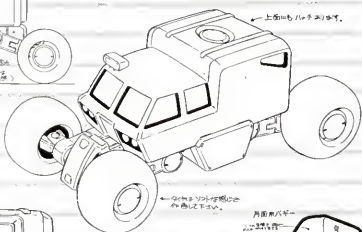
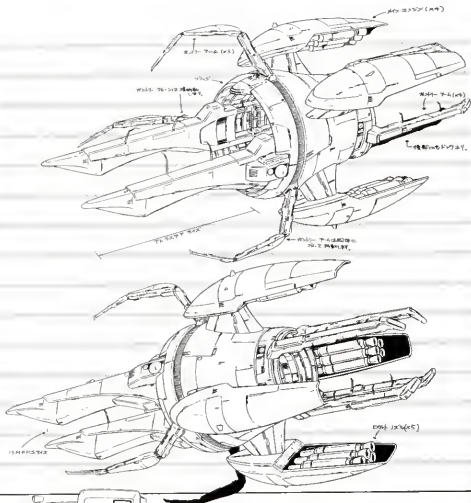
A-2 飛行形態

B-1 地上走行形態

B-2 飛行形態

MECHANIC DATA

A-1



B-1

宇宙ドック艦“メリリン” MARILYN

ベスパが使用する巨大ドック艦。
アドラスティア級の戦艦をも収容する
大きさをもち、地球浄化作戦に発進
するモトラッド艦隊の補修を行って
いた。

月面バギー MOON BUGGY

月面走行用のバギー。起伏の激し
い月面を走行しやすいように、大き
くソフトなタイヤを使用し、車体に
地面があたらないように車高も高く
されている。

ホバーキャリアー HOVER CARRIER

MSなどを始めとする、大型物資
を運搬するためのホバーキャリアー。

月面3輪バギー MOON BUGGY TRICYCLE TYPE

月面走行用に作られた3輪タイ
プのバギー。車高が4輪のものより
少し低くなっている。

A-1 メリリン

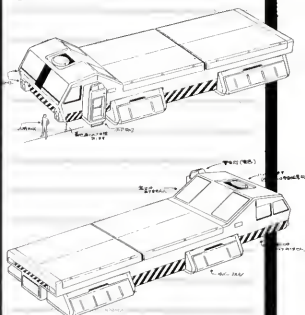
B-1 月面バギー

C-1 ホバーキャリアー

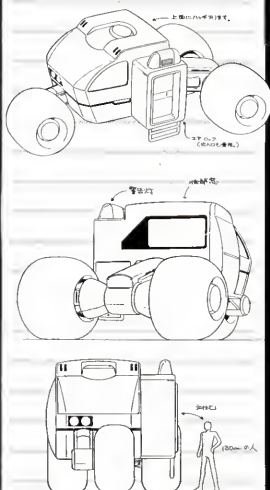
D-1 月面3輪バギー

MECHANIC DATA

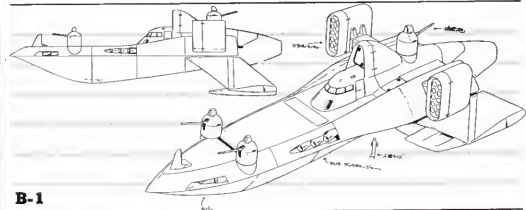
C-1



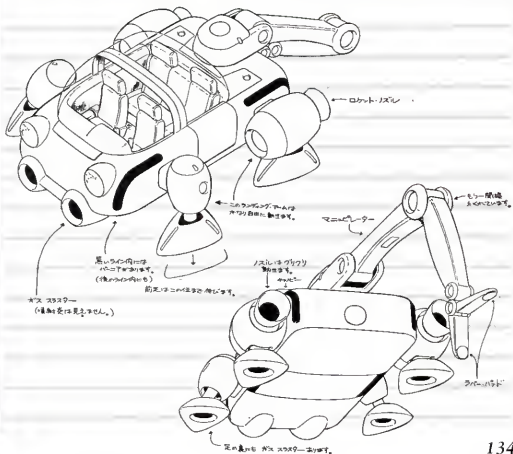
D-1



A-1



B-1



超小型軽量飛行機 MICRO PLANE

リーンホースJr.と合流するために
エステルが使用した小型飛行機。

高 速 艇 HIGH SPEED B O A T

ホワイトアークの援軍にかけつけ
たシェトランド駐留軍が使った船。

ス ペ ース ポ ート SPACE BOAT

最終決戦でエンジェル・ハイロウ
に向かったカガチが使った小型艇。

無 人 偵 察 ト ラ ッ ク AUTO SCOUT T R U C K

エンジェル・ハイロウの影響を調
査するために使われたトラック。

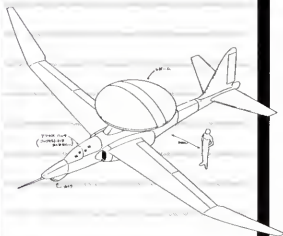
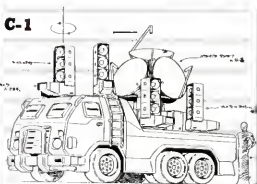
無人偵察モーターグライダー"ドロシー" AUTO SCOUT MOTOR GLIDER

エンジェル・ハイロウの影響を調
査するために使われたグライダー。

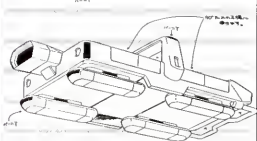
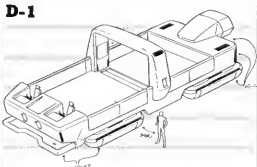
大型スペースポート BIG SPACE B O A T

リーンホースJr.からの乗員の
脱出用に使われたスペースポート。

C-1



D-1



A-1 超小型軽量飛行機

B-1 高速艇

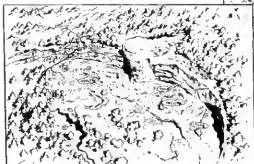
C-1 スペースポート

D-1 無人偵察トラック

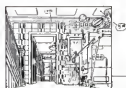
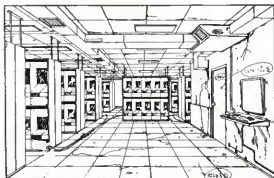
E-1 無人偵察モータードライバー

F-1 大型スペースポート

MECHANIC DATA



A-1



B-1



美術設定資料集 ART DESIGN

・カサレリア

ウッソとシャクティが住んでいた、中央ヨーロッパに位置する不法居住者たちが作った集落。

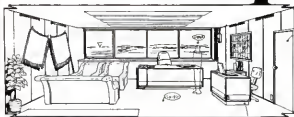
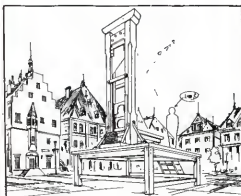
この地でパラグライダーで空を舞っていたウッソは、ベスパとリガ・ミリティアとの戦闘に巻き込まれ、Vガンダムのパイロットになる。

・ウーイック

カサレリアの近くにある都市でカテジナが住んでいた。リガ・ミリティアの秘密工場が存在したため、ベスパの空襲を受け壊滅状態に陥った。

・ラゲーン

ベスパが地球上での拠点とするために基地を建設した特別区。ファラ・グリフォンが基地司令の任務につき、各地にMSを派遣していた。

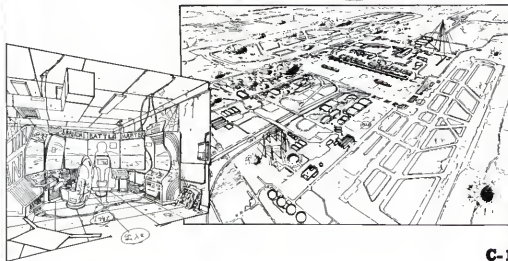


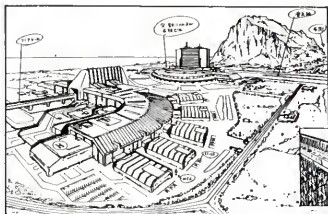
A-1 カサレリア

B-1 ウーイック

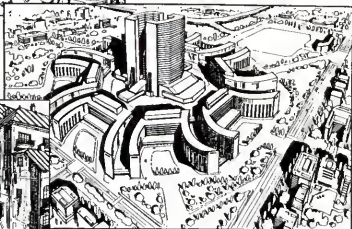
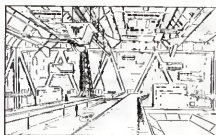
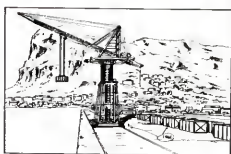
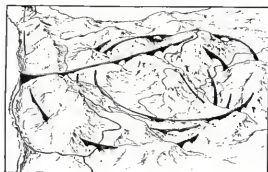
C-1 ラゲーン

A R T D A T A





A-1



B-1

美術設定資料集 ART DESIGN

・アーティジブラルタル

宇宙引越公社のマスドライバー施設が存在する、ヨーロッパとアフリカの境界線地帯。カミオン隊が宇宙に上がるために目指した地。宇宙居住者たちにとって重要な施設であるため中立地帯となっている。

・ザンスカール帝国

スペースコロニー

ザンスカール帝国は、サイド2において地球にもっとも遠いアメリアというコロニーにおいて勃興した。

・エンジェル・ハイロウ

ベスパが開発した巨大サイコミュ要塞。収容した何万人ものサイキッカーの精神を増幅して放射されるサイコ・ウェーブは、人の戦闘衝動を鎮静化させ極端な場合、幼児退行現象を引き起こすこともある。

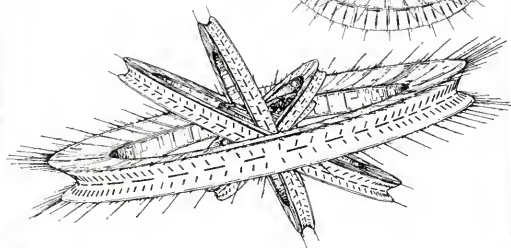
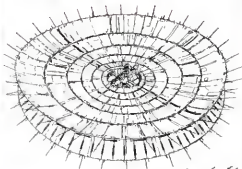
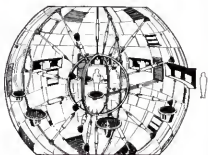
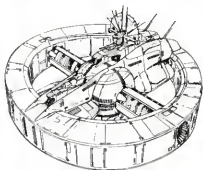
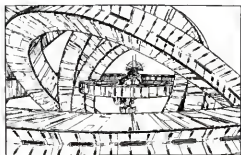
A-1 アーティジブラルタル

B-1 ザンスカール帝国スペースコロニー

C-1 エンジェル・ハイロウ

A R T D A T A

C-1



か行

カサレリア136

さ行

ザンスカール帝国スペースコロニー138

ら行

ラゲーン137



ミューラ・ミゲル	114
ミリエラ・カタン	28、104
ムバラク・スターン	114

や行

ユカ・マイラス	28、105
---------	--------

ら行

ルベ・シノ	118
レオニード・アルモドバル	29、112
レンダ・デ・パロマ	117
ロメロ・マラバル	29、112
ロベルト・ゴメス	113

メカニク

あ行

アドラステア	6、7、32、130、131
大型スペースポート	135

か行

月面バギー	132
月面3輪バギー	133
高速艇	134

さ行

ジャンヌダルク	32、128、129
スペースポート	134

た行

超小型軽量飛行機	135
----------	-----

は行

ホバーキャリアー	133
ホワイトアーク	32、126、127

ま行

無人偵察トラック	135
無人偵察モーターグライダー	135
メリリン	132

ら行

リーンホースJr.	128、129
リシテア	130、131

美術

あ行

アーティジブラルタル	138
ウーイッグ	136
エンジェル・ハイロウ	139

ウォレン・トレイス	25, 109
宇宙家族の子供たち	26, 110, 111
ウッソ・エヴィン	23, 98, 99
エステル・チャナリ	23, 98, 99
エレナ	122
オーティス・アーキンズ	29, 112
オデロ・ヘンリーク	25, 108
オリファア・イノエ	28, 106, 107

か行

カテジナ・ルース	31, 102, 103
カリंगा・ヴォーゲル	120
カルルマン・ドゥカートウス	24, 109
キスハール・バグワット	120
キル・タンドン	116
クッフ・サロモン	115
クロノクル・アシャー	30, 102, 103
ゴズ・パール	118

さ行

ザンノゼ・ファクトリーのドクター	122
シャクティ・カリン	24, 100, 101
ジャンスダルクの艦長	124
シュラク隊	27
ジン・ジャハナム	113
スージィ・リレーン	26, 108
ストライカー・イーグル	115
洗濯場の少女	122

た行

ダルマシアン艦長	125
ドゥカー・イク	31, 117
トッリ・アーエス	125

な行

ネス・ハッシャー	114
ネネカ隊	124

は行

ハリー・モスト	123
ハロ	24
ハンゲルグ・エヴィン	114
秘密警察官	123
ファラ・グリフォン	31, 116
フォンセ・カガチ	31, 121
フビライ・ゴヤ	120
フランダース	24
フランチェスカ・オハラ	28, 104
ブロッホ	118

ま行

マーベット・フィンガーハット	27, 106, 107
マチス・ワーカー	119
マチス・ワーカーの妻娘	124
マリア・ピア・アーモニア	30, 121
ミズホ・ミネガン	123

機動戦士ガンダム大図鑑「ザンスカール戦争編(下)」

索引

INDEX

●TVシリーズ「機動戦士Vガンダム」に登場した主要、MS、MA、キャラクター、宇宙艦、メカニック、美術をアルファベット・50音順にまとめました。その単語の解説、あるいは関連する事項がわかるようになっています。なお、MS、MAに関しては型式番号をアルファベット順に検索できるようになっています。

RGM-122	ジャベリン	17
LM111E03	ガンブラスター	17, 76, 77
LM111E02	ガンイーグ	17
LM312V04	Vガンダム	2, 3, 6, 7, 14, 15
LM312V06	Vガンダムヘキサ	14, 15
LM312V04+SD-VB03A	Vダッシュガンダム	16
LM314V21	V2ガンダム	4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 13, 35, 46, 47, 70, 71
LM314V23	V2バスターガンダム	12, 13, 35, 43, 46, 47, 74, 75
LM314V24	V2アサルトガンダム	8, 9, 13, 35, 43, 46, 47, 74, 75
ZM-S14S	コンティオ	22
ZM-S09G	トムリアット	20
ZM-S08G	ゾロ	19, 88, 89
ZM-S06S	ゾロアット	19, 48, 49
ZM-S06G	ゾリディア	19, 80, 81
ZM-S20S	ジャバコ	21, 82, 83
ZM-S21G	ブルッケング	18, 82, 83
ZM-S27G	ドムットリア	20, 48, 49, 80, 81
ZM-S22S	リグ・シャッコ	20, 88, 89
ZM-S24G	ゲドラフ	2, 3, 4, 5, 18, 78, 79
ZMT-A31S	ドッゴラ	22, 86, 87
ZMT-S33S	ゴトラタン	10, 11, 21, 39, 48, 49, 92, 93, 94, 95
ZMT-S30S	ビルケナウ	32, 86, 87
ZMT-S34S	リグ・コンティオ	22, 39, 48, 49, 96, 97
ZMT-S29	ザンネック	8, 9, 21, 39, 48, 49, 84, 85
ZMT-S28S	ゲンガオゾ	21, 39, 48, 49, 90, 91

キャラクター

あ行

アジス・バギ	122
アドラスデア艦長	120
アルベオ・ビビニーデン	116

STAFF

企画

株式会社メディアワークス
第4編集部・書籍編集課（安藤利明）

構成・編集

仲重舎
井上 徹
渡辺利浩
清水章一

装丁

タケモトアツシ（t-DESIGN LAB.）

カバーイラスト

As'maria

デザイン

仲重舎
シイバミツヲ&ケンジ

協力

株式会社サンライズ（井上幸一）
株式会社バンダイ ホビー事業部

宇宙世紀ボックス 機動戦士ガンダム MS大図鑑 PART.10 【ザンスカール戦争編・下】

CONTENTS

MS戦史 MS War History	2
MS名鑑 MS Catalogue	12
キャラクター名鑑 Character Catalogue	22
メカニック名鑑 Mechanic Catalogue	32
MS開発史 MS Development History	33
MS性能比較表 An ability Symmetry of MS	45
ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report	51
設定資料集 Design Collection	69
モビルスーツ Mobile Suit	70
キャラクター Character	98
メカニック Mechanic	126
MS用語辞典 MS Glossary	44、50、68
索引 Index	143

※本書は1994年7月に株式会社メディアワークスより発行された電撃エンターテインメントバイブル・シリーズ「機動戦士ガンダム大図鑑2【ザンスカール戦争編・下】」を復刻した物です。文章・データに2005年現在と合致しない部分がありますが、原書のままですのでご容赦下さい。
※ご協力いただいた方々の所属は発行当時のまま記載しております。

発行 2005年3月20日 初版発行

発行者 佐藤辰男

発行所 株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8東京YWCA会館
TEL03-5281-5243(編集)

発売元 株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL03-3238-8605(営業)

印刷所 共同印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えします。

© 創通エージェンシー・サンライズ

分売不可

Printed in Japan

本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、日本複製権センター(03-3401-2382)にご連絡下さい。

MS NO.10

MS系図鑑
PART.10_ザンスカール戦争編・下

MS ENCYCLOPEDIA



MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.10

MS大文庫
[PART.10_ザンスカール戦争編・下]

ENCYCLOPEDIA

MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.10 ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.10 ENCYCLOPEDIA

MOBILE SUIT V GUNDAM

MS大図鑑

MS大図鑑 [PART.10 ザンスカール戦争編・下]

NO.10

ZEROZORO

MST大図鑑

PART.10

ザンスカル戦争編・下

NO.10